
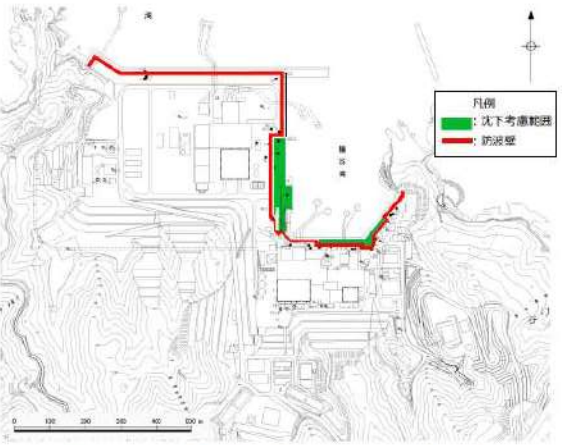
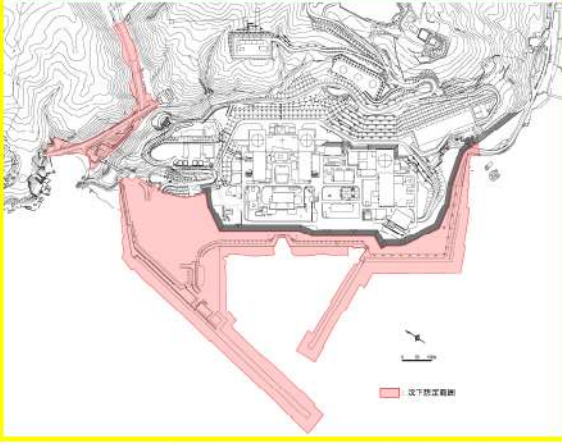
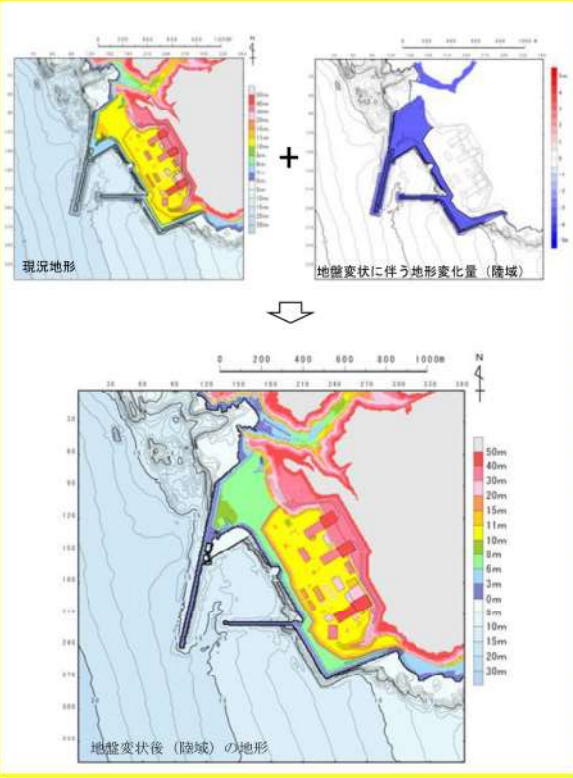


実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

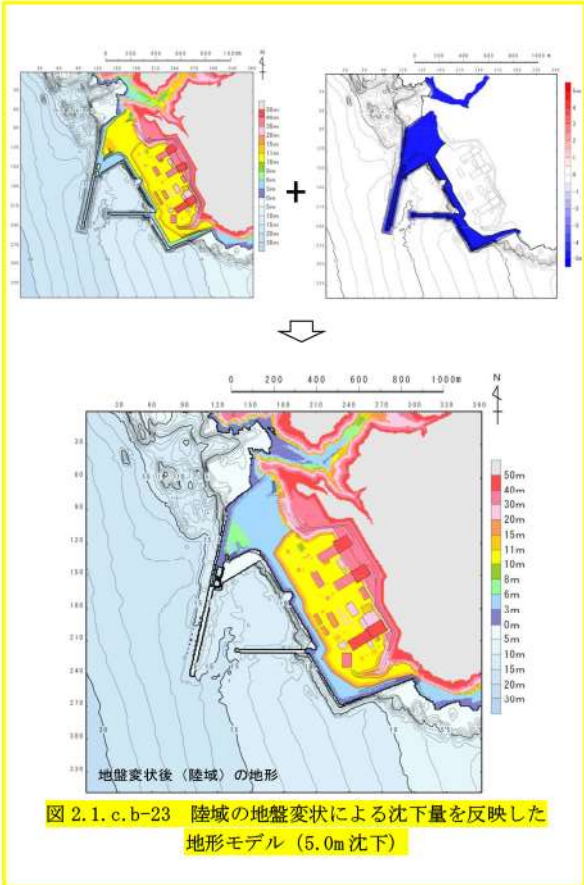
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図18 津波評価において沈下を考慮する範囲</p>	 <p>図3-15 津波評価において沈下を考慮する範囲</p>	 <p>図 2.1.c. b-21 敷地（陸域）の地盤変状として沈下を考慮する範囲</p>	<p>【女川、島根】評価方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所立地の相違により、各サイトで沈下を考慮する範囲が異なる。 ・泊は地盤変状による沈下量を反映した地形モデルを示している。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-22 陸域の地盤変状による沈下量を反映した地形モデル(3.5m沈下)</p>	

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1. c. b-23 陸域の地盤変状による沈下量を反映した地形モデル (5.0m 沈下)</p>	

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) 地盤変状を考慮した津波解析</p> <p>(1)～(3)を踏まえ、沈下量を保守的に1mと設定し、津波解析を実施した。</p> <p>基準津波1～6のケースを対象に基本ケース及び1m沈下させたケースを比較し、その差異を表3-3に示す。また、最大水位上昇量分布を図3-16に示す。</p> <p>津波解析の結果、1m沈下させた場合、水位上昇側の施設護岸又は防波壁の水位は、どのケースについても基本ケースと同じもしくは基本ケースの方が大きい。また、水位下降側の2号炉取水口の水位については全ケースで同じ水位となった。</p> <p>沈下の有無に対する最大水位上昇量分布の比較を図25に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図26に示す。図25、26より、沈下の有無による最大水位上昇量分布、水位時刻歴波形に僅かな変化が認められ、上昇側水位へ影響を与えることが確認された。</p> <p>比較のため、5.(2)項の内容を再掲</p> <p>沈下の有無に対する最大水位下降量分布の比較を図29に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図30に示す。図29、30より、沈下の有無による最大水位下降量分布及び水位時刻歴波形に有意な差は認められない。</p> <p>比較のため、5.(3)項の内容を再掲</p>	<p>(4) 地盤変状を考慮した津波解析</p> <p>(1)～(3)を踏まえ、沈下量を保守的に1mと設定し、津波解析を実施した。</p> <p>基準津波1～6のケースを対象に基本ケース及び1m沈下させたケースを比較し、その差異を表3-3に示す。また、最大水位上昇量分布を図3-16に示す。</p> <p>津波解析の結果、1m沈下させた場合、水位上昇側の施設護岸又は防波壁の水位は、どのケースについても基本ケースと同じもしくは基本ケースの方が大きい。また、水位下降側の2号炉取水口の水位については全ケースで同じ水位となった。</p>	<p>ホ. 敷地地盤の地盤変状を考慮した遡上解析</p> <p>イ.～三.を踏まえ、沈下量を保守的に3.5m及び5.0mと設定し、遡上解析を実施した。</p> <p>すべての基準津波を対象に沈下を考慮しないケース（基本ケース）と3.5m及び5.0m沈下させたケースを比較し、その差異を表2.1.c.b-4及び2.1.c.b-5に示す。また、最大水位上昇量分布、最大水位下降量分布、水位時刻歴波形及び最大流速分布を図2.1.c.b-22及び2.1.c.b-23に示す。</p> <p>津波解析の結果（3.5m沈下させた場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> 水位上昇側の防潮堤前面、3号炉取水口の水位上昇量は、3.5m沈下させた方が大きいケースが認められた。 1、2号炉取水口の水位上昇量は、基本ケースと同程度若しくは基本ケースの方が大きい。 放水口の水位上昇量は、どの基準津波についても基本ケースの方が大きい。 水位下降側の「保守性を考慮した時間」は、基本ケースと同程度若しくは基本ケースの方が大きい。 最大流速は、基本ケースと同程度若しくは基本ケースの方が大きい。 流況（流向・流速）は、基本ケースと同程度となった。 <p>津波解析の結果（5.0m沈下させた場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> 水位上昇側の防潮堤前面、3号炉取水口の水位上昇量は、5.0m沈下させた方が大きいケースが認められた。 1、2号炉取水口の水位上昇量は、基本ケースと同程度であった。 放水口の水位上昇量は、基本ケースの方が大きい。 水位下降側の「保守性を考慮した時間」は、基本ケースと同程度若しくは基本ケースの方が大きい。 最大流速は、基本ケースと同程度若しくは基本ケースの方が大きい。 流況（流向・流速）は、基本ケースと同程度となった。 <p>敷地沈下量として3.5m沈下及び5.0m沈下の影響度合いについて、水位増加が確認された防潮堤前面および3号炉取水口における最大水位上昇量にて比較を行った。その結果、防潮堤前面における最大水位上昇量は、5.0m沈下において基準津波（波源E、南防波堤損傷）で15.96mとなり3.5m沈下における基準津波（波源F、北防波堤損傷）の15.88mよりも大きい値となった。また、3号炉取水口における最大水位上昇量は、5.0m沈下において基準津波（波源F、北及び南防波堤損傷）で13.62mとなり</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・島根実績の反映。</p> <p>【島根】評価結果の相違 ・発電所立地地域の相違により、考慮する敷地地盤の沈下量が異なる。</p> <p>【島根】基準津波の相違</p> <p>【島根】評価結果の相違 ・発電所立地の相違により、考慮する敷地地盤の沈下量が異なる。</p> <p>【女川、島根】評価結果の相違 ・発電所立地の相違により、遡上解析結果が異なる。</p> <p>【島根】評価結果の相違 ・発電所立地の相違により、考慮する敷地地盤の沈下量が異なる。</p> <p>【女川、島根】評価結果の相違 ・発電所立地の相違により、遡上解析結果が異なる。</p>

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>表4 最高水位一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基準津波</th> <th rowspan="2">地形</th> <th rowspan="2">防波堤</th> <th colspan="4">取水口前面水位[※] (O.P. m)</th> <th colspan="2">放水口前面水位[※] (O.P. m)</th> </tr> <tr> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水位上昇側</td> <td rowspan="2">現地形</td> <td>あり</td> <td>21.58 (23.89)</td> <td>18.85 (21.16)</td> <td>19.50 (21.81)</td> <td>19.60 (21.91)</td> <td>16.46 (18.77)</td> <td>17.16 (19.47)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>20.64 (22.95)</td> <td>18.80 (21.11)</td> <td>19.27 (21.58)</td> <td>19.84 (22.15)</td> <td>17.81 (20.12)</td> <td>17.25 (19.56)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1m沈下</td> <td>あり</td> <td>22.03 (24.34)</td> <td>18.60 (20.91)</td> <td>19.44 (21.75)</td> <td>19.61 (21.92)</td> <td>16.77 (19.08)</td> <td>17.33 (19.64)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>21.19 (23.50)</td> <td>18.67 (20.98)</td> <td>19.04 (21.35)</td> <td>19.58 (21.89)</td> <td>17.72 (20.03)</td> <td>17.35 (19.66)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () の数値は、潮望平均満潮位 (O.P.+1.45m)、潮位のばらつき (0.16m) 及び地盤変動量 (0.72m) を考慮した値</p>	基準津波	地形	防波堤	取水口前面水位 [※] (O.P. m)				放水口前面水位 [※] (O.P. m)		1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	水位上昇側	現地形	あり	21.58 (23.89)	18.85 (21.16)	19.50 (21.81)	19.60 (21.91)	16.46 (18.77)	17.16 (19.47)	なし	20.64 (22.95)	18.80 (21.11)	19.27 (21.58)	19.84 (22.15)	17.81 (20.12)	17.25 (19.56)	1m沈下	あり	22.03 (24.34)	18.60 (20.91)	19.44 (21.75)	19.61 (21.92)	16.77 (19.08)	17.33 (19.64)	なし	21.19 (23.50)	18.67 (20.98)	19.04 (21.35)	19.58 (21.89)	17.72 (20.03)	17.35 (19.66)	<p>以上より、地震による地形変化(地盤変状)は、入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。</p>	<p>3.5m沈下における基準津波(波源B、北防波堤損傷)の13.24mよりも大きい値となった。</p> <p>以上より、敷地地盤の地震による地形変化は、5.0m沈下を対象とし、津波高さにおいては、入力津波を設定する際の影響要因として考慮し、津波高さ以外(流況等)においては、入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。</p>	<p>【島根】評価結果の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所立地の相違により、入力津波を設定する際の影響要因が異なる。 																																																																																																																																																																																																																																					
基準津波				地形	防波堤	取水口前面水位 [※] (O.P. m)				放水口前面水位 [※] (O.P. m)																																																																																																																																																																																																																																																																											
	1号炉	2号炉	3号炉			1号炉	2号炉																																																																																																																																																																																																																																																																														
水位上昇側	現地形	あり	21.58 (23.89)	18.85 (21.16)	19.50 (21.81)	19.60 (21.91)	16.46 (18.77)	17.16 (19.47)																																																																																																																																																																																																																																																																													
		なし	20.64 (22.95)	18.80 (21.11)	19.27 (21.58)	19.84 (22.15)	17.81 (20.12)	17.25 (19.56)																																																																																																																																																																																																																																																																													
	1m沈下	あり	22.03 (24.34)	18.60 (20.91)	19.44 (21.75)	19.61 (21.92)	16.77 (19.08)	17.33 (19.64)																																																																																																																																																																																																																																																																													
		なし	21.19 (23.50)	18.67 (20.98)	19.04 (21.35)	19.58 (21.89)	17.72 (20.03)	17.35 (19.66)																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>表5 最低水位一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準津波</th> <th>地形</th> <th>防波堤</th> <th>2号炉取水口前面水位[※] (O.P. m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水位下降側</td> <td rowspan="2">現地形</td> <td>あり</td> <td>-10.38 (-10.62)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>-11.35 (-11.59)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1m沈下</td> <td>あり</td> <td>-10.36 (-10.60)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>-11.32 (-11.56)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () の数値は潮望平均干潮位 (O.P.-0.14m)、潮位のばらつき (-0.10m) を考慮した値</p> <p>比較のため、5.(1)項の内容を再掲</p>	基準津波	地形	防波堤	2号炉取水口前面水位 [※] (O.P. m)	水位下降側	現地形	あり	-10.38 (-10.62)	なし	-11.35 (-11.59)	1m沈下	あり	-10.36 (-10.60)	なし	-11.32 (-11.56)	<p>表3-3 基本ケースと地盤変状を考慮したケースの水位比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">【水位上昇側】地盤変状又は防波堤^{※1}</th> <th colspan="3">【水位下降側】2号炉取水口^{※2}</th> </tr> <tr> <th>基本ケース (防波堤有り)</th> <th>沈下有り1m (防波堤有り)</th> <th>差異 (B-A)</th> <th>基本ケース (防波堤有り)</th> <th>沈下有り1m (防波堤有り)</th> <th>差異 (B-A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準津波1 (防波堤有り)</td> <td>+10.77m (+10.67m)</td> <td>+10.77m (+10.67m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> <td>-5.20m (-5.12m)</td> <td>-5.20m (-5.12m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> </tr> <tr> <td>基準津波2 (防波堤有り)</td> <td>+11.90m (+11.88m)</td> <td>+11.90m (+11.88m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> <td>-6.41m (-6.01m)</td> <td>-6.41m (-6.01m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> </tr> <tr> <td>基準津波3 (防波堤有り)</td> <td>+9.00m (+8.93m)</td> <td>+9.00m (+8.93m)</td> <td>0.00m (-0.01m)</td> <td>-4.7m (-4.62m)</td> <td>-4.7m (-4.62m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> </tr> <tr> <td>基準津波4 (防波堤有り)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-4.1m (-4.04m)</td> <td>-4.1m (-4.04m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> </tr> <tr> <td>基準津波4 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-4.3m (-4.25m)</td> <td>-4.3m (-4.25m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> </tr> <tr> <td>基準津波5 (防波堤無し)</td> <td>11.5m (+11.45m)</td> <td>11.5m (+11.45m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> <td>-6.1m (-6.08m)</td> <td>-6.1m (-6.08m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> </tr> <tr> <td>基準津波6 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-6.1m (-6.08m)</td> <td>-6.1m (-6.08m)</td> <td>0.00m (0.00m)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 新設防波堤高さ+0.55m、敷地(防波堤)を0.14m沈下(+0.72m)を考慮 ※2 新設取水口高さ0.02m、敷地(防波堤)を0.17m沈下(+0.10m)を考慮</p>		【水位上昇側】地盤変状又は防波堤 ^{※1}			【水位下降側】2号炉取水口 ^{※2}			基本ケース (防波堤有り)	沈下有り1m (防波堤有り)	差異 (B-A)	基本ケース (防波堤有り)	沈下有り1m (防波堤有り)	差異 (B-A)	基準津波1 (防波堤有り)	+10.77m (+10.67m)	+10.77m (+10.67m)	0.00m (0.00m)	-5.20m (-5.12m)	-5.20m (-5.12m)	0.00m (0.00m)	基準津波2 (防波堤有り)	+11.90m (+11.88m)	+11.90m (+11.88m)	0.00m (0.00m)	-6.41m (-6.01m)	-6.41m (-6.01m)	0.00m (0.00m)	基準津波3 (防波堤有り)	+9.00m (+8.93m)	+9.00m (+8.93m)	0.00m (-0.01m)	-4.7m (-4.62m)	-4.7m (-4.62m)	0.00m (0.00m)	基準津波4 (防波堤有り)				-4.1m (-4.04m)	-4.1m (-4.04m)	0.00m (0.00m)	基準津波4 (防波堤無し)				-4.3m (-4.25m)	-4.3m (-4.25m)	0.00m (0.00m)	基準津波5 (防波堤無し)	11.5m (+11.45m)	11.5m (+11.45m)	0.00m (0.00m)	-6.1m (-6.08m)	-6.1m (-6.08m)	0.00m (0.00m)	基準津波6 (防波堤無し)				-6.1m (-6.08m)	-6.1m (-6.08m)	0.00m (0.00m)	<p>表2.1.c.b-4 (1) 基本ケースと敷地(陸域)の地盤変状(3.5m沈下)を考慮したケースの比較(水位上昇側)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基準津波</th> <th colspan="2">【水位上昇側】防波堤損傷</th> <th colspan="2">【水位上昇側】2号炉取水口</th> <th colspan="2">【水位上昇側】1号炉取水口</th> <th colspan="2">【水位上昇側】放水口</th> </tr> <tr> <th>基準ケース (防波堤有り)</th> <th>敷地 (防波堤有り)</th> <th>基準ケース (防波堤有り)</th> <th>敷地 (防波堤有り)</th> <th>基準ケース (防波堤有り)</th> <th>敷地 (防波堤有り)</th> <th>基準ケース (防波堤有り)</th> <th>敷地 (防波堤有り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準津波1 (防波堤有り)</td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波2 (防波堤有り)</td> <td></td> <td></td> <td>10.40m</td> <td>10.40m</td> <td>0.20m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波3 (防波堤有り)</td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>0.30m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波4 (防波堤有り)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.20m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波5 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波6 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波7 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波8 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波9 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波10 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波11 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波12 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波13 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波14 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波15 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波16 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波17 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波18 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波19 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準津波20 (防波堤無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15.00m</td> <td>15.00m</td> <td>-0.20m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	基準津波	【水位上昇側】防波堤損傷		【水位上昇側】2号炉取水口		【水位上昇側】1号炉取水口		【水位上昇側】放水口		基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)	基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)	基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)	基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)	基準津波1 (防波堤有り)	15.00m	15.00m	-0.20m						基準津波2 (防波堤有り)			10.40m	10.40m	0.20m				基準津波3 (防波堤有り)			15.00m	15.00m	0.30m				基準津波4 (防波堤有り)					0.20m				基準津波5 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波6 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波7 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波8 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波9 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波10 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波11 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波12 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波13 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波14 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波15 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波16 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波17 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波18 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波19 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		基準津波20 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m		<p>【女川、島根】評価結果の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所立地地域の相違により、遡上解析結果が異なる。
基準津波	地形	防波堤	2号炉取水口前面水位 [※] (O.P. m)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
水位下降側	現地形	あり	-10.38 (-10.62)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		なし	-11.35 (-11.59)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	1m沈下	あり	-10.36 (-10.60)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		なし	-11.32 (-11.56)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	【水位上昇側】地盤変状又は防波堤 ^{※1}			【水位下降側】2号炉取水口 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	基本ケース (防波堤有り)	沈下有り1m (防波堤有り)	差異 (B-A)	基本ケース (防波堤有り)	沈下有り1m (防波堤有り)	差異 (B-A)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波1 (防波堤有り)	+10.77m (+10.67m)	+10.77m (+10.67m)	0.00m (0.00m)	-5.20m (-5.12m)	-5.20m (-5.12m)	0.00m (0.00m)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波2 (防波堤有り)	+11.90m (+11.88m)	+11.90m (+11.88m)	0.00m (0.00m)	-6.41m (-6.01m)	-6.41m (-6.01m)	0.00m (0.00m)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波3 (防波堤有り)	+9.00m (+8.93m)	+9.00m (+8.93m)	0.00m (-0.01m)	-4.7m (-4.62m)	-4.7m (-4.62m)	0.00m (0.00m)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波4 (防波堤有り)				-4.1m (-4.04m)	-4.1m (-4.04m)	0.00m (0.00m)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波4 (防波堤無し)				-4.3m (-4.25m)	-4.3m (-4.25m)	0.00m (0.00m)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波5 (防波堤無し)	11.5m (+11.45m)	11.5m (+11.45m)	0.00m (0.00m)	-6.1m (-6.08m)	-6.1m (-6.08m)	0.00m (0.00m)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波6 (防波堤無し)				-6.1m (-6.08m)	-6.1m (-6.08m)	0.00m (0.00m)																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準津波	【水位上昇側】防波堤損傷		【水位上昇側】2号炉取水口		【水位上昇側】1号炉取水口		【水位上昇側】放水口																																																																																																																																																																																																																																																																														
	基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)	基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)	基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)	基準ケース (防波堤有り)	敷地 (防波堤有り)																																																																																																																																																																																																																																																																													
基準津波1 (防波堤有り)	15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																																		
基準津波2 (防波堤有り)			10.40m	10.40m	0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																																
基準津波3 (防波堤有り)			15.00m	15.00m	0.30m																																																																																																																																																																																																																																																																																
基準津波4 (防波堤有り)					0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																																
基準津波5 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波6 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波7 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波8 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波9 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波10 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波11 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波12 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波13 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波14 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波15 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波16 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波17 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波18 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波19 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														
基準津波20 (防波堤無し)					15.00m	15.00m	-0.20m																																																																																																																																																																																																																																																																														

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
		<p>表 2.1.c.b-4 (2) 基本ケースと敷地(陸域)の地盤変状(3.5m沈下)を考慮したケースの保守性を考慮した時間の比較(水位下降側)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">【水位下降側】保守性を考慮した時間</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下無し)(a)</th> <th>沈下有り3.5m(b)</th> <th>差分(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)</td> <td>721s</td> <td>482s</td> <td>-239s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>898s</td> <td>710s</td> <td>13s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源K, 南防波堤損傷)</td> <td>743s</td> <td>738s</td> <td>-5s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源L, 北防波堤損傷)</td> <td>883s</td> <td>846s</td> <td>-17s</td> </tr> </tbody> </table>		【水位下降側】保守性を考慮した時間			基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り3.5m(b)	差分(b-a)	基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	721s	482s	-239s	基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	898s	710s	13s	基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	743s	738s	-5s	基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	883s	846s	-17s	<p>【島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>																																																																
	【水位下降側】保守性を考慮した時間																																																																																									
	基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り3.5m(b)	差分(b-a)																																																																																							
基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	721s	482s	-239s																																																																																							
基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	898s	710s	13s																																																																																							
基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	743s	738s	-5s																																																																																							
基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	883s	846s	-17s																																																																																							
		<p>表 2.1.c.b-4 (3) 基本ケースと敷地(陸域)の地盤変状(3.5m沈下)を考慮したケースの最大流速比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">最大流速</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下無し)(a)</th> <th>沈下有り3.5m(b)</th> <th>差分(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)</td><td>13.81m/s</td><td>12.86m/s</td><td>-1.15m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)</td><td>17.26m/s</td><td>14.32m/s</td><td>-2.94m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源B, 北防波堤損傷)</td><td>13.60m/s</td><td>11.54m/s</td><td>-2.06m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源C, 防波堤損傷なし)</td><td>13.95m/s</td><td>11.22m/s</td><td>-2.73m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)</td><td>17.57m/s</td><td>14.57m/s</td><td>-3.00m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷)</td><td>13.19m/s</td><td>13.21m/s</td><td>0.02m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 南防波堤損傷)</td><td>16.77m/s</td><td>13.84m/s</td><td>-2.93m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 北防波堤損傷)</td><td>14.60m/s</td><td>12.06m/s</td><td>-2.57m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源E, 北及び南防波堤損傷)</td><td>12.58m/s</td><td>12.49m/s</td><td>-0.08m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源E, 南防波堤損傷)</td><td>16.58m/s</td><td>13.84m/s</td><td>-2.72m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)</td><td>12.31m/s</td><td>12.24m/s</td><td>-0.07m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源F, 北防波堤損傷)</td><td>13.72m/s</td><td>11.43m/s</td><td>-2.23m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源G, 南防波堤損傷)</td><td>15.27m/s</td><td>13.07m/s</td><td>-2.20m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源H, 北防波堤損傷)</td><td>14.13m/s</td><td>11.56m/s</td><td>-2.57m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)</td><td>13.70m/s</td><td>11.10m/s</td><td>-2.60m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)</td><td>12.94m/s</td><td>11.17m/s</td><td>-1.77m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源K, 南防波堤損傷)</td><td>16.96m/s</td><td>14.17m/s</td><td>-2.79m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源L, 北防波堤損傷)</td><td>12.14m/s</td><td>12.27m/s</td><td>0.13m/s</td></tr> <tr><td>流速最大波源* (波源K, 防波堤損傷なし)</td><td>17.63m/s</td><td>15.02m/s</td><td>-2.61m/s</td></tr> <tr><td>流速最大波源* (波源K, 北及び南防波堤損傷)</td><td>13.54m/s</td><td>13.57m/s</td><td>0.03m/s</td></tr> </tbody> </table> <p>※基準津波ではないが最大流速の観点から追加</p>		最大流速			基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り3.5m(b)	差分(b-a)	基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)	13.81m/s	12.86m/s	-1.15m/s	基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)	17.26m/s	14.32m/s	-2.94m/s	基準津波(波源B, 北防波堤損傷)	13.60m/s	11.54m/s	-2.06m/s	基準津波(波源C, 防波堤損傷なし)	13.95m/s	11.22m/s	-2.73m/s	基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)	17.57m/s	14.57m/s	-3.00m/s	基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷)	13.19m/s	13.21m/s	0.02m/s	基準津波(波源D, 南防波堤損傷)	16.77m/s	13.84m/s	-2.93m/s	基準津波(波源D, 北防波堤損傷)	14.60m/s	12.06m/s	-2.57m/s	基準津波(波源E, 北及び南防波堤損傷)	12.58m/s	12.49m/s	-0.08m/s	基準津波(波源E, 南防波堤損傷)	16.58m/s	13.84m/s	-2.72m/s	基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)	12.31m/s	12.24m/s	-0.07m/s	基準津波(波源F, 北防波堤損傷)	13.72m/s	11.43m/s	-2.23m/s	基準津波(波源G, 南防波堤損傷)	15.27m/s	13.07m/s	-2.20m/s	基準津波(波源H, 北防波堤損傷)	14.13m/s	11.56m/s	-2.57m/s	基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	13.70m/s	11.10m/s	-2.60m/s	基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	12.94m/s	11.17m/s	-1.77m/s	基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	16.96m/s	14.17m/s	-2.79m/s	基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	12.14m/s	12.27m/s	0.13m/s	流速最大波源* (波源K, 防波堤損傷なし)	17.63m/s	15.02m/s	-2.61m/s	流速最大波源* (波源K, 北及び南防波堤損傷)	13.54m/s	13.57m/s	0.03m/s	<p>【島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>
	最大流速																																																																																									
	基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り3.5m(b)	差分(b-a)																																																																																							
基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)	13.81m/s	12.86m/s	-1.15m/s																																																																																							
基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)	17.26m/s	14.32m/s	-2.94m/s																																																																																							
基準津波(波源B, 北防波堤損傷)	13.60m/s	11.54m/s	-2.06m/s																																																																																							
基準津波(波源C, 防波堤損傷なし)	13.95m/s	11.22m/s	-2.73m/s																																																																																							
基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)	17.57m/s	14.57m/s	-3.00m/s																																																																																							
基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷)	13.19m/s	13.21m/s	0.02m/s																																																																																							
基準津波(波源D, 南防波堤損傷)	16.77m/s	13.84m/s	-2.93m/s																																																																																							
基準津波(波源D, 北防波堤損傷)	14.60m/s	12.06m/s	-2.57m/s																																																																																							
基準津波(波源E, 北及び南防波堤損傷)	12.58m/s	12.49m/s	-0.08m/s																																																																																							
基準津波(波源E, 南防波堤損傷)	16.58m/s	13.84m/s	-2.72m/s																																																																																							
基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)	12.31m/s	12.24m/s	-0.07m/s																																																																																							
基準津波(波源F, 北防波堤損傷)	13.72m/s	11.43m/s	-2.23m/s																																																																																							
基準津波(波源G, 南防波堤損傷)	15.27m/s	13.07m/s	-2.20m/s																																																																																							
基準津波(波源H, 北防波堤損傷)	14.13m/s	11.56m/s	-2.57m/s																																																																																							
基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	13.70m/s	11.10m/s	-2.60m/s																																																																																							
基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	12.94m/s	11.17m/s	-1.77m/s																																																																																							
基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	16.96m/s	14.17m/s	-2.79m/s																																																																																							
基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	12.14m/s	12.27m/s	0.13m/s																																																																																							
流速最大波源* (波源K, 防波堤損傷なし)	17.63m/s	15.02m/s	-2.61m/s																																																																																							
流速最大波源* (波源K, 北及び南防波堤損傷)	13.54m/s	13.57m/s	0.03m/s																																																																																							

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="689 145 1256 507"> </div> <div data-bbox="689 523 1256 576"> <p>図3-16(1) 地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波1(防波堤有り)及び基準津波1(防波堤無し))</p> </div> <div data-bbox="913 651 1249 699" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div> <div data-bbox="689 874 1256 1236"> </div> <div data-bbox="689 1252 1256 1305"> <p>図3-16(2) 地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波2(防波堤有り)及び基準津波5(防波堤無し))</p> </div> <div data-bbox="913 1369 1249 1417" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div>		<p>【島根】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、検討ケース数が多いことから、「3. 各地形変化によるデータ集」として纏めて記載している。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="683 151 1263 526"> <p>最大水位下降量分布 (防波堤設置の有無による比較)</p> <p>標準津波1 (防波堤有り) 最大水位下降量: -4.94m ~ -0.19m[※] = -5.13m ~ -5.2m</p> <p>標準津波1 (防波堤無し) 最大水位下降量: -4.94m ~ -0.19m[※] = -5.13m ~ -5.2m</p> <p>標準津波1 (防波堤有り) 最大水位下降量: -5.82m ~ -0.19m[※] = -6.01m ~ -6.1m</p> <p>標準津波1 (防波堤無し) 最大水位下降量: -5.82m ~ -0.19m[※] = -6.01m ~ -6.1m</p> <p>※ 防波堤平均干満差: 0.02m, 測点間隔: 2mを併せて0.19mを考慮</p> </div> <div data-bbox="683 550 1263 606"> <p>図3-16(3) 地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較 (標準津波1 (防波堤有り) 及び標準津波1 (防波堤無し))</p> </div> <div data-bbox="913 654 1254 694"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div>		<p>【島根】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、検討ケース数が多いことから、「3. 各地形変化によるデータ集」として纏めて記載している。
	<div data-bbox="683 869 1263 1244"> <p>最大水位下降量分布 (防波堤設置の有無による比較)</p> <p>標準津波3 (防波堤有り) 最大水位下降量: -4.44m ~ -0.19m[※] = -4.63m ~ -4.7m</p> <p>標準津波3 (防波堤無し) 最大水位下降量: -4.44m ~ -0.19m[※] = -4.63m ~ -4.7m</p> <p>標準津波6 (防波堤有り) 最大水位下降量: -5.09m ~ -0.19m[※] = -5.28m ~ -5.3m</p> <p>標準津波6 (防波堤無し) 最大水位下降量: -5.09m ~ -0.19m[※] = -5.28m ~ -5.3m</p> <p>※ 防波堤平均干満差: 0.02m, 測点間隔: 2mを併せて0.19mを考慮</p> </div> <div data-bbox="683 1252 1263 1308"> <p>図3-16(4) 地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較 (標準津波3 (防波堤有り) 及び標準津波6 (防波堤無し))</p> </div> <div data-bbox="913 1364 1254 1404"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div>		

第5条 津波による損傷の防止

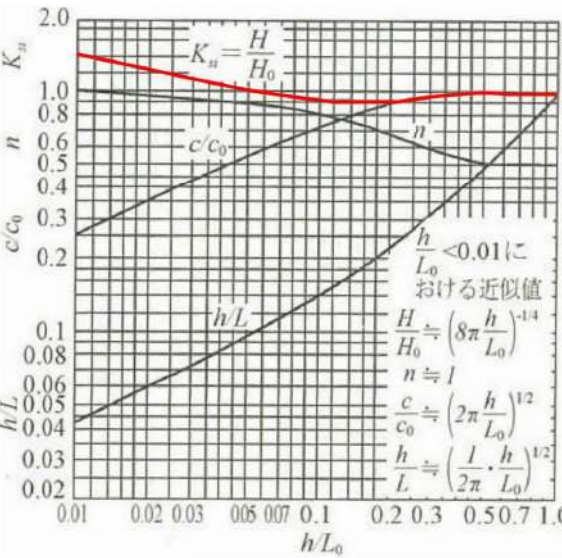
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図3-16(5) 地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波4(防波堤有り)及び基準津波4(防波堤無し))</p> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p>		<p>【島根】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、検討ケース数が多いことから、「3. 各地形変化によるデータ集」として纏めて記載している。

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)


第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																						
		<p>表 2.1.c.b-5 (1) 基本ケースと敷地(陸域)の地盤変状(5.0m沈下)を考慮したケースの比較(水位上昇側)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本ケース(沈下無し)</th> <th colspan="2">【水位上昇側】防波堤側</th> <th colspan="2">【水位上昇側】陸域側</th> <th colspan="2">【水位上昇側】防波堤側</th> <th colspan="2">【水位上昇側】陸域側</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下無し)</th> <th>沈下5.0m</th> <th>基本ケース(沈下無し)</th> <th>沈下5.0m</th> <th>基本ケース(沈下無し)</th> <th>沈下5.0m</th> <th>基本ケース(沈下無し)</th> <th>沈下5.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本変状(波源A, 防波堤損傷なし)</td> <td>13.46a</td> <td>13.16a</td> <td>-0.30a</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源B, 防波堤損傷なし)</td> <td></td> <td></td> <td>0.45a</td> <td>13.35a</td> <td>2.75a</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源C, 防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td>12.45a</td> <td>13.35a</td> <td>0.90a</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源D, 防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.36a</td> <td>0.05a</td> <td>-0.31a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源E, 防波堤損傷なし)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.07a</td> <td>0.47a</td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源F, 防波堤損傷なし)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.07a</td> <td>0.47a</td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源G, 北及び南防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.07a</td> <td>0.47a</td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源H, 南防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.07a</td> <td>0.47a</td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源I, 防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.07a</td> <td>0.47a</td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源J, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>15.45a</td> <td>13.11a</td> <td>-2.34a</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源K, 防波堤損傷)</td> <td>14.30a</td> <td>13.10a</td> <td>-1.20a</td> <td>11.10a</td> <td>11.30a</td> <td>0.20a</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源L, 北及び南防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13.15a</td> <td>13.85a</td> <td>0.70a</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源M, 防波堤損傷)</td> <td>15.45a</td> <td>13.10a</td> <td>-2.35a</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源N, 防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.11a</td> <td>0.47a</td> </tr> <tr> <td>基本変状(波源O, 防波堤損傷)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.10a</td> <td>0.47a</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.1.c.b-5 (2) 基本ケースと敷地(陸域)の地盤変状(5.0m沈下)を考慮したケースの保守性を考慮した時間の比較(水位下降側)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">【水位下降側】保守性を考慮した時間</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下無し)(a)</th> <th>沈下有り5.0m(b)</th> <th>差分(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)</td> <td>721s</td> <td>470s</td> <td>-242s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>698s</td> <td>712s</td> <td>14s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源K, 南防波堤損傷)</td> <td>743s</td> <td>734s</td> <td>-9s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源L, 北防波堤損傷)</td> <td>863s</td> <td>834s</td> <td>-29s</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.1.c.b-5 (3) 基本ケースと敷地(陸域)の地盤変状(5.0m沈下)を考慮したケースの最大流速比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">最大流速</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下無し)(a)</th> <th>沈下有り5.0m(b)</th> <th>差分(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)</td> <td>13.81a/s</td> <td>11.74a/s</td> <td>-2.07a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)</td> <td>17.29a/s</td> <td>13.91a/s</td> <td>-3.38a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源C, 北防波堤損傷)</td> <td>13.80a/s</td> <td>13.05a/s</td> <td>-0.75a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)</td> <td>13.85a/s</td> <td>12.16a/s</td> <td>-1.70a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源E, 防波堤損傷なし)</td> <td>17.57a/s</td> <td>14.13a/s</td> <td>-3.44a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>13.19a/s</td> <td>13.24a/s</td> <td>0.05a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源G, 南防波堤損傷)</td> <td>16.77a/s</td> <td>13.40a/s</td> <td>-3.37a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源H, 北防波堤損傷)</td> <td>14.80a/s</td> <td>12.58a/s</td> <td>-2.22a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源I, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>12.58a/s</td> <td>13.25a/s</td> <td>0.67a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源J, 南防波堤損傷)</td> <td>16.56a/s</td> <td>13.50a/s</td> <td>-3.06a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源K, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>12.31a/s</td> <td>13.15a/s</td> <td>0.84a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源L, 北防波堤損傷)</td> <td>13.72a/s</td> <td>12.89a/s</td> <td>-0.83a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源M, 南防波堤損傷)</td> <td>15.57a/s</td> <td>12.84a/s</td> <td>-2.73a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源N, 北防波堤損傷)</td> <td>14.13a/s</td> <td>12.90a/s</td> <td>-1.23a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源O, 防波堤損傷なし)</td> <td>13.70a/s</td> <td>11.49a/s</td> <td>-2.21a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源P, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>12.94a/s</td> <td>11.80a/s</td> <td>-1.14a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源Q, 南防波堤損傷)</td> <td>16.08a/s</td> <td>13.73a/s</td> <td>-2.35a/s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源R, 北防波堤損傷)</td> <td>12.14a/s</td> <td>12.27a/s</td> <td>0.13a/s</td> </tr> <tr> <td>流速最大波源^注(波源K, 防波堤損傷なし)</td> <td>17.63a/s</td> <td>14.85a/s</td> <td>-2.78a/s</td> </tr> <tr> <td>流速最大波源^注(波源L, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>13.54a/s</td> <td>13.59a/s</td> <td>0.04a/s</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基準津波ではないが最大流速の観点から追加</p>	基本ケース(沈下無し)	【水位上昇側】防波堤側		【水位上昇側】陸域側		【水位上昇側】防波堤側		【水位上昇側】陸域側		基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m	基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m	基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m	基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m	基本変状(波源A, 防波堤損傷なし)	13.46a	13.16a	-0.30a						基本変状(波源B, 防波堤損傷なし)			0.45a	13.35a	2.75a				基本変状(波源C, 防波堤損傷)			12.45a	13.35a	0.90a				基本変状(波源D, 防波堤損傷)					0.36a	0.05a	-0.31a		基本変状(波源E, 防波堤損傷なし)							11.07a	0.47a	基本変状(波源F, 防波堤損傷なし)							11.07a	0.47a	基本変状(波源G, 北及び南防波堤損傷)							11.07a	0.47a	基本変状(波源H, 南防波堤損傷)							11.07a	0.47a	基本変状(波源I, 防波堤損傷)							11.07a	0.47a	基本変状(波源J, 北及び南防波堤損傷)	15.45a	13.11a	-2.34a						基本変状(波源K, 防波堤損傷)	14.30a	13.10a	-1.20a	11.10a	11.30a	0.20a			基本変状(波源L, 北及び南防波堤損傷)				13.15a	13.85a	0.70a			基本変状(波源M, 防波堤損傷)	15.45a	13.10a	-2.35a						基本変状(波源N, 防波堤損傷)							11.11a	0.47a	基本変状(波源O, 防波堤損傷)							11.10a	0.47a		【水位下降側】保守性を考慮した時間			基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り5.0m(b)	差分(b-a)	基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	721s	470s	-242s	基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	698s	712s	14s	基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	743s	734s	-9s	基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	863s	834s	-29s		最大流速			基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り5.0m(b)	差分(b-a)	基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)	13.81a/s	11.74a/s	-2.07a/s	基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)	17.29a/s	13.91a/s	-3.38a/s	基準津波(波源C, 北防波堤損傷)	13.80a/s	13.05a/s	-0.75a/s	基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)	13.85a/s	12.16a/s	-1.70a/s	基準津波(波源E, 防波堤損傷なし)	17.57a/s	14.13a/s	-3.44a/s	基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)	13.19a/s	13.24a/s	0.05a/s	基準津波(波源G, 南防波堤損傷)	16.77a/s	13.40a/s	-3.37a/s	基準津波(波源H, 北防波堤損傷)	14.80a/s	12.58a/s	-2.22a/s	基準津波(波源I, 北及び南防波堤損傷)	12.58a/s	13.25a/s	0.67a/s	基準津波(波源J, 南防波堤損傷)	16.56a/s	13.50a/s	-3.06a/s	基準津波(波源K, 北及び南防波堤損傷)	12.31a/s	13.15a/s	0.84a/s	基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	13.72a/s	12.89a/s	-0.83a/s	基準津波(波源M, 南防波堤損傷)	15.57a/s	12.84a/s	-2.73a/s	基準津波(波源N, 北防波堤損傷)	14.13a/s	12.90a/s	-1.23a/s	基準津波(波源O, 防波堤損傷なし)	13.70a/s	11.49a/s	-2.21a/s	基準津波(波源P, 北及び南防波堤損傷)	12.94a/s	11.80a/s	-1.14a/s	基準津波(波源Q, 南防波堤損傷)	16.08a/s	13.73a/s	-2.35a/s	基準津波(波源R, 北防波堤損傷)	12.14a/s	12.27a/s	0.13a/s	流速最大波源 ^注 (波源K, 防波堤損傷なし)	17.63a/s	14.85a/s	-2.78a/s	流速最大波源 ^注 (波源L, 北及び南防波堤損傷)	13.54a/s	13.59a/s	0.04a/s	<p>【女川、島根】評価方針の相違 ・泊では局所的な沈下量に基づく解析も実施することで、沈下量設定の妥当性を確認している。</p> <p>【島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p>【島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>
基本ケース(沈下無し)	【水位上昇側】防波堤側			【水位上昇側】陸域側		【水位上昇側】防波堤側		【水位上昇側】陸域側																																																																																																																																																																																																																																																																	
	基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m	基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m	基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m	基本ケース(沈下無し)	沈下5.0m																																																																																																																																																																																																																																																																	
基本変状(波源A, 防波堤損傷なし)	13.46a	13.16a	-0.30a																																																																																																																																																																																																																																																																						
基本変状(波源B, 防波堤損傷なし)			0.45a	13.35a	2.75a																																																																																																																																																																																																																																																																				
基本変状(波源C, 防波堤損傷)			12.45a	13.35a	0.90a																																																																																																																																																																																																																																																																				
基本変状(波源D, 防波堤損傷)					0.36a	0.05a	-0.31a																																																																																																																																																																																																																																																																		
基本変状(波源E, 防波堤損傷なし)							11.07a	0.47a																																																																																																																																																																																																																																																																	
基本変状(波源F, 防波堤損傷なし)							11.07a	0.47a																																																																																																																																																																																																																																																																	
基本変状(波源G, 北及び南防波堤損傷)							11.07a	0.47a																																																																																																																																																																																																																																																																	
基本変状(波源H, 南防波堤損傷)							11.07a	0.47a																																																																																																																																																																																																																																																																	
基本変状(波源I, 防波堤損傷)							11.07a	0.47a																																																																																																																																																																																																																																																																	
基本変状(波源J, 北及び南防波堤損傷)	15.45a	13.11a	-2.34a																																																																																																																																																																																																																																																																						
基本変状(波源K, 防波堤損傷)	14.30a	13.10a	-1.20a	11.10a	11.30a	0.20a																																																																																																																																																																																																																																																																			
基本変状(波源L, 北及び南防波堤損傷)				13.15a	13.85a	0.70a																																																																																																																																																																																																																																																																			
基本変状(波源M, 防波堤損傷)	15.45a	13.10a	-2.35a																																																																																																																																																																																																																																																																						
基本変状(波源N, 防波堤損傷)							11.11a	0.47a																																																																																																																																																																																																																																																																	
基本変状(波源O, 防波堤損傷)							11.10a	0.47a																																																																																																																																																																																																																																																																	
	【水位下降側】保守性を考慮した時間																																																																																																																																																																																																																																																																								
	基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り5.0m(b)	差分(b-a)																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	721s	470s	-242s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	698s	712s	14s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	743s	734s	-9s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	863s	834s	-29s																																																																																																																																																																																																																																																																						
	最大流速																																																																																																																																																																																																																																																																								
	基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り5.0m(b)	差分(b-a)																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)	13.81a/s	11.74a/s	-2.07a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)	17.29a/s	13.91a/s	-3.38a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源C, 北防波堤損傷)	13.80a/s	13.05a/s	-0.75a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)	13.85a/s	12.16a/s	-1.70a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源E, 防波堤損傷なし)	17.57a/s	14.13a/s	-3.44a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)	13.19a/s	13.24a/s	0.05a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源G, 南防波堤損傷)	16.77a/s	13.40a/s	-3.37a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源H, 北防波堤損傷)	14.80a/s	12.58a/s	-2.22a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源I, 北及び南防波堤損傷)	12.58a/s	13.25a/s	0.67a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源J, 南防波堤損傷)	16.56a/s	13.50a/s	-3.06a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源K, 北及び南防波堤損傷)	12.31a/s	13.15a/s	0.84a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	13.72a/s	12.89a/s	-0.83a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源M, 南防波堤損傷)	15.57a/s	12.84a/s	-2.73a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源N, 北防波堤損傷)	14.13a/s	12.90a/s	-1.23a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源O, 防波堤損傷なし)	13.70a/s	11.49a/s	-2.21a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源P, 北及び南防波堤損傷)	12.94a/s	11.80a/s	-1.14a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源Q, 南防波堤損傷)	16.08a/s	13.73a/s	-2.35a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
基準津波(波源R, 北防波堤損傷)	12.14a/s	12.27a/s	0.13a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
流速最大波源 ^注 (波源K, 防波堤損傷なし)	17.63a/s	14.85a/s	-2.78a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						
流速最大波源 ^注 (波源L, 北及び南防波堤損傷)	13.54a/s	13.59a/s	0.04a/s																																																																																																																																																																																																																																																																						

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(c) 敷地前面海底地盤の地盤変状について</p> <p>イ. 海域における液状化の発生について</p> <p>海底地盤の地震時における液状化の発生について、「ガスパイプライン安全基準検討会報告」では、海底敷設のガスパイプラインの設計において考慮する荷重条件として、地震時の液状化に伴う地盤変状が挙げられており、海底地盤において液状化の発生が考慮されている構造物もあることから、入力津波の設定に当たって海域の地盤変状による影響について検討する。</p> <p>ロ. 海域における地盤変状の影響について</p> <p>一般的に、図 2.1.c.c-1 に示すように浅海域においては水深が深くなれば、水位が低くなることから、通常の検討においては海域の液状化による海底面の沈下は考慮しない方が保守的となる。</p>  <p> $K_{st} = \frac{H}{H_0}$ c/c_0 n h/L $h/L_0 < 0.01$ における近似値 $\frac{H}{H_0} \approx \left(8\pi \frac{h}{L_0}\right)^{-1.4}$ $n \approx 1$ $\frac{c}{c_0} \approx \left(2\pi \frac{h}{L_0}\right)^{1.2}$ $\frac{h}{L} \approx \left(\frac{1}{2\pi} \frac{h}{L_0}\right)^{1.2}$ </p> <p> K_{st} : 浅水係数 H : 波高 H_0 : 沖波高 h : 水深 L_0 : 沖波波長 </p> <p>図 2.1.c.c-1 微小振幅波理論による波長、波速、浅水係数の算定図表※</p> <p>※土木学会(2018)に一部加筆</p>	<p>【女川、島根】設計方針の相違</p> <p>・泊では、敷地前面海底地盤に存在する堆積層(沖積層及び洪積層)が、地震時の液状化により沈下する可能性があるため、敷地前面海底地盤の地盤変状について、入力津波への影響を検討する。(以下、本項における相違理由の記載を省略する。)</p>

第5条 津波による損傷の防止

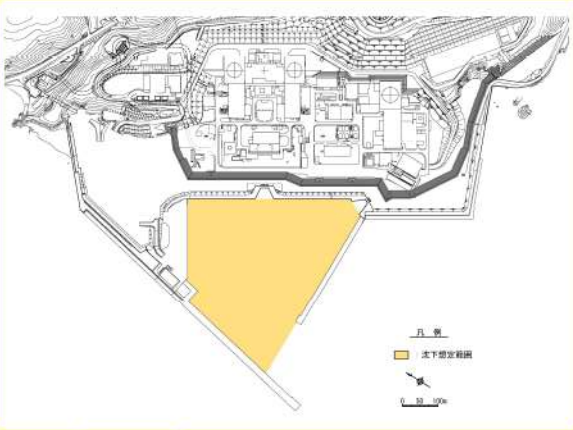
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波水位に対し、上昇側は海域の液状化による海底面の沈下を考慮しない方が保守的と考えられるものの、下降側は専用港内に取水口が設置されていることから、海底面の沈下により取水性に影響を与える可能性がある。</p> <p>泊発電所周辺の海底地形は、敷地前面の港湾内から沖合にかけて沖積層及び洪積層の堆積層が分布しているため、液状化による海域の地盤変状が泊発電所周辺における下降側の津波水位に影響を及ぼし、入力津波評価へ影響を与える可能性が否定できないことから、海域の地盤変状による入力津波の設定に与える影響について評価する。</p> <p>ハ、海域の地盤変状の設定条件(範囲、沈下量)について (イ)敷地前面海域及び港湾内の海底地盤 敷地前面海域及び港湾内のボーリング調査の結果より、海域の地盤変状範囲を設定する。敷地前面海域及び港湾内のボーリング調査位置図を図2.1.c.c-2に、柱状図を図2.1.c.c-3に示す。 柱状図より、敷地前面海域(G1~G3)及び港湾内(3Q-1~3)の液状化層は3.4m~39.5mである。 なお、液状化層は粘性土層を除く堆積層(砂、砂礫、安山岩礫)とする。</p>  <p>※3Q-3は3号炉放水池建設前に実施</p> <p>図2.1.c.c-2 敷地前面及び港湾内のボーリング調査位置図</p>	

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

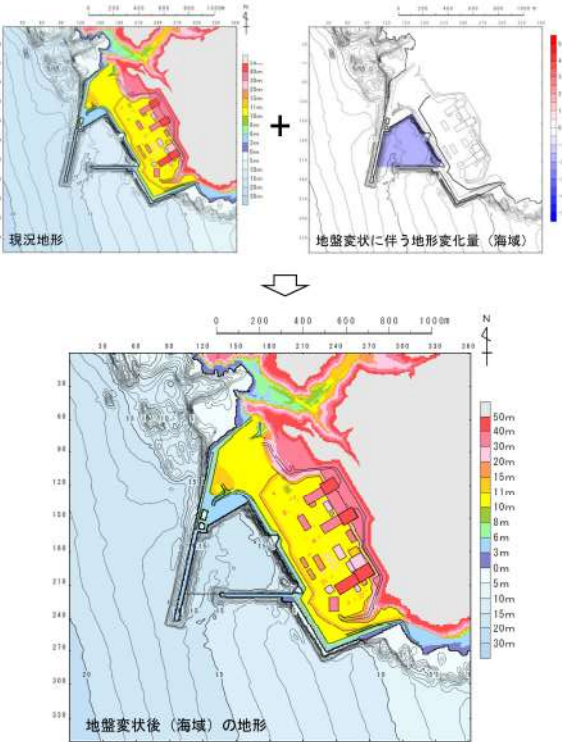
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>3Q-1 3Q-2 3Q-3 G1 G2 G3</p> <p>※地質調査結果は土質を詳しく記載し、砂質、粘土、砂質粘土、砂質泥炭、泥炭とあり、実山等類は上下層が異なることからの誤りによる。</p> <p>3Q-1 3Q-2 3Q-3 G1 G2 G3 土質記号 3-4 土質記号 3-5 土質記号 3-6 土質記号 3-7 土質記号 3-8 土質記号 3-9</p>	
		<p>図 2.1.c.c-3 敷地前面及び港湾内のボーリング調査結果 (柱状図)</p>	

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(ロ) 地盤変状範囲及び沈下量の設定</p> <p>地盤変状範囲は図 2.1.c.c-4 に示すように3号炉取水口前面の防波堤で囲まれた専用港湾内を対象に設定した。</p> <p>海域の地盤変状により、遡上解析結果への影響が認められる場合は、地盤変状範囲が港湾外に拡大することによる影響も検討する。</p>  <p>図 2.1.c.c-4 海域地盤の地盤変状範囲（港湾内）</p> <p>遡上解析を実施する上での初期条件として、海域の地盤変状を反映するにあたり、図 2.1.c.c-3 のボーリング調査の結果に基づき海域の沈下量を設定する。海域の過剰間隙水圧消散による沈下量算定の対象層として、海底の堆積層である砂層と砂礫層を選定する。</p> <p>各層の沈下率は、図 2.1.c.b-6 で示す Ishihara et al. (1992) の地盤の相対密度に応じた体積ひずみと最大せん断ひずみの関係から算出する。</p> <p>砂層と砂礫層の相対密度は、陸域の調査結果より、両者ともに As2 層よりも小さい As1 層の相対密度の 40% とし、保守的に設定する。</p> <p>体積ひずみと最大せん断ひずみの関係において、体積ひずみが最大となっている領域の飽和土は、完全に液状化した後の再圧密によって、粒子が再配列され間隙が最も小さくなった状態を示しており、地震時のせん断ひずみ履歴による体積圧縮の最大値を示していると考えられる。</p> <p>海底の飽和地盤である砂層及び砂礫層の沈下率は、液状化判定によらずこの完全に液状化した状態を想定し、両者ともに陸域で算出した As1 層の 4.5% とし、保守的に設定する。</p> <p>沈下率を乗じる砂層と砂礫層の層厚は、図 2.1.c.c-3 のボーリング調査の結果より G3 の層厚 39.5m≒40m を採用し、図 2.1.c.c-4 の海域地盤の地盤変状範囲の層厚を一律 40m と</p>	

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>設定して、沈下量を保守的に算出する。 以上から、沈下量は2.0m ($40\text{m} \times 4.5\% = 1.8 \approx 2.0\text{m}$)と設定する。 海域の地盤変状による沈下量を反映した地形モデルを図2.1.c.c-5に示す。</p>  <p>図2.1.c.c-5 海域の地盤変状による沈下量を反映した地形モデル</p>	

実線・設計方針又は設備構成等の相違
波線・記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
		<p>三、敷地前面海底地盤の地盤変状を考慮した遡上解析 イ、～ハ、を踏まえ、沈下量を保守的に2mと設定し、遡上解析を実施した。すべての基準津波を対象に沈下を考慮しない基本ケース及び2m沈下させたケースを比較し、その差異を表2.1.c.c-1に示す。また、最大水位上昇量分布、最大水位下降量分布、水位時刻歴波形及び最大流速分布を図2.1.c.c-6に示す。</p> <p>津波解析の結果、2m沈下させた場合、水位上昇側の防潮堤前面、3号炉取水口、1、2号炉取水口及び放水口の水位上昇量は、基本ケースと同程度であった。また、水位下降側の「保守性を考慮した時間」は、基本ケースと同程度若しくは基本ケースの方が大きい。さらに、最大流速及び流況(流向・流速)は、基本ケースと同程度であった。</p> <p>以上より、敷地前面海底地盤の地震による地形変化は、入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。</p> <p>表2.1.c.c-1(1) 基本ケースと敷地(海城)の地盤変状(2.0m沈下)を考慮したケースの比較(水位上昇側)</p> <table border="1" data-bbox="1279 751 1861 1015"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">【敷地上昇側】敷地(海城)</th> <th colspan="3">【敷地上昇側】1号炉取水口</th> <th colspan="3">【敷地上昇側】2号炉取水口</th> <th colspan="3">【敷地上昇側】放水口</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下量:0.0m)</th> <th>沈下量:2.0m</th> <th>差分</th> <th>基本ケース(沈下量:0.0m)</th> <th>沈下量:2.0m</th> <th>差分</th> <th>基本ケース(沈下量:0.0m)</th> <th>沈下量:2.0m</th> <th>差分</th> <th>基本ケース(沈下量:0.0m)</th> <th>沈下量:2.0m</th> <th>差分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本津波(初期入、初期避難後時)</td> <td>15.40m</td> <td>15.50m</td> <td>0.10m</td> <td>16.40m</td> <td>16.50m</td> <td>0.10m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、初期避難後時)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12.70m</td> <td>12.70m</td> <td>0.00m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、初期避難後時)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9.50m</td> <td>9.50m</td> <td>0.00m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、初期避難後時)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.50m</td> <td>10.50m</td> <td>0.00m</td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.50m</td> <td>10.50m</td> <td>0.00m</td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、南西1号炉取水口側)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.50m</td> <td>10.50m</td> <td>0.00m</td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)</td> <td>15.40m</td> <td>15.50m</td> <td>0.10m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.70m</td> <td>10.70m</td> <td>0.00m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、南西1号炉取水口側)</td> <td>14.90m</td> <td>14.70m</td> <td>-0.20m</td> <td>11.00m</td> <td>11.70m</td> <td>0.70m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.10m</td> <td>11.10m</td> <td>0.00m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)</td> <td>15.40m</td> <td>15.40m</td> <td>0.00m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12.50m</td> <td>12.50m</td> <td>0.00m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.50m</td> <td>11.50m</td> <td>0.00m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		【敷地上昇側】敷地(海城)			【敷地上昇側】1号炉取水口			【敷地上昇側】2号炉取水口			【敷地上昇側】放水口			基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分	基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分	基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分	基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分	基本津波(初期入、初期避難後時)	15.40m	15.50m	0.10m	16.40m	16.50m	0.10m							基本津波(初期入、初期避難後時)				12.70m	12.70m	0.00m							基本津波(初期入、初期避難後時)							9.50m	9.50m	0.00m				基本津波(初期入、初期避難後時)										10.50m	10.50m	0.00m	基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)										10.50m	10.50m	0.00m	基本津波(初期入、南西1号炉取水口側)										10.50m	10.50m	0.00m	基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)	15.40m	15.50m	0.10m				10.70m	10.70m	0.00m				基本津波(初期入、南西1号炉取水口側)	14.90m	14.70m	-0.20m	11.00m	11.70m	0.70m							基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)				11.10m	11.10m	0.00m							基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)	15.40m	15.40m	0.00m				12.50m	12.50m	0.00m				基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)							11.50m	11.50m	0.00m				
	【敷地上昇側】敷地(海城)			【敷地上昇側】1号炉取水口			【敷地上昇側】2号炉取水口			【敷地上昇側】放水口																																																																																																																																																																	
	基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分	基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分	基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分	基本ケース(沈下量:0.0m)	沈下量:2.0m	差分																																																																																																																																																															
基本津波(初期入、初期避難後時)	15.40m	15.50m	0.10m	16.40m	16.50m	0.10m																																																																																																																																																																					
基本津波(初期入、初期避難後時)				12.70m	12.70m	0.00m																																																																																																																																																																					
基本津波(初期入、初期避難後時)							9.50m	9.50m	0.00m																																																																																																																																																																		
基本津波(初期入、初期避難後時)										10.50m	10.50m	0.00m																																																																																																																																																															
基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)										10.50m	10.50m	0.00m																																																																																																																																																															
基本津波(初期入、南西1号炉取水口側)										10.50m	10.50m	0.00m																																																																																																																																																															
基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)	15.40m	15.50m	0.10m				10.70m	10.70m	0.00m																																																																																																																																																																		
基本津波(初期入、南西1号炉取水口側)	14.90m	14.70m	-0.20m	11.00m	11.70m	0.70m																																																																																																																																																																					
基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)				11.10m	11.10m	0.00m																																																																																																																																																																					
基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)	15.40m	15.40m	0.00m				12.50m	12.50m	0.00m																																																																																																																																																																		
基本津波(初期入、北東1号炉取水口側)							11.50m	11.50m	0.00m																																																																																																																																																																		

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																														
		<p>表 2.1.c.c-1 (2) 基本ケースと敷地(海域)の地盤変状(2.0m沈下)を考慮したケースの保守性を考慮した時間の比較(水位下降側)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">【水位下降側】保守性を考慮した時間</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下無し)(a)</th> <th>沈下有り2.0m(b)</th> <th>差分(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)</td> <td>721s</td> <td>520s</td> <td>-201s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)</td> <td>698s</td> <td>681s</td> <td>-17s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源K, 南防波堤損傷)</td> <td>743s</td> <td>737s</td> <td>-6s</td> </tr> <tr> <td>基準津波(波源L, 北防波堤損傷)</td> <td>863s</td> <td>811s</td> <td>-52s</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.1.c.c-1 (3) 基本ケースと敷地(海域)の地盤変状(2.0m沈下)を考慮したケースの最大流速比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">最大流速</th> </tr> <tr> <th>基本ケース(沈下無し)(a)</th> <th>沈下有り2.0m(b)</th> <th>差分(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)</td><td>13.81m/s</td><td>13.85m/s</td><td>0.04m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)</td><td>17.28m/s</td><td>17.16m/s</td><td>-0.10m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源B, 北防波堤損傷)</td><td>13.80m/s</td><td>13.79m/s</td><td>0.19m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源C, 防波堤損傷なし)</td><td>13.95m/s</td><td>13.86m/s</td><td>-0.09m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)</td><td>17.57m/s</td><td>17.89m/s</td><td>0.12m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷)</td><td>13.19m/s</td><td>13.82m/s</td><td>0.63m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 南防波堤損傷)</td><td>16.77m/s</td><td>16.87m/s</td><td>0.10m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源D, 北防波堤損傷)</td><td>14.80m/s</td><td>14.87m/s</td><td>0.07m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源E, 北及び南防波堤損傷)</td><td>12.56m/s</td><td>13.40m/s</td><td>0.84m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源E, 南防波堤損傷)</td><td>16.56m/s</td><td>16.87m/s</td><td>0.11m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)</td><td>12.31m/s</td><td>13.11m/s</td><td>0.80m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源F, 北防波堤損傷)</td><td>13.72m/s</td><td>13.70m/s</td><td>-0.02m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源G, 南防波堤損傷)</td><td>15.27m/s</td><td>15.51m/s</td><td>0.24m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源H, 北防波堤損傷)</td><td>14.13m/s</td><td>14.12m/s</td><td>-0.01m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)</td><td>13.70m/s</td><td>13.10m/s</td><td>-0.60m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)</td><td>12.94m/s</td><td>13.12m/s</td><td>0.18m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源K, 南防波堤損傷)</td><td>16.96m/s</td><td>17.19m/s</td><td>0.23m/s</td></tr> <tr><td>基準津波(波源L, 北防波堤損傷)</td><td>12.14m/s</td><td>13.02m/s</td><td>0.88m/s</td></tr> <tr><td>流速最大波源^①(波源K, 防波堤損傷なし)</td><td>17.83m/s</td><td>17.79m/s</td><td>0.15m/s</td></tr> <tr><td>流速最大波源^②(波源K, 北及び南防波堤損傷)</td><td>13.54m/s</td><td>14.80m/s</td><td>1.14m/s</td></tr> </tbody> </table> <p>※基準津波ではないが最大流速の観点から追加</p>		【水位下降側】保守性を考慮した時間			基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り2.0m(b)	差分(b-a)	基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	721s	520s	-201s	基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	698s	681s	-17s	基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	743s	737s	-6s	基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	863s	811s	-52s		最大流速			基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り2.0m(b)	差分(b-a)	基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)	13.81m/s	13.85m/s	0.04m/s	基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)	17.28m/s	17.16m/s	-0.10m/s	基準津波(波源B, 北防波堤損傷)	13.80m/s	13.79m/s	0.19m/s	基準津波(波源C, 防波堤損傷なし)	13.95m/s	13.86m/s	-0.09m/s	基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)	17.57m/s	17.89m/s	0.12m/s	基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷)	13.19m/s	13.82m/s	0.63m/s	基準津波(波源D, 南防波堤損傷)	16.77m/s	16.87m/s	0.10m/s	基準津波(波源D, 北防波堤損傷)	14.80m/s	14.87m/s	0.07m/s	基準津波(波源E, 北及び南防波堤損傷)	12.56m/s	13.40m/s	0.84m/s	基準津波(波源E, 南防波堤損傷)	16.56m/s	16.87m/s	0.11m/s	基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)	12.31m/s	13.11m/s	0.80m/s	基準津波(波源F, 北防波堤損傷)	13.72m/s	13.70m/s	-0.02m/s	基準津波(波源G, 南防波堤損傷)	15.27m/s	15.51m/s	0.24m/s	基準津波(波源H, 北防波堤損傷)	14.13m/s	14.12m/s	-0.01m/s	基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	13.70m/s	13.10m/s	-0.60m/s	基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	12.94m/s	13.12m/s	0.18m/s	基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	16.96m/s	17.19m/s	0.23m/s	基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	12.14m/s	13.02m/s	0.88m/s	流速最大波源 ^① (波源K, 防波堤損傷なし)	17.83m/s	17.79m/s	0.15m/s	流速最大波源 ^② (波源K, 北及び南防波堤損傷)	13.54m/s	14.80m/s	1.14m/s	
	【水位下降側】保守性を考慮した時間																																																																																																																
	基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り2.0m(b)	差分(b-a)																																																																																																														
基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	721s	520s	-201s																																																																																																														
基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	698s	681s	-17s																																																																																																														
基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	743s	737s	-6s																																																																																																														
基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	863s	811s	-52s																																																																																																														
	最大流速																																																																																																																
	基本ケース(沈下無し)(a)	沈下有り2.0m(b)	差分(b-a)																																																																																																														
基準津波(波源A, 防波堤損傷なし)	13.81m/s	13.85m/s	0.04m/s																																																																																																														
基準津波(波源B, 防波堤損傷なし)	17.28m/s	17.16m/s	-0.10m/s																																																																																																														
基準津波(波源B, 北防波堤損傷)	13.80m/s	13.79m/s	0.19m/s																																																																																																														
基準津波(波源C, 防波堤損傷なし)	13.95m/s	13.86m/s	-0.09m/s																																																																																																														
基準津波(波源D, 防波堤損傷なし)	17.57m/s	17.89m/s	0.12m/s																																																																																																														
基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷)	13.19m/s	13.82m/s	0.63m/s																																																																																																														
基準津波(波源D, 南防波堤損傷)	16.77m/s	16.87m/s	0.10m/s																																																																																																														
基準津波(波源D, 北防波堤損傷)	14.80m/s	14.87m/s	0.07m/s																																																																																																														
基準津波(波源E, 北及び南防波堤損傷)	12.56m/s	13.40m/s	0.84m/s																																																																																																														
基準津波(波源E, 南防波堤損傷)	16.56m/s	16.87m/s	0.11m/s																																																																																																														
基準津波(波源F, 北及び南防波堤損傷)	12.31m/s	13.11m/s	0.80m/s																																																																																																														
基準津波(波源F, 北防波堤損傷)	13.72m/s	13.70m/s	-0.02m/s																																																																																																														
基準津波(波源G, 南防波堤損傷)	15.27m/s	15.51m/s	0.24m/s																																																																																																														
基準津波(波源H, 北防波堤損傷)	14.13m/s	14.12m/s	-0.01m/s																																																																																																														
基準津波(波源I, 防波堤損傷なし)	13.70m/s	13.10m/s	-0.60m/s																																																																																																														
基準津波(波源J, 北及び南防波堤損傷)	12.94m/s	13.12m/s	0.18m/s																																																																																																														
基準津波(波源K, 南防波堤損傷)	16.96m/s	17.19m/s	0.23m/s																																																																																																														
基準津波(波源L, 北防波堤損傷)	12.14m/s	13.02m/s	0.88m/s																																																																																																														
流速最大波源 ^① (波源K, 防波堤損傷なし)	17.83m/s	17.79m/s	0.15m/s																																																																																																														
流速最大波源 ^② (波源K, 北及び南防波堤損傷)	13.54m/s	14.80m/s	1.14m/s																																																																																																														

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 防波堤損傷に関する検討</p> <p>島根原子力発電所では、<u>輪谷湾に防波堤及び東防波堤を設置しており、これら防波堤は、敷地周辺の地震により損傷する可能性は否定できないことから、防波堤の状態による入力津波への影響の有無を検討する。検討にあたっては、津波高さ</u>と津波高さ以外に区分して、実施する。</p> <p>(1) 検討結果</p> <p>①津波高さ</p> <p>基準津波策定の際に、防波堤の有無により津波高さに<u>有意な差を与えることを確認した（表4-1、図4-1）。</u></p> <p>②津波高さ以外（流況等）</p> <p>発電所沖合については、防波堤の有無により流況の変化が認められない（<u>図4-2</u>）。また、港湾内及び港湾外については、防波堤の有無により流況の変化が認められる。（<u>図4-3</u>）</p> <p>防波堤の有無に対する最大水位上昇量分布の比較を<u>図27に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図28に示す。図27、28より、防波堤の有無による最大水位上昇量分布、水位時刻歴波形に僅かな変化が認められ、上昇側水位へ影響を与えることが確認された。なお、防波堤がある場合には、防波堤による渦状の流れが生じ、この流れにより局所的に津波水位が大きくなる範囲が生じる。一方、防波堤がない場合には、津波水位が一樣に上昇し、局所的に津波水位が大きくなる範囲が生じないため、防波堤がある場合と比較して津波水位が低い。（発電所前面海域における防波堤有無の水位変動・流向ベクトルを「別添1 2.5(2)e. 基準津波に伴う取水口付近の漂流物に対する通水性確保 図2.5-12及び図2.5-14」に記載）</u></p> <p>比較のため、5.(2)項の内容を再掲</p> <p>防波堤の有無に対する最大水位下降量分布の比較を<u>図31に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図32に示す。図31、32より、防波堤の有無による最大水位下降量分布に変化が認められ、下降側水位へ影響を与えることが確認された。また、表5に示す最低水位のとおり、2号炉取水口前面においては防波堤の損傷を考慮した時の水位が低くなっている。</u></p> <p>比較のため、5.(3)項の内容を再掲</p> <p>沈下の有無に対する最大流速分布の比較を<u>図33に、防波堤の有無に対する最大流速分布の比較を図34に示す。</u></p> <p>図33より、沈下の有無による最大流速分布に有意な差は認められないが、<u>図34より防波堤の有無に対しては防波堤先端や上部で観測されていた最大流速が無くなるなど、流況・最大流速に変化が認められる。</u></p> <p>比較のため、5.(4)項の内容を再掲</p>	<p>d. 防波堤等の損傷に関する検討</p> <p>泊発電所では、<u>北防波堤及び南防波堤を設置しており、これら防波堤は、敷地周辺の地震により損傷する可能性は否定できないことから、防波堤の状態による入力津波への影響の有無を検討する。検討にあたっては、津波高さ</u>と津波高さ以外に区分して、実施する。</p> <p>また、護岸も同様に、<u>敷地周辺の地震により損傷する可能性は否定できないことから、護岸の損傷状態による入力津波への影響の有無を検討するため遡上解析を実施した*。</u></p> <p>(a) 検討結果</p> <p>①津波高さ</p> <p>基準津波策定の際に、防波堤の有無により津波高さに<u>差を与えることを確認した（表2.1.d.a-1、図2.1.d.a-1）。</u></p> <p>②津波高さ以外（流況等）</p> <p>発電所沖合については、防波堤の有無により流況の変化が認められない（<u>図2.1.d.a-2</u>）。また、港湾内及び港湾外については、防波堤の有無により流況の変化及び最大流速に<u>差が認められた。（表2.1.d.a-1、図2.1.d.a-3）</u></p> <p>※護岸の損傷は、「2.(1)c.(b)敷地地盤の地盤変状について」の<u>地盤変状において考慮する。</u></p>	<p>【島根】施設構成の相違</p> <p>【女川、島根】設計方針の相違</p> <p>・泊では、敷地及び敷地周辺の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅する観点で、敷地護岸の損傷についても、地震による地形変化として考慮する。</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>・島根実績の反映。</p>	

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉				島根原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																																																																																																																																					
<p>表4 最高水位一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基準津波</th> <th rowspan="2">地形</th> <th rowspan="2">防波堤</th> <th colspan="3">取水口前面水位[*](O.P. m)</th> <th colspan="2">取水口前面水位[*](O.P. m)</th> </tr> <tr> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>1号炉</th> <th>2・3号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">水位上昇側</td> <td rowspan="3">現地形</td> <td>あり</td> <td>21.58 (23.89)</td> <td>18.85 (21.16)</td> <td>19.50 (21.81)</td> <td>19.00 (21.91)</td> <td>16.46 (18.77)</td> <td>17.16 (19.47)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>20.64 (22.95)</td> <td>18.80 (21.11)</td> <td>19.27 (21.58)</td> <td>19.84 (22.15)</td> <td>17.81 (20.12)</td> <td>17.25 (19.56)</td> </tr> <tr> <td>1m沈下</td> <td>22.03 (24.34)</td> <td>18.60 (20.91)</td> <td>19.44 (21.75)</td> <td>19.61 (21.92)</td> <td>16.77 (19.08)</td> <td>17.33 (19.64)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1m沈下</td> <td>あり</td> <td>21.19 (23.50)</td> <td>18.67 (20.98)</td> <td>19.04 (21.35)</td> <td>19.58 (21.89)</td> <td>17.72 (20.03)</td> <td>17.35 (19.66)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () の数値は、潮望平均高潮位 (O.P.+1.43m)、潮位のぼらつき (0.16m) 及び地震変動量 (0.72m) を考慮した値。</p>				基準津波	地形	防波堤	取水口前面水位 [*] (O.P. m)			取水口前面水位 [*] (O.P. m)		1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2・3号炉	水位上昇側	現地形	あり	21.58 (23.89)	18.85 (21.16)	19.50 (21.81)	19.00 (21.91)	16.46 (18.77)	17.16 (19.47)	なし	20.64 (22.95)	18.80 (21.11)	19.27 (21.58)	19.84 (22.15)	17.81 (20.12)	17.25 (19.56)	1m沈下	22.03 (24.34)	18.60 (20.91)	19.44 (21.75)	19.61 (21.92)	16.77 (19.08)	17.33 (19.64)	1m沈下	あり	21.19 (23.50)	18.67 (20.98)	19.04 (21.35)	19.58 (21.89)	17.72 (20.03)	17.35 (19.66)	なし														<p>表4-1 防波堤の有無による最大水位上昇量の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検討対象基準津波</th> <th rowspan="2">防波堤</th> <th>最大水位上昇量(m)</th> </tr> <tr> <th>施設護岸又は防波壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基準津波1</td> <td>有り</td> <td>+10.0</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>+11.2</td> </tr> </tbody> </table>				検討対象基準津波	防波堤	最大水位上昇量(m)	施設護岸又は防波壁	基準津波1	有り	+10.0	無し	+11.2	<p>表2.1.d.a-1 (1) 防波堤の有無による最大水位上昇量及び最大流速の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検討対象基準津波</th> <th rowspan="2">地形モデル</th> <th colspan="4">最大水位上昇量 (m)</th> <th rowspan="2">最大流速 (m/s)</th> </tr> <tr> <th>防波堤前面</th> <th>1号炉取水口</th> <th>2号炉取水口</th> <th>取水口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">基準津波 (波源A)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>13.44</td> <td>7.34</td> <td>7.34</td> <td>7.21</td> <td>13.33</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>12.59</td> <td>8.91</td> <td>8.72</td> <td>7.95</td> <td>12.25</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>13.19</td> <td>7.86</td> <td>8.30</td> <td>7.19</td> <td>12.08</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>13.49</td> <td>8.22</td> <td>7.92</td> <td>7.74</td> <td>12.90</td> </tr> <tr> <td>防波堤設置なし</td> <td>11.96</td> <td>10.45</td> <td>9.36</td> <td>8.44</td> <td>17.30</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>10.09</td> <td>12.79</td> <td>12.92</td> <td>7.96</td> <td>11.77</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">基準津波 (波源B)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>14.74</td> <td>11.72</td> <td>11.75</td> <td>8.29</td> <td>16.38</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>12.52</td> <td>12.08</td> <td>11.24</td> <td>7.71</td> <td>12.00</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>10.05</td> <td>8.64</td> <td>8.24</td> <td>7.49</td> <td>12.06</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>10.07</td> <td>10.28</td> <td>9.81</td> <td>7.47</td> <td>12.00</td> </tr> <tr> <td>防波堤設置なし</td> <td>12.38</td> <td>8.55</td> <td>11.45</td> <td>7.45</td> <td>12.70</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>10.07</td> <td>10.24</td> <td>9.27</td> <td>7.37</td> <td>11.92</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">基準津波 (波源C)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>10.52</td> <td>8.44</td> <td>8.57</td> <td>10.28</td> <td>17.57</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>12.68</td> <td>11.20</td> <td>11.88</td> <td>10.44</td> <td>12.10</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>11.68</td> <td>10.08</td> <td>10.88</td> <td>10.28</td> <td>16.27</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>12.59</td> <td>11.58</td> <td>11.85</td> <td>10.68</td> <td>14.80</td> </tr> </tbody> </table>				検討対象基準津波	地形モデル	最大水位上昇量 (m)				最大流速 (m/s)	防波堤前面	1号炉取水口	2号炉取水口	取水口	基準津波 (波源A)	防波堤設置なし	13.44	7.34	7.34	7.21	13.33	北及び南防波堤設置	12.59	8.91	8.72	7.95	12.25	南防波堤設置	13.19	7.86	8.30	7.19	12.08	北防波堤設置	13.49	8.22	7.92	7.74	12.90	防波堤設置なし	11.96	10.45	9.36	8.44	17.30	北及び南防波堤設置	10.09	12.79	12.92	7.96	11.77	基準津波 (波源B)	防波堤設置なし	14.74	11.72	11.75	8.29	16.38	北及び南防波堤設置	12.52	12.08	11.24	7.71	12.00	南防波堤設置	10.05	8.64	8.24	7.49	12.06	北防波堤設置	10.07	10.28	9.81	7.47	12.00	防波堤設置なし	12.38	8.55	11.45	7.45	12.70	北防波堤設置	10.07	10.24	9.27	7.37	11.92	基準津波 (波源C)	防波堤設置なし	10.52	8.44	8.57	10.28	17.57	北及び南防波堤設置	12.68	11.20	11.88	10.44	12.10	南防波堤設置	11.68	10.08	10.88	10.28	16.27	北防波堤設置	12.59	11.58	11.85	10.68	14.80	【女川】記載方針の相違 ・島根実績の反映。				
基準津波	地形	防波堤	取水口前面水位 [*] (O.P. m)				取水口前面水位 [*] (O.P. m)																																																																																																																																																																																										
			1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2・3号炉																																																																																																																																																																																										
水位上昇側	現地形	あり	21.58 (23.89)	18.85 (21.16)	19.50 (21.81)	19.00 (21.91)	16.46 (18.77)	17.16 (19.47)																																																																																																																																																																																									
		なし	20.64 (22.95)	18.80 (21.11)	19.27 (21.58)	19.84 (22.15)	17.81 (20.12)	17.25 (19.56)																																																																																																																																																																																									
		1m沈下	22.03 (24.34)	18.60 (20.91)	19.44 (21.75)	19.61 (21.92)	16.77 (19.08)	17.33 (19.64)																																																																																																																																																																																									
	1m沈下	あり	21.19 (23.50)	18.67 (20.98)	19.04 (21.35)	19.58 (21.89)	17.72 (20.03)	17.35 (19.66)																																																																																																																																																																																									
		なし																																																																																																																																																																																															
検討対象基準津波	防波堤	最大水位上昇量(m)																																																																																																																																																																																															
		施設護岸又は防波壁																																																																																																																																																																																															
基準津波1	有り	+10.0																																																																																																																																																																																															
	無し	+11.2																																																																																																																																																																																															
検討対象基準津波	地形モデル	最大水位上昇量 (m)				最大流速 (m/s)																																																																																																																																																																																											
		防波堤前面	1号炉取水口	2号炉取水口	取水口																																																																																																																																																																																												
基準津波 (波源A)	防波堤設置なし	13.44	7.34	7.34	7.21	13.33																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	12.59	8.91	8.72	7.95	12.25																																																																																																																																																																																											
	南防波堤設置	13.19	7.86	8.30	7.19	12.08																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	13.49	8.22	7.92	7.74	12.90																																																																																																																																																																																											
	防波堤設置なし	11.96	10.45	9.36	8.44	17.30																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	10.09	12.79	12.92	7.96	11.77																																																																																																																																																																																											
基準津波 (波源B)	防波堤設置なし	14.74	11.72	11.75	8.29	16.38																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	12.52	12.08	11.24	7.71	12.00																																																																																																																																																																																											
	南防波堤設置	10.05	8.64	8.24	7.49	12.06																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	10.07	10.28	9.81	7.47	12.00																																																																																																																																																																																											
	防波堤設置なし	12.38	8.55	11.45	7.45	12.70																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	10.07	10.24	9.27	7.37	11.92																																																																																																																																																																																											
基準津波 (波源C)	防波堤設置なし	10.52	8.44	8.57	10.28	17.57																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	12.68	11.20	11.88	10.44	12.10																																																																																																																																																																																											
	南防波堤設置	11.68	10.08	10.88	10.28	16.27																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	12.59	11.58	11.85	10.68	14.80																																																																																																																																																																																											
	<p>表5 最低水位一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準津波</th> <th>地形</th> <th>防波堤</th> <th>2号炉取水口前面水位[*](O.P. m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水位下降側</td> <td rowspan="2">現地形</td> <td>あり</td> <td>-10.38 (-10.62)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>-11.35 (-11.59)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1m沈下</td> <td>あり</td> <td>-10.36 (-10.60)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>-11.32 (-11.56)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () の数値は潮望平均干潮位 (O.P.-0.14m)、潮位のぼらつき (-0.10m) を考慮した値</p>				基準津波	地形	防波堤	2号炉取水口前面水位 [*] (O.P. m)	水位下降側	現地形	あり	-10.38 (-10.62)	なし	-11.35 (-11.59)	1m沈下	あり	-10.36 (-10.60)	なし	-11.32 (-11.56)	<p>表2.1.d.a-1 (2) 防波堤の有無による最大水位上昇量及び最大流速の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検討対象基準津波</th> <th rowspan="2">地形モデル</th> <th colspan="4">最大水位上昇量 (m)</th> <th rowspan="2">最大流速 (m/s)</th> </tr> <tr> <th>防波堤前面</th> <th>1号炉取水口</th> <th>2号炉取水口</th> <th>取水口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">基準津波 (波源A)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>11.10</td> <td>10.05</td> <td>8.73</td> <td>9.21</td> <td>17.52</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>10.05</td> <td>12.00</td> <td>12.74</td> <td>9.26</td> <td>11.08</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>14.26</td> <td>11.88</td> <td>11.70</td> <td>9.34</td> <td>14.16</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>15.51</td> <td>12.70</td> <td>11.43</td> <td>9.20</td> <td>14.16</td> </tr> <tr> <td>防波堤設置なし</td> <td>11.07</td> <td>10.18</td> <td>8.80</td> <td>9.32</td> <td>17.58</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>15.34</td> <td>12.14</td> <td>12.70</td> <td>7.72</td> <td>12.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">基準津波 (波源B)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>14.26</td> <td>11.88</td> <td>11.89</td> <td>9.26</td> <td>14.42</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>10.08</td> <td>12.88</td> <td>11.27</td> <td>7.79</td> <td>13.72</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>11.70</td> <td>8.60</td> <td>8.41</td> <td>7.31</td> <td>17.35</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>12.70</td> <td>11.75</td> <td>11.46</td> <td>7.72</td> <td>11.68</td> </tr> <tr> <td>防波堤設置なし</td> <td>12.30</td> <td>10.00</td> <td>13.01</td> <td>7.34</td> <td>18.27</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>12.30</td> <td>11.22</td> <td>10.70</td> <td>7.70</td> <td>13.00</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">基準津波 (波源C)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>11.07</td> <td>10.22</td> <td>8.86</td> <td>9.80</td> <td>17.54</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>15.20</td> <td>12.58</td> <td>12.45</td> <td>9.40</td> <td>12.15</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>14.44</td> <td>11.70</td> <td>11.54</td> <td>9.21</td> <td>18.28</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>10.05</td> <td>12.52</td> <td>11.90</td> <td>9.14</td> <td>14.13</td> </tr> </tbody> </table>				検討対象基準津波	地形モデル	最大水位上昇量 (m)				最大流速 (m/s)	防波堤前面	1号炉取水口	2号炉取水口	取水口	基準津波 (波源A)	防波堤設置なし	11.10	10.05	8.73	9.21	17.52	北及び南防波堤設置	10.05	12.00	12.74	9.26	11.08	南防波堤設置	14.26	11.88	11.70	9.34	14.16	北防波堤設置	15.51	12.70	11.43	9.20	14.16	防波堤設置なし	11.07	10.18	8.80	9.32	17.58	北及び南防波堤設置	15.34	12.14	12.70	7.72	12.15	基準津波 (波源B)	防波堤設置なし	14.26	11.88	11.89	9.26	14.42	北及び南防波堤設置	10.08	12.88	11.27	7.79	13.72	南防波堤設置	11.70	8.60	8.41	7.31	17.35	北防波堤設置	12.70	11.75	11.46	7.72	11.68	防波堤設置なし	12.30	10.00	13.01	7.34	18.27	北防波堤設置	12.30	11.22	10.70	7.70	13.00	基準津波 (波源C)	防波堤設置なし	11.07	10.22	8.86	9.80	17.54	北及び南防波堤設置	15.20	12.58	12.45	9.40	12.15	南防波堤設置	14.44	11.70	11.54	9.21	18.28	北防波堤設置	10.05	12.52	11.90	9.14	14.13	<p>表2.1.d.a-1 (3) 防波堤の有無による保守性を考慮した時間及び最大流速の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検討対象基準津波</th> <th>地形モデル</th> <th>保守性を考慮した時間 (s)</th> <th>最大流速 (m/s)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">基準津波 (波源1)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>721</td> <td>13.70</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>688</td> <td>12.30</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>695</td> <td>14.08</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>412</td> <td>13.82</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基準津波 (波源2)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>681</td> <td>12.53</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>698</td> <td>12.94</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>708</td> <td>14.08</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>701</td> <td>12.87</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基準津波 (波源3)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>686</td> <td>17.63</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>426</td> <td>13.54</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>740</td> <td>18.98</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>915</td> <td>14.45</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基準津波 (波源4)</td> <td>防波堤設置なし</td> <td>585</td> <td>17.17</td> </tr> <tr> <td>北及び南防波堤設置</td> <td>375</td> <td>12.38</td> </tr> <tr> <td>南防波堤設置</td> <td>584</td> <td>15.22</td> </tr> <tr> <td>北防波堤設置</td> <td>880</td> <td>12.14</td> </tr> </tbody> </table>				検討対象基準津波	地形モデル	保守性を考慮した時間 (s)	最大流速 (m/s)	基準津波 (波源1)	防波堤設置なし	721	13.70	北及び南防波堤設置	688	12.30	南防波堤設置	695	14.08	北防波堤設置	412	13.82	基準津波 (波源2)	防波堤設置なし	681	12.53	北及び南防波堤設置	698	12.94	南防波堤設置	708	14.08	北防波堤設置	701	12.87	基準津波 (波源3)	防波堤設置なし	686	17.63	北及び南防波堤設置	426	13.54	南防波堤設置	740	18.98	北防波堤設置	915	14.45	基準津波 (波源4)	防波堤設置なし	585	17.17	北及び南防波堤設置	375	12.38	南防波堤設置	584	15.22	北防波堤設置	880	12.14
	基準津波	地形	防波堤	2号炉取水口前面水位 [*] (O.P. m)																																																																																																																																																																																													
水位下降側	現地形	あり	-10.38 (-10.62)																																																																																																																																																																																														
		なし	-11.35 (-11.59)																																																																																																																																																																																														
	1m沈下	あり	-10.36 (-10.60)																																																																																																																																																																																														
		なし	-11.32 (-11.56)																																																																																																																																																																																														
検討対象基準津波	地形モデル	最大水位上昇量 (m)				最大流速 (m/s)																																																																																																																																																																																											
		防波堤前面	1号炉取水口	2号炉取水口	取水口																																																																																																																																																																																												
基準津波 (波源A)	防波堤設置なし	11.10	10.05	8.73	9.21	17.52																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	10.05	12.00	12.74	9.26	11.08																																																																																																																																																																																											
	南防波堤設置	14.26	11.88	11.70	9.34	14.16																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	15.51	12.70	11.43	9.20	14.16																																																																																																																																																																																											
	防波堤設置なし	11.07	10.18	8.80	9.32	17.58																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	15.34	12.14	12.70	7.72	12.15																																																																																																																																																																																											
基準津波 (波源B)	防波堤設置なし	14.26	11.88	11.89	9.26	14.42																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	10.08	12.88	11.27	7.79	13.72																																																																																																																																																																																											
	南防波堤設置	11.70	8.60	8.41	7.31	17.35																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	12.70	11.75	11.46	7.72	11.68																																																																																																																																																																																											
	防波堤設置なし	12.30	10.00	13.01	7.34	18.27																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	12.30	11.22	10.70	7.70	13.00																																																																																																																																																																																											
基準津波 (波源C)	防波堤設置なし	11.07	10.22	8.86	9.80	17.54																																																																																																																																																																																											
	北及び南防波堤設置	15.20	12.58	12.45	9.40	12.15																																																																																																																																																																																											
	南防波堤設置	14.44	11.70	11.54	9.21	18.28																																																																																																																																																																																											
	北防波堤設置	10.05	12.52	11.90	9.14	14.13																																																																																																																																																																																											
	検討対象基準津波	地形モデル	保守性を考慮した時間 (s)	最大流速 (m/s)																																																																																																																																																																																													
	基準津波 (波源1)	防波堤設置なし	721	13.70																																																																																																																																																																																													
北及び南防波堤設置		688	12.30																																																																																																																																																																																														
南防波堤設置		695	14.08																																																																																																																																																																																														
北防波堤設置		412	13.82																																																																																																																																																																																														
基準津波 (波源2)	防波堤設置なし	681	12.53																																																																																																																																																																																														
	北及び南防波堤設置	698	12.94																																																																																																																																																																																														
	南防波堤設置	708	14.08																																																																																																																																																																																														
	北防波堤設置	701	12.87																																																																																																																																																																																														
基準津波 (波源3)	防波堤設置なし	686	17.63																																																																																																																																																																																														
	北及び南防波堤設置	426	13.54																																																																																																																																																																																														
	南防波堤設置	740	18.98																																																																																																																																																																																														
	北防波堤設置	915	14.45																																																																																																																																																																																														
基準津波 (波源4)	防波堤設置なし	585	17.17																																																																																																																																																																																														
	北及び南防波堤設置	375	12.38																																																																																																																																																																																														
	南防波堤設置	584	15.22																																																																																																																																																																																														
	北防波堤設置	880	12.14																																																																																																																																																																																														
<p>比較のため、5.(1)項の内容を再掲</p>																																																																																																																																																																																																	

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="683 151 1263 375"> <p>最大水位上昇量分布図 (防波堤有り最大ケース;基準津波1) 最大水位上昇量分布図 (防波堤無し最大ケース)</p> </div> <div data-bbox="712 402 1234 430"> <p>図4-1 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較</p> </div> <div data-bbox="913 448 1256 478"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div> <div data-bbox="683 526 1263 742"> <p>最大流速分布 (基準津波1 防波堤有り) 最大流速分布 (基準津波1 防波堤無し)</p> </div> <div data-bbox="840 751 1106 780"> <p>図4-2 発電所沖合の流況</p> </div> <div data-bbox="913 802 1256 833"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div> <div data-bbox="683 869 1263 1085"> <p>最大流速分布 (基準津波1 防波堤有り) 最大流速分布 (基準津波1 防波堤無し)</p> </div> <div data-bbox="808 1098 1137 1126"> <p>図4-3 港湾内及び港湾外の流況</p> </div> <div data-bbox="913 1163 1256 1193"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div>		<p>【島根】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、検討ケース数が多いことから、「3. 各地形変化によるデータ集」として纏めて記載している。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 津波評価条件</p> <p>(1) 概要</p> <p>敷地への遡上及び流下経路上の地盤等について、「2. 敷地の沈下量設定」を踏まえ、以下に示す地震による地形等の変化を考慮した津波遡上解析を実施し、敷地への遡上経路に及ぼす影響及び入力津波の設定において考慮すべき地形変化について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準地震動S_sによる損傷が想定される防波堤については、それらがいない状態での津波評価を実施する。 護岸付近の敷地は、基準地震動S_sによる沈下を想定し、保守的に設定した沈下量1mを地形に反映して、津波評価を実施する。 <p>(2) 津波遡上解析の検討条件</p> <p>検討に用いる基準津波の概要を表2に、上記検討方針に基づく検討ケースを表3に、各検討ケースで設定する敷地付近の護岸の沈下形状及び防波堤の損傷イメージを図22に示す。津波遡上解析に用いる地形モデルの代表例を図23に示す。</p>	<p>5. 津波評価条件</p> <p>地震による地形変化の影響の検討結果及びその結果を踏まえた入力津波設定における地形の条件は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺斜面の崩壊形状については、防波堤両端部の地山を対象に基準地震動S_sにより津波が敷地に遡上するような崩壊は起こらないことを確認した。また、地すべり地形が判読されている地山の斜面崩壊についても検討し、敷地に与える影響がほとんどないことから、斜面崩壊の影響要因として考慮せず評価を行う。 防波堤は、堅固な岩盤(一部、地盤改良)に支持されていることから、地震時の液状化に伴う沈下は発生しない。一方、防波堤前面に存在する埋戻土は、地震時の液状化により沈下する可能性があるため、基準地震動S_sによる防波堤前面の沈下を考慮した津波解析を実施した結果、入力津波高さが変わらないこと等を確認したことから、地盤変状を影響要因として考慮せず評価を行う。 防波堤損傷に関する検討の結果、津波高さについては、防波堤の有無による差異が認められることから、影響要因として考慮する。また、津波高さ以外については、発電所沖合は防波堤の有無による最大流速分布に差異が認められないことから影響要因として考慮しない。一方、港湾内及び港湾外は最大流速分布に差異が認められることから、影響要因として考慮する。 	<p>e. 津波評価条件</p> <p>地震による地形変化の影響の検討結果及びその結果を踏まえた入力津波設定における地形の条件は以下のとおりであり、整理結果を表2.1.e-1に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺斜面の崩壊形状については、防潮堤両端部の地山を対象に基準地震動により津波が敷地に遡上するような崩壊は起こらないことを確認した。また、地滑り地形が判読されている地山の斜面崩壊についても検討し、津波高さ及び津波高さ以外に与える影響がほとんどないことから、斜面崩壊を影響要因として考慮せず評価を行う。 防潮堤は、堅固な岩盤に支持されていることから、地震時の液状化に伴う沈下は発生しない。一方、防潮堤前面の敷地地盤に存在する埋戻土及び砂層は、地震時の液状化により沈下する可能性があるため、基準地震動による敷地地盤の沈下について、3.5m沈下及び5.0m沈下を考慮した津波解析を実施した。津波高さについては、沈下の有無による差異が認められ、また、3.5m沈下と5.0m沈下の影響度合いを比較した結果、5.0m沈下のほうが影響度合いが大きかったことから、敷地地盤の5.0m沈下を影響要因として考慮する。また、津波高さ以外については、最大流速が低下することから、影響要因として考慮しない。 敷地前面海底地盤に存在する堆積層(沖積層及び洪積層)は、地震時の液状化により沈下する可能性があるため、基準地震動による敷地前面海底地盤の沈下を考慮した津波解析を実施した結果、入力津波高さが変わらないこと等を確認したことから、敷地前面海底地盤の地盤変状を影響要因として考慮せず評価を行う。 防波堤損傷に関する検討の結果、津波高さについては、防波堤の有無による差異が認められることから、影響要因として考慮する。また、津波高さ以外については、発電所沖合は防波堤の有無による最大流速分布に差異が認められないことから影響要因として考慮しない。一方、港湾内及び港湾外は最大流速分布及び最大流速に差異が認められることから、影響要因として考慮する。 	<p>相違理由</p> <p>【女川、島根】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、敷地及び敷地周辺の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅する観点で、入力津波設定における地形条件を一覧表を示す。 <p>【島根】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所立地の相違により、入力津波設定における地形の条件が異なる。 <p>【島根】発電所立地の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所立地の相違により、地震により地盤沈下量が異なる。その結果、入力津波として考慮する影響要因が異なる。

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

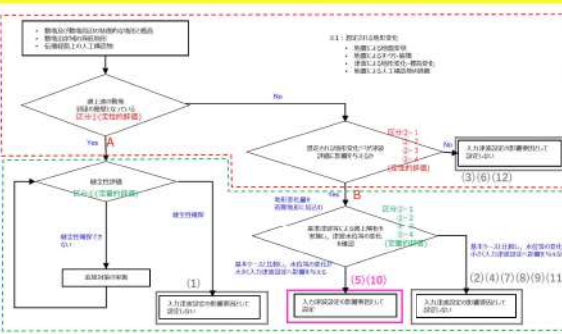
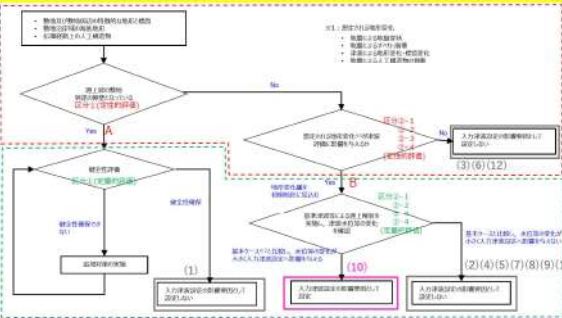
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
		<p style="text-align: center;">表 2.1.e-1 地震・津波による地形等の変化に係る評価(1/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">対応方針</th> <th style="width: 15%;">評価結果</th> <th style="width: 15%;">相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ①(1)山崩れの発生・浸食 (1)山崩れの発生・浸食 </td> <td> 山崩れの発生・浸食を防止することによって影響を軽減し、影響を軽減する。 </td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td> ②(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> </tr> <tr> <td> ③(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td> ④(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> </tr> <tr> <td> ⑤(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> </tr> <tr> <td> ⑥(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> <td> 女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。 </td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	対応方針	評価結果	相違理由	①(1)山崩れの発生・浸食 (1)山崩れの発生・浸食	山崩れの発生・浸食を防止することによって影響を軽減し、影響を軽減する。	-	-	②(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	③(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	-	-	④(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	⑤(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	⑥(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	<p>【女川、島根】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、敷地及び敷地周囲の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅する観点で、入力津波設定における地形条件を一覧表を示す。
評価項目	対応方針	評価結果	相違理由																												
①(1)山崩れの発生・浸食 (1)山崩れの発生・浸食	山崩れの発生・浸食を防止することによって影響を軽減し、影響を軽減する。	-	-																												
②(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。																												
③(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	-	-																												
④(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。																												
⑤(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。																												
⑥(1)地盤の陥没・隆起 (1)地盤の陥没・隆起	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。	女川(1)地盤の陥没・隆起の発生を防止し、地盤の陥没・隆起を軽減する。																												

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
		<p style="text-align: center;">表 2.1.e.1 地震・津波による地形等の変化に係る評価(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検討対象</th> <th>影響度として検討する地形変化の項目</th> <th>小項目</th> <th>対応方針</th> <th>計画形状</th> <th>検討位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷地及び敷地周辺の地盤変動</td> <td>土壌の地盤沈下・陥没による影響</td> <td>(1)土壌沈下の評価値</td> <td>土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。</td> <td>影響範囲を評価した形状とする。</td> <td>小計(1)敷地、周辺地盤変動、地盤沈下、陥没、土壌の地盤沈下・陥没、土壌の地盤沈下・陥没による影響を評価し、影響範囲として考慮する。</td> </tr> <tr> <td>敷地及び敷地周辺の地盤変動</td> <td>土壌の地盤沈下・陥没による影響</td> <td>(2)土壌沈下の評価値</td> <td>土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。</td> <td>影響範囲を評価した形状とする。</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>敷地及び敷地周辺の地盤変動</td> <td>土壌の地盤沈下・陥没による影響</td> <td>(3)土壌沈下の評価値</td> <td>土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。</td> <td>影響範囲を評価した形状とする。</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>人工構造物</td> <td>敷地及び敷地周辺の地盤変動による影響</td> <td>(4)土壌沈下の評価値</td> <td>土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。</td> <td>影響範囲を評価した形状とする。</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>	検討対象	影響度として検討する地形変化の項目	小項目	対応方針	計画形状	検討位置	敷地及び敷地周辺の地盤変動	土壌の地盤沈下・陥没による影響	(1)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	小計(1)敷地、周辺地盤変動、地盤沈下、陥没、土壌の地盤沈下・陥没、土壌の地盤沈下・陥没による影響を評価し、影響範囲として考慮する。	敷地及び敷地周辺の地盤変動	土壌の地盤沈下・陥没による影響	(2)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	同上	敷地及び敷地周辺の地盤変動	土壌の地盤沈下・陥没による影響	(3)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	同上	人工構造物	敷地及び敷地周辺の地盤変動による影響	(4)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	同上	
検討対象	影響度として検討する地形変化の項目	小項目	対応方針	計画形状	検討位置																												
敷地及び敷地周辺の地盤変動	土壌の地盤沈下・陥没による影響	(1)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	小計(1)敷地、周辺地盤変動、地盤沈下、陥没、土壌の地盤沈下・陥没、土壌の地盤沈下・陥没による影響を評価し、影響範囲として考慮する。																												
敷地及び敷地周辺の地盤変動	土壌の地盤沈下・陥没による影響	(2)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	同上																												
敷地及び敷地周辺の地盤変動	土壌の地盤沈下・陥没による影響	(3)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	同上																												
人工構造物	敷地及び敷地周辺の地盤変動による影響	(4)土壌沈下の評価値	土壌の調査・計測を実施した地形を用いて、構造解析を行う。評価結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮する。 また、ケースの解析結果と比較し、入力地盤の設計と影響を及ぼす場合は、影響範囲として考慮しない。	影響範囲を評価した形状とする。	同上																												

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>表 2.1.e-1 で整理した影響要因として検討する地形変化について、図 2.1-1 に示す検討フローとの関係を図 2.1.e-1 及び図 2.1.e-2 に示す。</p>  <p>図 2.1.e-1 地震及び津波による地形変化・標高変化の検討結果 (津波高さ)</p>  <p>図 2.1.e-2 地震及び津波による地形変化・標高変化の検討結果 (津波高さ以外)</p> <p>以上より、津波高さの観点では (5)、(10) を、津波高さ以外の観点では (5) を入力津波設定への影響要因として設定する。</p>	<p>【女川、島根】記載方針の相違</p> <p>・泊では、敷地及び敷地周囲の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅する観点で、検討フロー及び当該フローに沿った地形変化の検討結果を示す。</p>

実線・・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉

島根原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表2 基準津波の概要

津波分類	波源	地形モデル	水位評価地点
上昇側基準津波	東北地方太平洋沖型の地震 (海溝側強調モデル)	現地形 [防波堤あり]	敷地前面 (港湾内)
下降側基準津波	東北地方太平洋沖型の地震 (すべり量割増モデル)	現地形 [防波堤あり]	敷地前面 (港湾内)

表3 検討ケース一覧

津波分類	防波堤	沈下
上昇側基準津波	あり	なし
下降側基準津波	なし	1m沈下

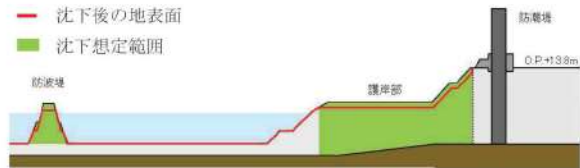


図22(1) 各検討ケースの沈下・防波堤損傷イメージ
(1m沈下)

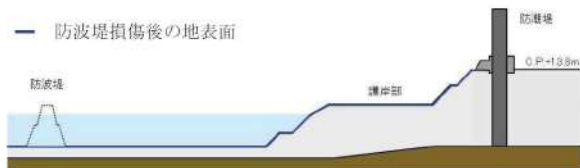


図22(2) 各検討ケースの沈下・防波堤損傷イメージ
(防波堤なし)



1) 沈下なし, 防波堤あり 2) 沈下1m, 防波堤あり 3) 沈下なし, 防波堤なし

図23 津波遡上解析の地形モデル


【女川】記載方針の相違
 ・島根実績の反映。

実線・・・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・・・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p>5. 津波評価結果</p> <p>(1) 津波評価結果</p> <p>津波評価結果として、上昇側基準津波における敷地前面及び各取放水口前面の最高水位一覧を表4に、下降側基準津波における2号炉取水口前面の最低水位一覧を表5に示す。これらの水位は図24に示す範囲の最高・最低水位を抽出している。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表4 最高水位一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基準津波</th> <th rowspan="2">地形</th> <th rowspan="2">防波堤</th> <th colspan="3">取水口前面水位[※] (0. P. m)</th> <th colspan="2">放水口前面水位[※] (0. P. m)</th> </tr> <tr> <th>敷地前面水位[※] (0. P. m)</th> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>1号炉</th> <th>2・3号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水位上昇側</td> <td rowspan="2">現地形</td> <td>あり</td> <td>21.58 (23.89)</td> <td>18.85 (21.16)</td> <td>19.50 (21.81)</td> <td>19.00 (21.91)</td> <td>16.46 (18.77)</td> <td>17.16 (19.47)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>20.64 (22.95)</td> <td>18.80 (21.11)</td> <td>19.27 (21.58)</td> <td>19.84 (22.15)</td> <td>17.81 (20.12)</td> <td>17.25 (19.56)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1m沈下</td> <td>あり</td> <td>22.03 (24.34)</td> <td>18.60 (20.91)</td> <td>19.44 (21.75)</td> <td>19.61 (21.92)</td> <td>16.77 (19.08)</td> <td>17.33 (19.64)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>21.19 (23.50)</td> <td>18.67 (20.98)</td> <td>19.04 (21.35)</td> <td>19.58 (21.89)</td> <td>17.72 (20.03)</td> <td>17.35 (19.66)</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※ () の数値は、潮望平均高潮位 (0. P. +1.43m)、潮位のばらつき (0.16m) 及び地盤変動量 (0.72m) を考慮した値</small></p> <p style="text-align: center;">表5 最低水位一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準津波</th> <th>地形</th> <th>防波堤</th> <th>2号炉取水口前面水位[※] (0. P. m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水位下降側</td> <td rowspan="2">現地形</td> <td>あり</td> <td>-10.38 (-10.62)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>-11.35 (-11.59)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1m沈下</td> <td>あり</td> <td>-10.36 (-10.60)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>-11.32 (-11.56)</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※ () の数値は潮望平均干潮位 (0. P. -0.14m)、潮位のばらつき (-0.10m) を考慮した値</small></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊の2. c項, 2. d項へ再掲して比較する。 </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">図24 最高水位・最低水位の抽出範囲</p> </div>	基準津波	地形	防波堤	取水口前面水位 [※] (0. P. m)			放水口前面水位 [※] (0. P. m)		敷地前面水位 [※] (0. P. m)	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2・3号炉	水位上昇側	現地形	あり	21.58 (23.89)	18.85 (21.16)	19.50 (21.81)	19.00 (21.91)	16.46 (18.77)	17.16 (19.47)	なし	20.64 (22.95)	18.80 (21.11)	19.27 (21.58)	19.84 (22.15)	17.81 (20.12)	17.25 (19.56)	1m沈下	あり	22.03 (24.34)	18.60 (20.91)	19.44 (21.75)	19.61 (21.92)	16.77 (19.08)	17.33 (19.64)	なし	21.19 (23.50)	18.67 (20.98)	19.04 (21.35)	19.58 (21.89)	17.72 (20.03)	17.35 (19.66)	基準津波	地形	防波堤	2号炉取水口前面水位 [※] (0. P. m)	水位下降側	現地形	あり	-10.38 (-10.62)	なし	-11.35 (-11.59)	1m沈下	あり	-10.36 (-10.60)	なし	-11.32 (-11.56)			<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、地形等の変化による津波評価結果を2項の「c. 敷地の地盤変状に関する検討」及び「d. 防波堤等の損傷に関する検討」に記載している（島根実績の反映）。 女川では、5項としてまとめて記載しているため、泊の記載箇所へ女川の記載を再掲することで、記載内容を比較する。
基準津波				地形	防波堤	取水口前面水位 [※] (0. P. m)			放水口前面水位 [※] (0. P. m)																																																						
	敷地前面水位 [※] (0. P. m)	1号炉	2号炉			3号炉	1号炉	2・3号炉																																																							
水位上昇側	現地形	あり	21.58 (23.89)	18.85 (21.16)	19.50 (21.81)	19.00 (21.91)	16.46 (18.77)	17.16 (19.47)																																																							
		なし	20.64 (22.95)	18.80 (21.11)	19.27 (21.58)	19.84 (22.15)	17.81 (20.12)	17.25 (19.56)																																																							
	1m沈下	あり	22.03 (24.34)	18.60 (20.91)	19.44 (21.75)	19.61 (21.92)	16.77 (19.08)	17.33 (19.64)																																																							
		なし	21.19 (23.50)	18.67 (20.98)	19.04 (21.35)	19.58 (21.89)	17.72 (20.03)	17.35 (19.66)																																																							
基準津波	地形	防波堤	2号炉取水口前面水位 [※] (0. P. m)																																																												
水位下降側	現地形	あり	-10.38 (-10.62)																																																												
		なし	-11.35 (-11.59)																																																												
	1m沈下	あり	-10.36 (-10.60)																																																												
		なし	-11.32 (-11.56)																																																												

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 地震による地形等の変化による上昇側水位への影響について</p> <p>沈下の有無に対する最大水位上昇量分布の比較を図25に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図26に示す。図25、26より、沈下の有無による最大水位上昇量分布、水位時刻歴波形に僅かな変化が認められ、上昇側水位へ影響を与えることが確認された。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊の2. c項へ再掲して比較する。</p> <p>防波堤の有無に対する最大水位上昇量分布の比較を図27に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図28に示す。図27、28より、防波堤の有無による最大水位上昇量分布、水位時刻歴波形に僅かな変化が認められ、上昇側水位へ影響を与えることが確認された。なお、防波堤がある場合には、防波堤による渦状の流れが生じ、この流れにより局所的に津波水位が大きくなる範囲が生じる。一方、防波堤がない場合には、津波水位が一樣に上昇し、局所的に津波水位が大きくなる範囲が生じないため、防波堤がある場合と比較して津波水位が低い。（発電所前面海域における防波堤有無の水位変動・流向ベクトルを「別添1.2.5(2)e. 基準津波に伴う取水口付近の漂流物に対する通水性確保 図2.5-12及び図2.5-14」に記載）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊の2. d項へ再掲して比較する。</p> <p>なお、いずれのケースも津波防護対象設備を内包する建屋及び区画への遡上はない。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">  <p>1) 水位分布（沈下なし） 2) 水位分布（1m沈下）</p> <p>図25 沈下の有無に対する最大水位上昇量分布の比較 (上昇側基準津波、防波堤あり)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div>			<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は地形等の変化による津波評価結果を5項としてまとめて記載しているが、泊では、評価結果を2項の「c. 敷地の地盤変状に関する検討」及び「d. 防波堤等の損傷に関する検討」に記載している（島根実績の反映）。泊の記載箇所へ女川の記載を再掲することで比較する。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="89 140 672 391"> </div> <div data-bbox="152 402 600 459"> <p>図26 沈下の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (上昇側基準津波、防波堤あり)</p> </div> <div data-bbox="318 466 660 513" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div> <div data-bbox="89 542 672 821"> </div> <div data-bbox="123 865 631 922"> <p>図27 防波堤の有無に対する最大水位上昇量分布の比較 (上昇側基準津波、沈下なし)</p> </div> <div data-bbox="89 957 672 1173"> </div> <div data-bbox="141 1184 613 1241"> <p>図28 防波堤の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (上昇側基準津波、沈下なし)</p> </div> <div data-bbox="318 1248 660 1295" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div>			<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は地形等の変化による津波評価結果を5項としてまとめて記載しているが、泊では、評価結果を2項の「c. 敷地の地盤変状に関する検討」及び「d. 防波堤等の損傷に関する検討」に記載している（島根実績の反映）。泊の記載箇所へ女川の記載を再掲することで比較する。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 地震による地形等の変化による下降側水位への影響について</p> <p>沈下の有無に対する最大水位下降量分布の比較を図29に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図30に示す。図29、30より、沈下の有無による最大水位下降量分布及び水位時刻歴波形に有意な差は認められない。</p> <p>泊の2. c項へ再掲して比較する。</p> <p>防波堤の有無に対する最大水位下降量分布の比較を図31に、2号炉取水口前面における水位時刻歴波形の比較を図32に示す。図31、32より、防波堤の有無による最大水位下降量分布に変化が認められ、下降側水位へ影響を与えることが確認された。また、表5に示す最低水位のとおり、2号炉取水口前面においては防波堤の損傷を考慮した時の水位が低くなっている。</p> <p>泊の2. d項へ再掲して比較する。</p> <div data-bbox="100 654 672 1308"> </div> <p>図29 沈下の有無に対する最大水位下降量分布の比較 (下降側基準津波、防波堤あり)</p> <p>図30 沈下の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (下降側基準津波、防波堤あり)</p> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p>			<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は地形等の変化による津波評価結果を5項としてまとめて記載しているが、泊では、評価結果を2項の「c. 敷地の地盤変状に関する検討」及び「d. 防波堤等の損傷に関する検討」に記載している（島根実績の反映）。泊の記載箇所へ女川の記載を再掲することで比較する。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="100 167 660 446"> <p>1) 水位分布（防波堤あり） 2) 水位分布（防波堤なし）</p> </div> <div data-bbox="123 486 638 550"> <p>図31 防波堤の有無に対する最大水位下降量分布の比較 (下降側基準津波, 沈下なし)</p> </div> <div data-bbox="100 582 660 805"> <p>水 位 (m)</p> <p>時間 (分)</p> <p>2号伊取水口前面</p> </div> <div data-bbox="145 805 616 869"> <p>図32 防波堤の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (下降側基準津波, 沈下なし)</p> </div> <div data-bbox="324 869 660 917" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>泊の3. 項へ再掲して比較する。</p> </div>			<p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は地形等の変化による津波評価結果を5項としてまとめて記載しているが、泊では、評価結果を2項の「c. 敷地の地盤変状に関する検討」及び「d. 防波堤等の損傷に関する検討」に記載している（島根実績の反映）。泊の記載箇所へ女川の記載を再掲することで比較する。

実線・・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) 地震による地形等の変化による流況・流速への影響について</p> <p>沈下の有無に対する最大流速分布の比較を図33に、防波堤の有無に対する最大流速分布の比較を図34に示す。</p> <p>図33より、沈下の有無による最大流速分布に有意な差は認められないが、図34より防波堤の有無に対しては防波堤先端や上部で観測されていた最大流速が無くなるなど、流況・最大流速に変化が認められる。</p> <p>1) 最大流速分布 (沈下なし) 2) 最大流速分布 (沈下1m)</p> <p>図33 沈下の有無に対する最大流速分布の比較 (上昇側基準津波、防波堤あり)</p> <p>1) 最大流速分布 (防波堤あり) 2) 最大流速分布 (防波堤なし)</p> <p>図34 防波堤の有無に対する最大流速分布の比較 (上昇側基準津波、沈下なし)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;"> 泊の3.項へ再掲して比較する。 </div>			<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は地形等の変化による津波評価結果を5項としてまとめて記載しているが、泊では、評価結果を2項の「c. 敷地の地盤変状に関する検討」及び「d. 防波堤等の損傷に関する検討」に記載している（島根実績の反映）。泊の記載箇所へ女川の記載を再掲することで比較する。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>(5) 津波の遡上経路に対する地形の影響について</p> <p>地形変化を考慮した津波評価を実施した結果、沈下の有無や防波堤の有無は水位分布や水位時刻歴波形に僅かな影響を与えるものの、津波防護対象設備を内包する建屋及び区画への遡上はなく、地形変化が敷地の遡上経路へ影響を及ぼすことはない。(2)～(4)の検討を踏まえた入力津波の設定を以下に示す。また、耐津波設計における地形の考え方を表6に示す。</p> <p>・敷地前面・各取放水口前面の水位上昇側について、沈下の有無及び防波堤の有無が最大水位上昇量分布及び2号炉取水口前面における水位時刻歴波形に与える影響を検討した結果、水位に影響を与えることを確認したことから、沈下の有無、防波堤の有無についてパラメータスタディを実施し、入力津波を設定する。</p> <p>・取水口前面の水位下降側について、沈下の有無及び防波堤の有無が最大水位下降量及び2号炉取水口前面における水位時刻歴波形に与える影響について検討した結果、沈下の有無の影響はほとんど認められないものの、防波堤の有無が水位に影響を与えることを確認したことから、これについてパラメータスタディを実施するとともに、安全側に沈下の有無も検討して、入力津波を設定する。</p> <p>・流況・流速を用いた評価について、沈下の有無による敷地前面流速分布に有意な差は認められないものの、防波堤の有無については防波堤をモデル化した方が明らかに大きな流速が確認されることから、敷地前面海域における流向・流速を用いた評価については、敷地前面護岸の沈下を考慮せず、防波堤をモデル化したケースを基本とする。</p> <p>表6 耐津波設計における地形の考え方</p> <table border="1" data-bbox="91 986 663 1141"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>沈下</th> <th>防波堤</th> <th>主な評価対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取放水口前面・水路内最高水位 (水位上昇側)</td> <td>あり なし</td> <td>あり なし</td> <td>・遡上波の地上部からの到達・流入防止 ・取放水路等の経路からの建屋流入防止</td> </tr> <tr> <td>取水口前面・水路内最低水位 (水位下降側)</td> <td>あり なし</td> <td>あり なし</td> <td>・非常用冷却系の取水性確保 (水位低下時の貯留量確保)</td> </tr> <tr> <td>流況・流速 (波力、漂流物評価等)</td> <td>なし</td> <td>あり</td> <td>・砂の移動・堆積に対する安全性評価 ・漂流物に対する安全性評価 ・津波防護施設、浸水防止設備の設計</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	沈下	防波堤	主な評価対象	取放水口前面・水路内最高水位 (水位上昇側)	あり なし	あり なし	・遡上波の地上部からの到達・流入防止 ・取放水路等の経路からの建屋流入防止	取水口前面・水路内最低水位 (水位下降側)	あり なし	あり なし	・非常用冷却系の取水性確保 (水位低下時の貯留量確保)	流況・流速 (波力、漂流物評価等)	なし	あり	・砂の移動・堆積に対する安全性評価 ・漂流物に対する安全性評価 ・津波防護施設、浸水防止設備の設計			<p>【女川】記載方針の相違</p> <p>・女川は地形等の変化による津波評価結果を5項としてまとめて記載しているが、泊では、評価結果を2項の「c.敷地の地盤変状に関する検討」及び「d.防波堤等の損傷に関する検討」に記載している（島根実績の反映）。泊の記載箇所へ女川の記載を再掲することで比較する。</p>
評価項目	沈下	防波堤	主な評価対象																
取放水口前面・水路内最高水位 (水位上昇側)	あり なし	あり なし	・遡上波の地上部からの到達・流入防止 ・取放水路等の経路からの建屋流入防止																
取水口前面・水路内最低水位 (水位下降側)	あり なし	あり なし	・非常用冷却系の取水性確保 (水位低下時の貯留量確保)																
流況・流速 (波力、漂流物評価等)	なし	あり	・砂の移動・堆積に対する安全性評価 ・漂流物に対する安全性評価 ・津波防護施設、浸水防止設備の設計																

実線・・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 敷地周辺の遡上経路上の河川、水路の堤防等崩壊による流路の変化 敷地周辺の河川として、敷地北側の茶津川は敷地と標高約 50m 以上の尾根で隔てられており、また、敷地東側の堀株川は敷地から 1 km 以上離れており、さらに、敷地と標高約 100m の山（丘陵）で隔てられているため、それらを経由した津波の敷地への回り込みはない。 なお、河川、水路と敷地との障壁となっている防潮堤両端部（茶津側及び堀株側）の地山については2. (1) a. (a) ～ (f) で基準地震動・基準津波に対する安定性を確認している。</p> <p>(3) 基準地震動等による被害想定に基づく地形変化・標高変化 「2. (1) a. 敷地周辺斜面の崩壊に関する検討」、「2. (1) b. 地滑り地形の崩壊に関する検討」、「2. (1) c. 敷地の地盤変状に関する検討」で基準地震動等による被害想定に基づく地形変化・標高変化を想定し、その想定される地形変化・標高変化を考慮した初期地形により遡上解析を実施している。</p> <p>(4) 地震等による地盤変状、斜面崩落等の評価手法、及び条件並びに評価結果 「2. (1) a. 敷地周辺斜面の崩壊に関する検討」、「2. (1) b. 地滑り地形の崩壊に関する検討」、「2. (1) c. 敷地の地盤変状に関する検討」で基準地震動等による被害想定に基づく地盤変状、斜面崩落等の評価を実施しており、その手法、データ及び条件並びに評価結果を示している。</p>	<p>【女川、島根】記載方針の相違 ・泊は基準津波及び耐津波設計方針に係る審査ガイド 3.2.2 (2) の検討結果を示している。</p> <p>【女川、島根】記載方針の相違 ・泊は基準津波及び耐津波設計方針に係る審査ガイド 3.2.2 (3) の検討結果を示している。</p> <p>【女川、島根】記載方針の相違 ・泊は基準津波及び耐津波設計方針に係る審査ガイド 3.2.2 (4) の検討結果を示している。</p>

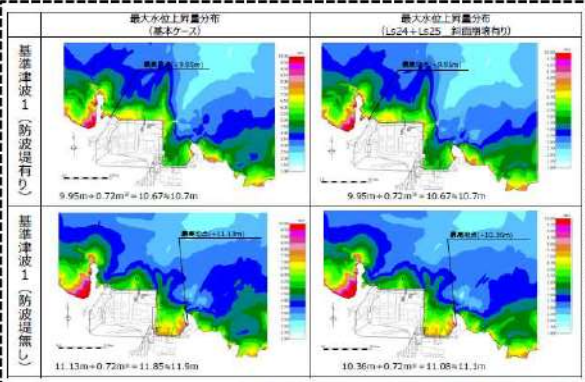


図 2-55 (1) 斜面崩壊 (Ls24+Ls25) の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 1 (防波堤有り) 及び基準津波 1 (防波堤無し))

比較のため、2.(8)項の内容を再掲

3. 各地形変化によるデータ集

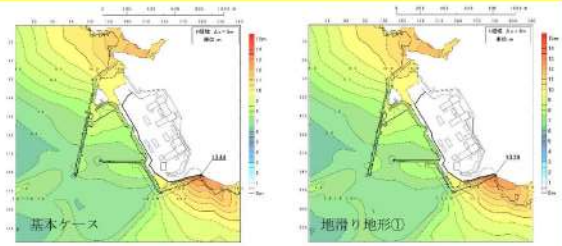


図 2.1.b.c-1 (1) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))

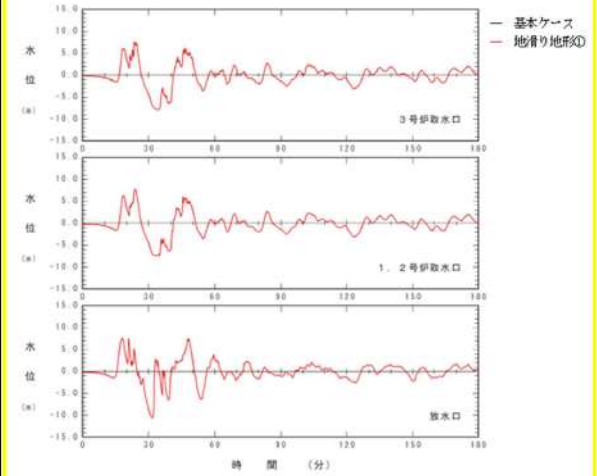


図 2.1.b.c-1 (2) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))

相違理由

【島根】記載方針の相違
 ・泊では、検討ケース数が多いことから、「3. 各地形変化によるデータ集」として纏めて記載している。

【女川、島根】発電所立地の相違
 【島根】基準津波の相違

【女川、島根】発電所立地の相違
 【島根】基準津波の相違

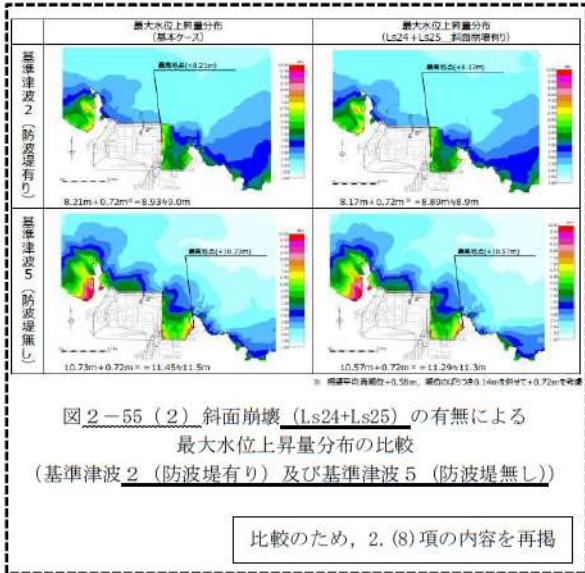


図 2-55 (2) 斜面崩壊 (Ls24+Ls25) の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 2 (防波堤有り) 及び基準津波 5 (防波堤無し))

比較のため、2. (8) 項の内容を再掲

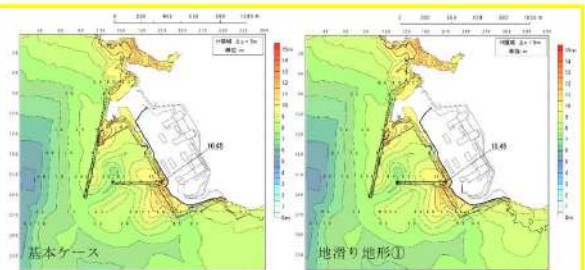


図 2.1.b.c-1 (3) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))

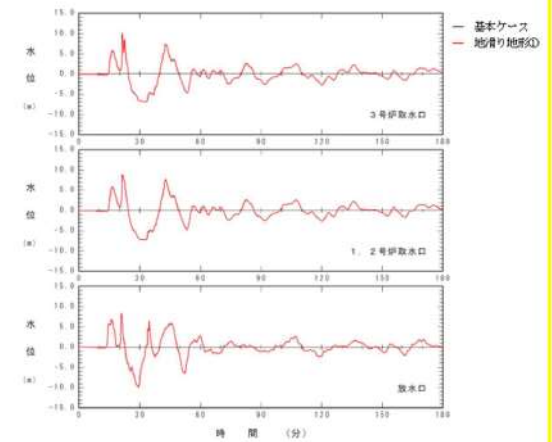
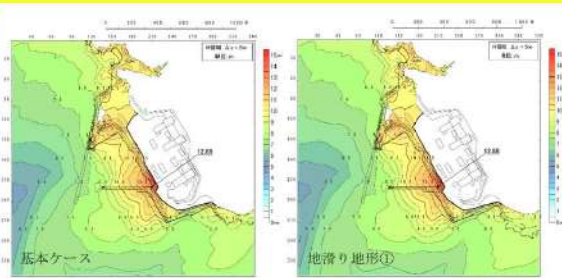
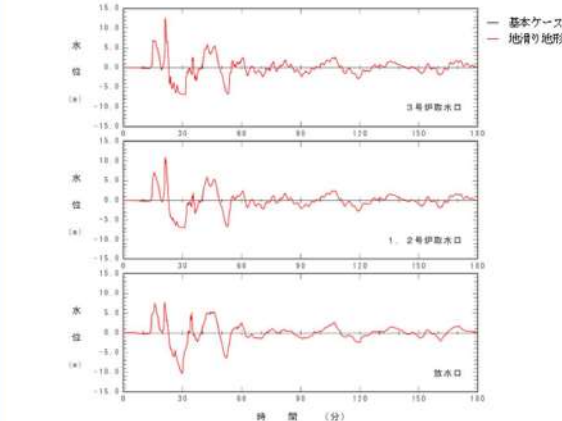
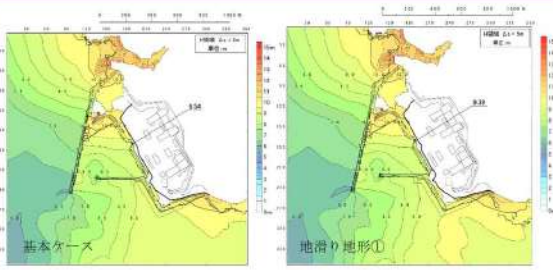
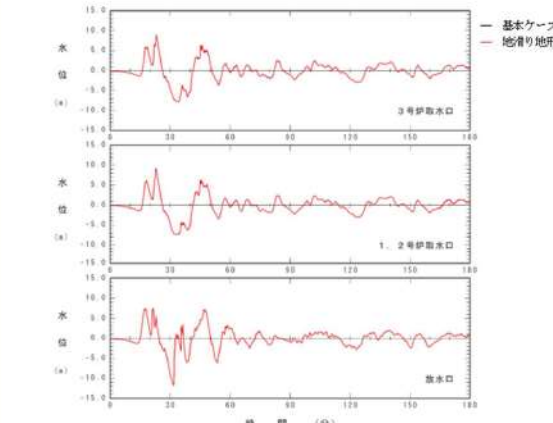


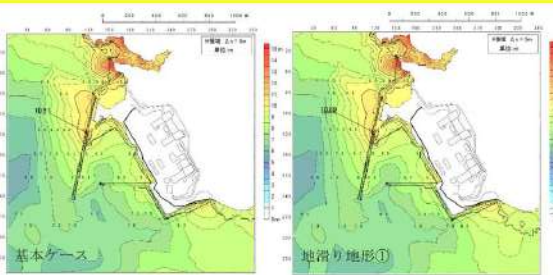
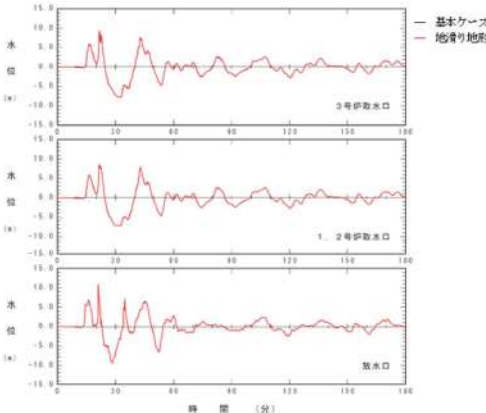
図 2.1.b.c-1 (4) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))

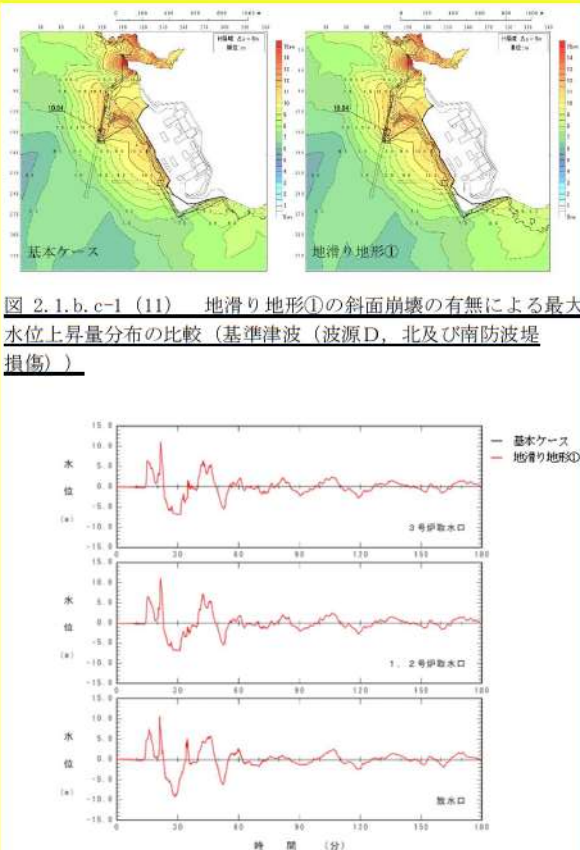
【女川、島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

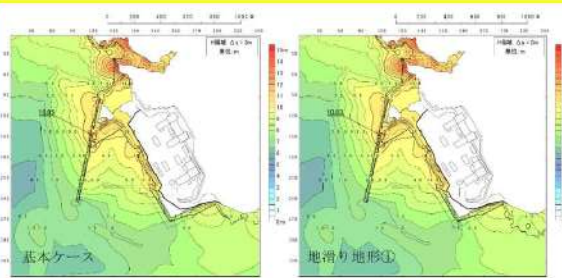
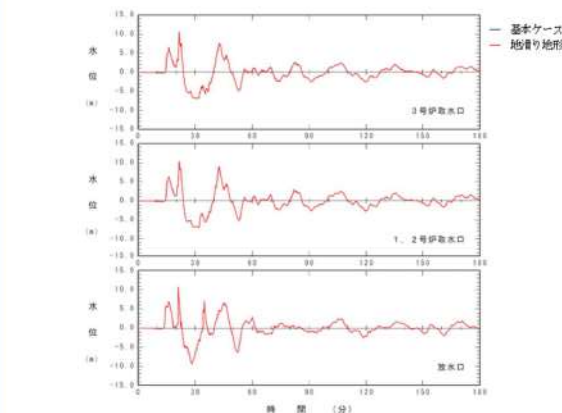
【女川、島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

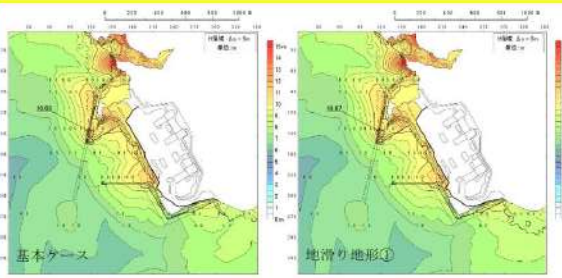
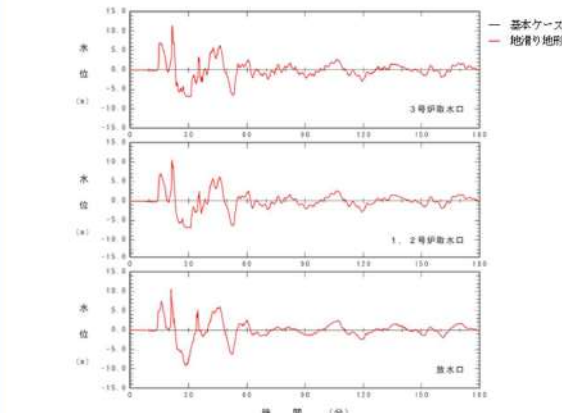
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-1 (5) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源B, 北防波堤損傷))</p>  <p>図 2.1.b.c-1 (6) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源B, 北防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

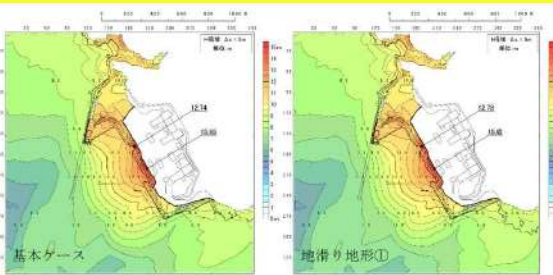
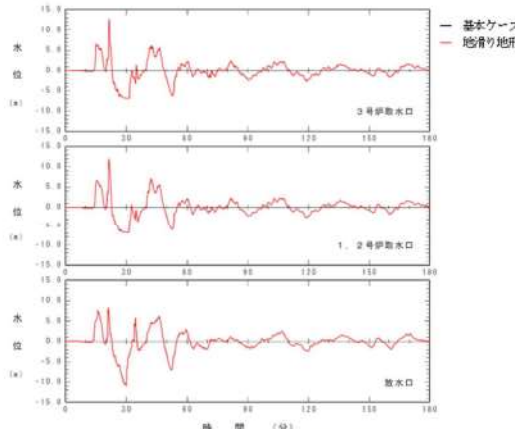
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-1 (7) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源C, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1281 986 1859 1034">図 2.1.b.c-1 (8) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源C, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 986 2136 1034">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

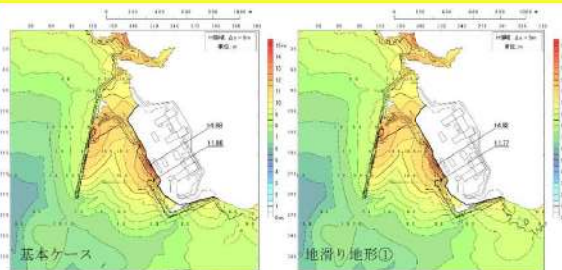
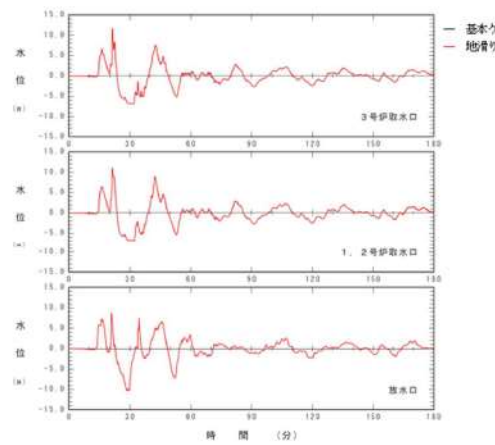
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1294 464 1845 512">図 2.1.b.c-1 (9) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源D, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1294 986 1845 1034">図 2.1.b.c-1 (10) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源D, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1890 464 2139 512">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1890 986 2139 1034">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

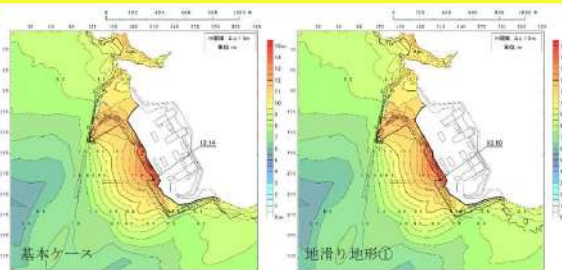
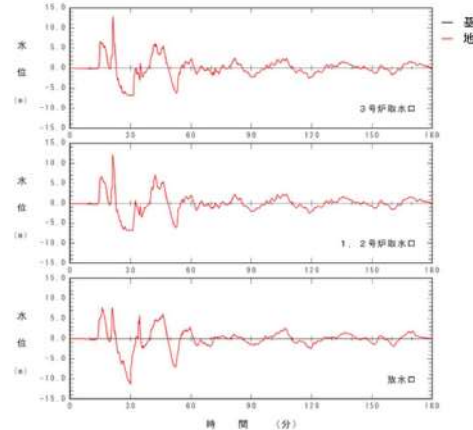
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 462 1859 542">図 2.1.b.c-1 (11) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源D, 北及び南防波堤損傷))</p> <p data-bbox="1281 1045 1859 1093">図 2.1.b.c-1 (12) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源D, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2150 510">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1045 2150 1093">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

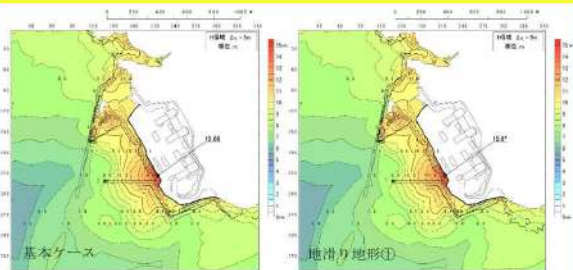
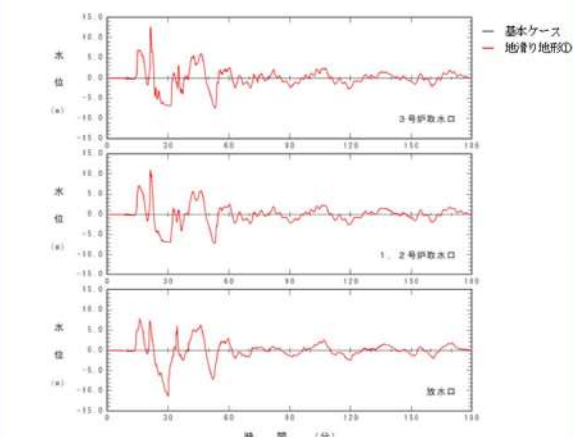
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 518">図 2.1.b.c-1 (13) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源D, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 981 1848 1037">図 2.1.b.c-1 (14) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源D, 南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2139 1037">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

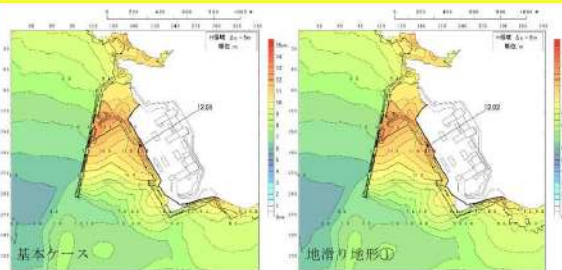
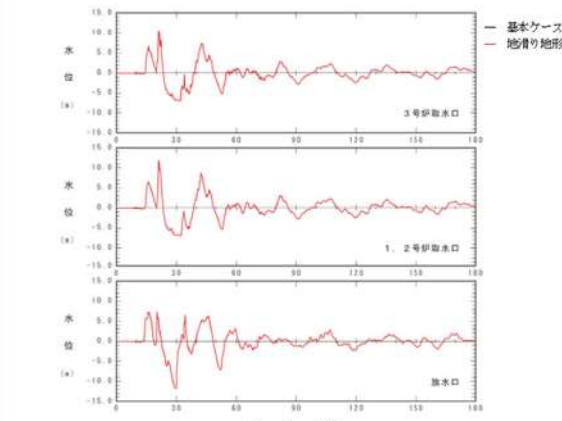
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 518">図 2.1.b.c-1 (15) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源D, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 981 1848 1037">図 2.1.b.c-1 (16) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源D, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2139 1037">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

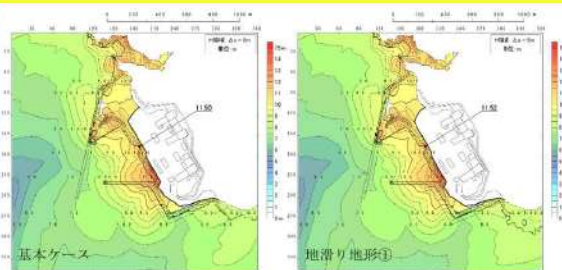
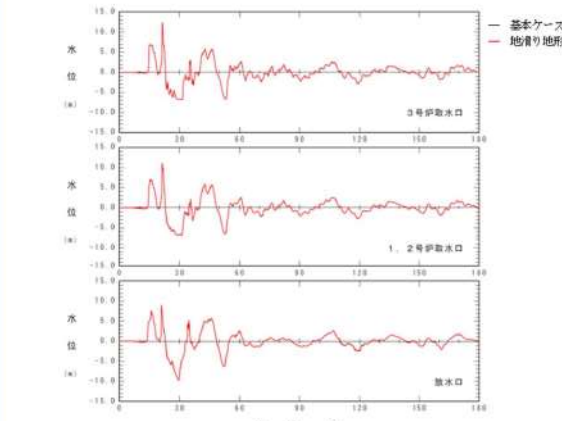
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 459 1861 544">図 2.1.b.c-1 (17) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源 E, 北及び南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1279 1011 1861 1066">図 2.1.b.c-1 (18) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 E, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 1011 2136 1066">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 518">図 2.1.b.c-1 (19) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源E, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 1013 1848 1077">図 2.1.b.c-1 (20) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源E, 南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1013 2150 1077">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 542">図 2.1.b.c-1 (21) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源 F, 北及び南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 1045 1848 1093">図 2.1.b.c-1 (22) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較基準津波 (波源 F, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 510">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1045 2139 1093">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1859 518">図 2.1.b.c-1 (23) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源 F, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 981 1859 1045">図 2.1.b.c-1 (24) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 F, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2150 1045">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 518">図 2.1.b.c-1 (25) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源G, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 981 1848 1045">図 2.1.b.c-1 (26) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較基準津波 (波源G, 南防波堤損傷)</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2150 1045">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 518">図 2.1.b.c-1 (27) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源H, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 981 1848 1037">図 2.1.b.c-1 (28) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源H, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2139 1037">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

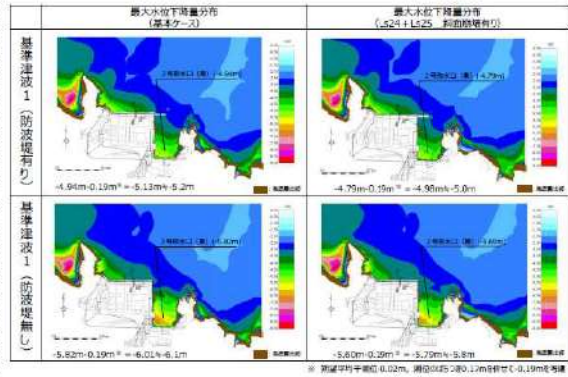


図 2-55 (3) 斜面崩壊 (Ls24+Ls25) の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 1 (防波堤有り) 及び基準津波 1 (防波堤無し))

比較のため、2. (8)項の内容を再掲

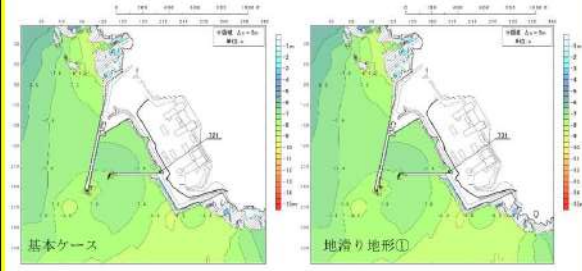


図 2.1.b.c-1 (29) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))

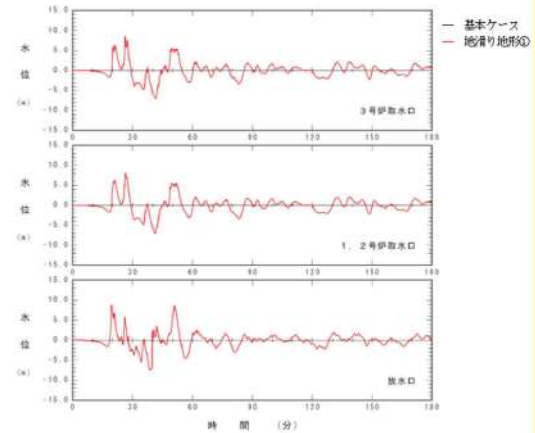


図 2.1.b.c-1 (30) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))

【女川、島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

【女川、島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

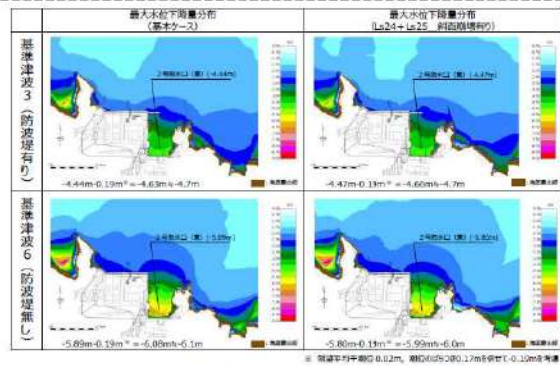


図 2-55 (4) 斜面崩壊 (Ls24+Ls25) の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 3 (防波堤有り) 及び基準津波 6 (防波堤無し))

比較のため、2. (8) 項の内容を再掲

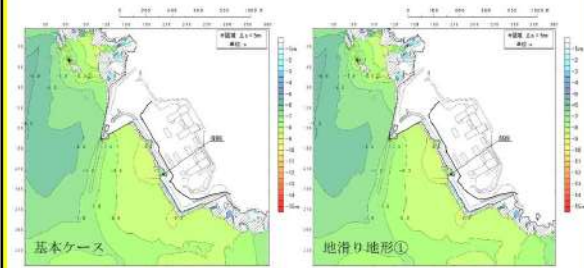


図 2.1.b.c-1 (31) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源 I, 北及び南防波堤損傷))

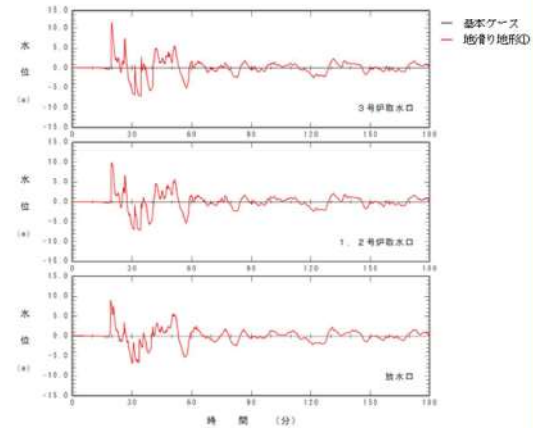


図 2.1.b.c-1 (32) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 I, 北及び南防波堤損傷))

【女川、島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

【女川、島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

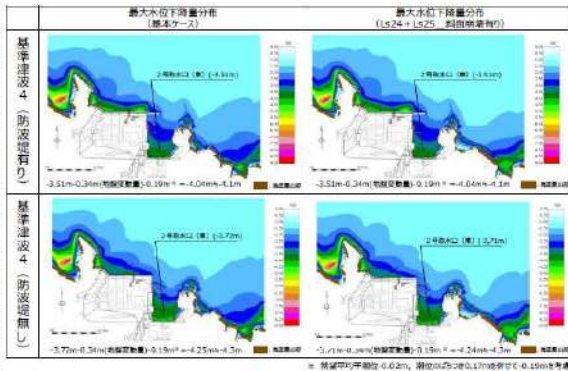


図 2-55 (5) 斜面崩壊 (Ls24+Ls25) の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 4 (防波堤有り) 及び基準津波 4 (防波堤無し))

比較のため, 2. (8) 項の内容を再掲

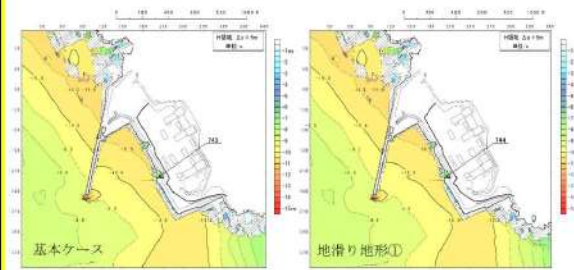


図 2.1.b.c-1 (33) 地滑り地形Dの斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源K, 南防波堤損傷))

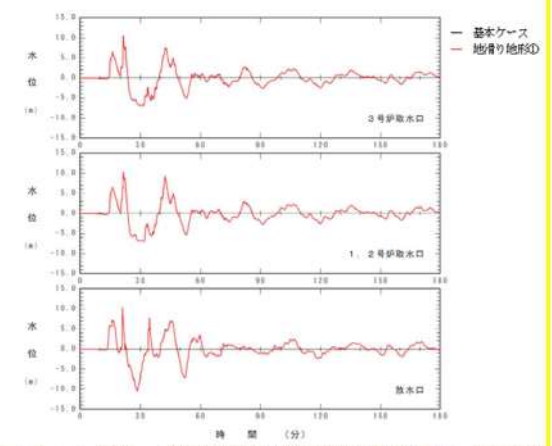
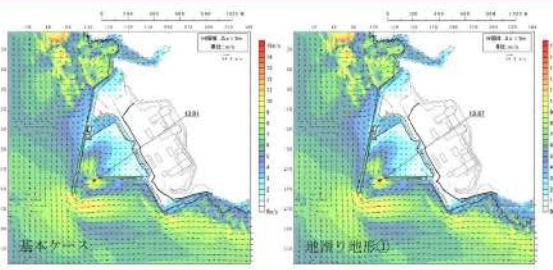
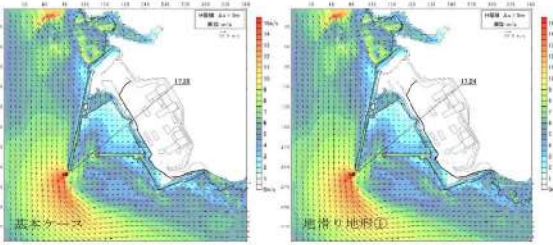


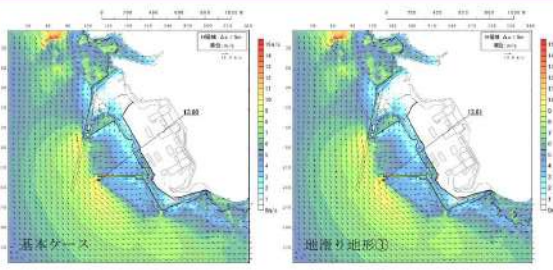
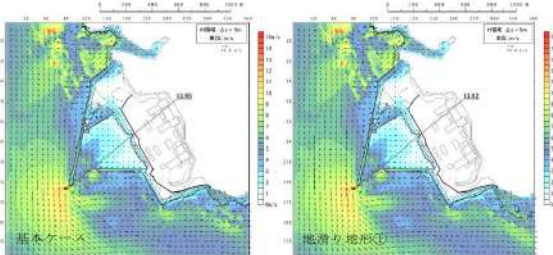
図 2.1.b.c-1 (34) 地滑り地形Dの斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源K, 南防波堤損傷))

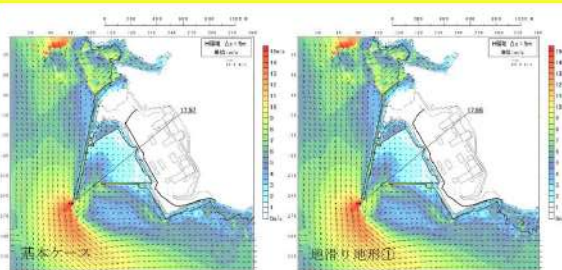
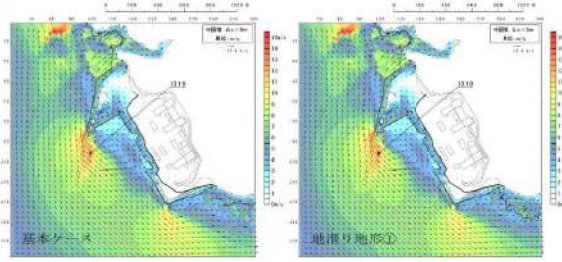
【女川, 島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

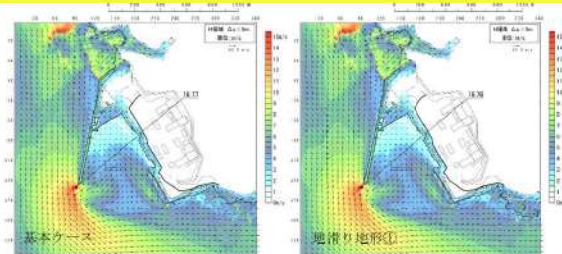
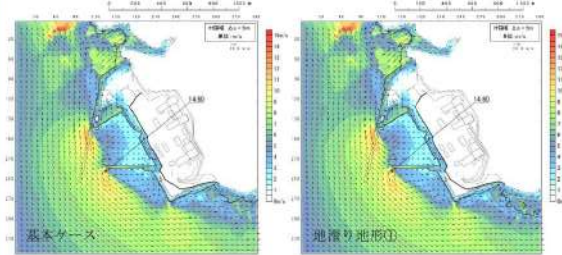
【女川, 島根】発電所立地の相違
【島根】基準津波の相違

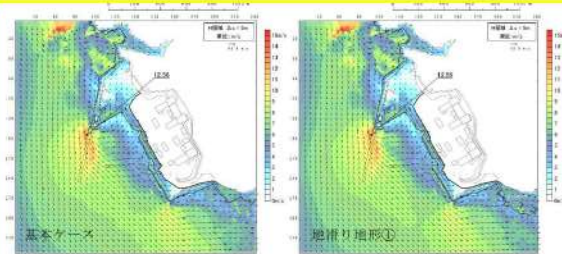
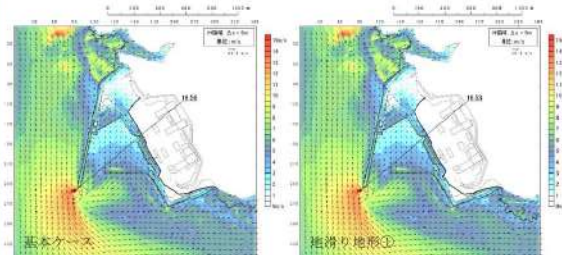
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<p>図 2.1.b.c-1 (35) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源L, 北防波堤損傷))</p> <p>図 2.1.b.c-1 (36) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源L, 北防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p>【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

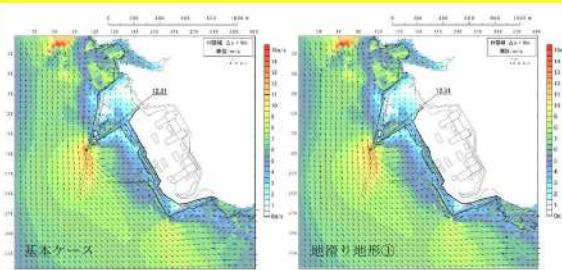
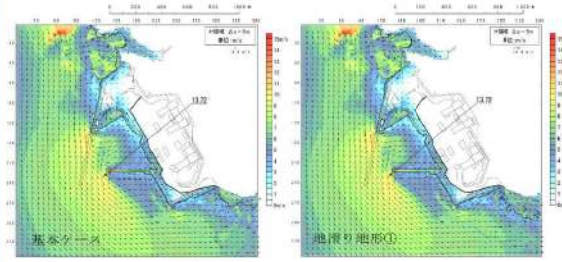
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-1 (37) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1281 839 1859 887">図 2.1.b.c-1 (38) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 839 2136 887">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

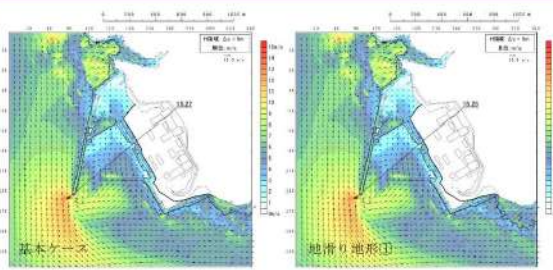
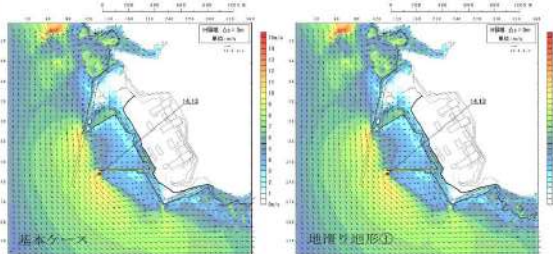
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-1 (39) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源B, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1281 839 1859 887">図 2.1.b.c-1 (40) 地滑り地形④の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源C, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 839 2136 887">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

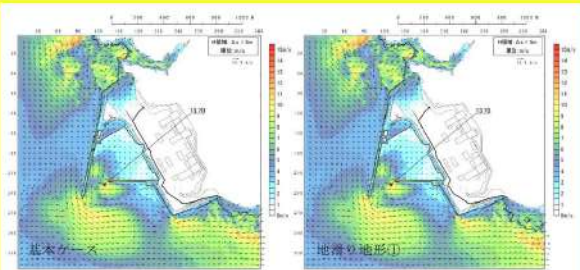
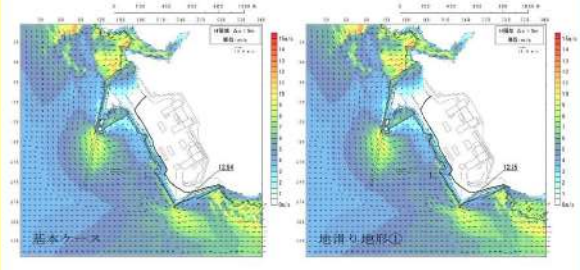
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 518">図 2.1.b.c-1 (41) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1288 837 1848 901">図 2.1.b.c-1 (42) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 837 2150 901">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

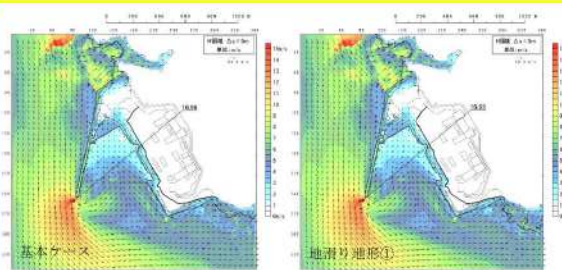
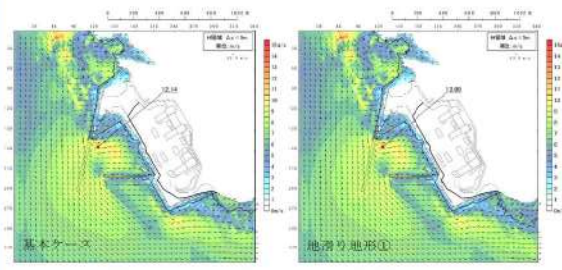
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 430 1848 486">図 2.1.b.c-1 (43) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 782 1848 837">図 2.1.b.c-1 (44) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 430 2139 486">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 782 2139 837">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

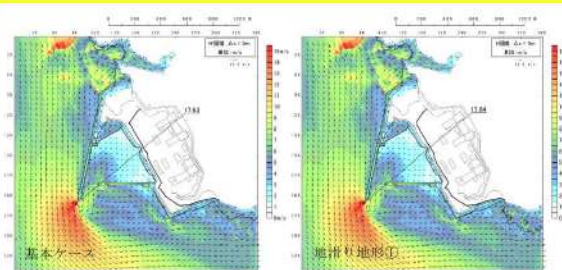
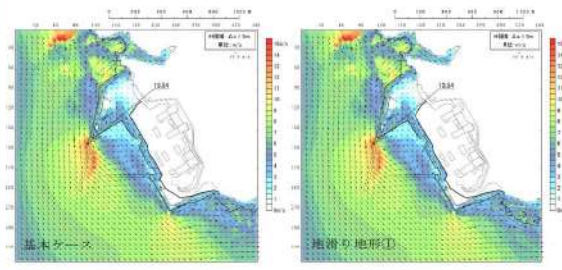
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 430 1848 486">図 2.1.b.c-1 (45) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源E, 北及び南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 805 1848 861">図 2.1.b.c-1 (46) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源E, 南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 430 2139 486">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 805 2139 861">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

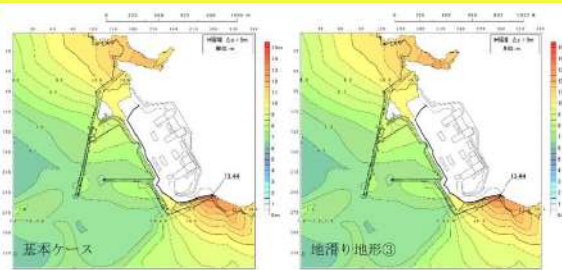
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 518">図 2.1.b.c-1 (47) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源F, 北及び南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 837 1848 901">図 2.1.b.c-1 (48) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源F, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 837 2150 901">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

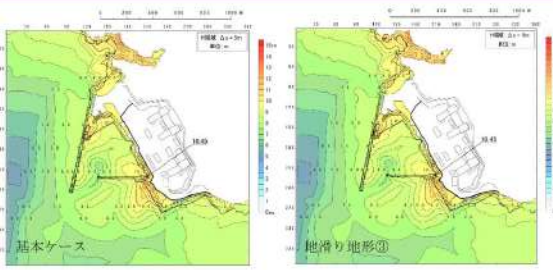
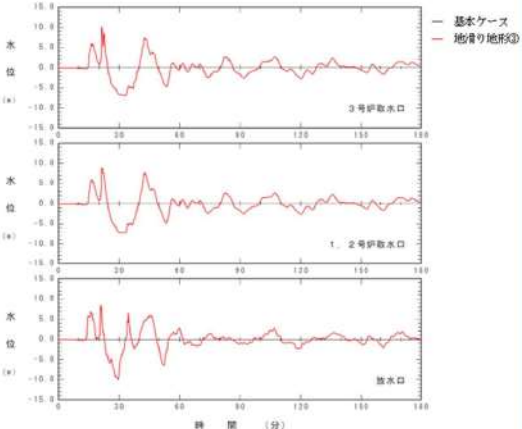
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-1 (49) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源G, 南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1886 466 2141 485">【女川, 島根】 発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1886 494 2069 513">【島根】 基準津波の相違</p>
		 <p data-bbox="1281 836 1859 884">図 2.1.b.c-1 (50) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源H, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1886 836 2141 855">【女川, 島根】 発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1886 865 2069 884">【島根】 基準津波の相違</p>

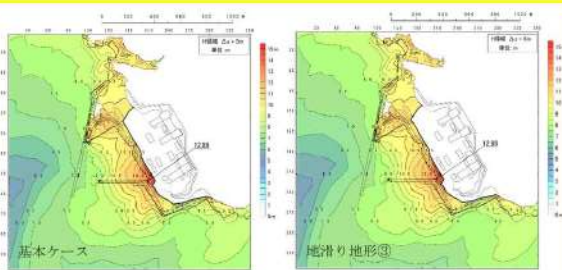
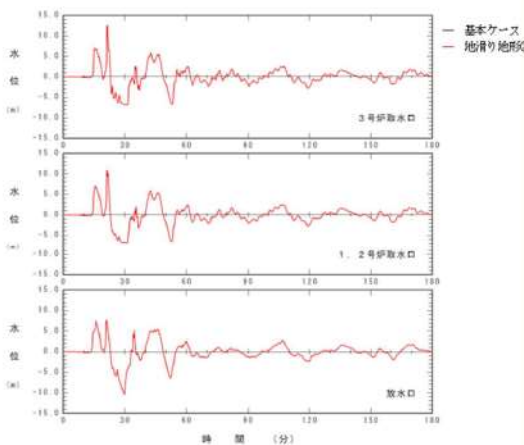
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-1 (51) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>
		 <p>図 2.1.b.c-1 (52) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源 I, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

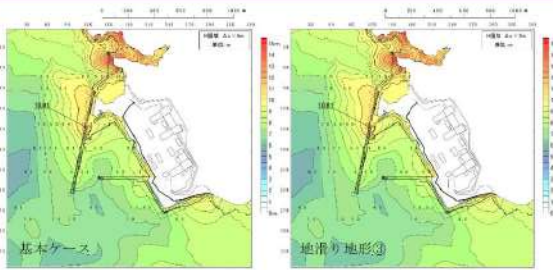
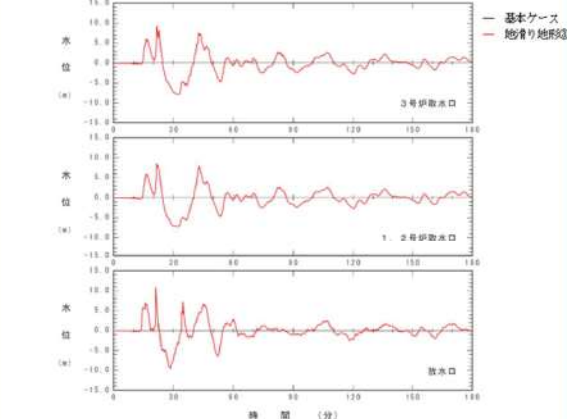
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-1 (53) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源K, 南防波堤損傷))</p>  <p>図 2.1.b.c-1 (54) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源L, 北防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

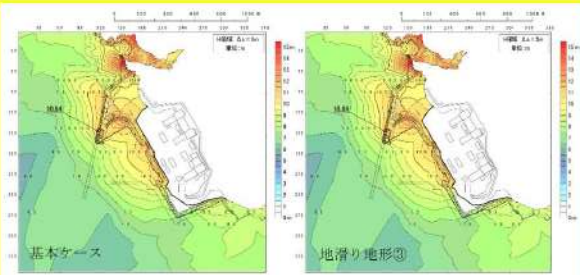
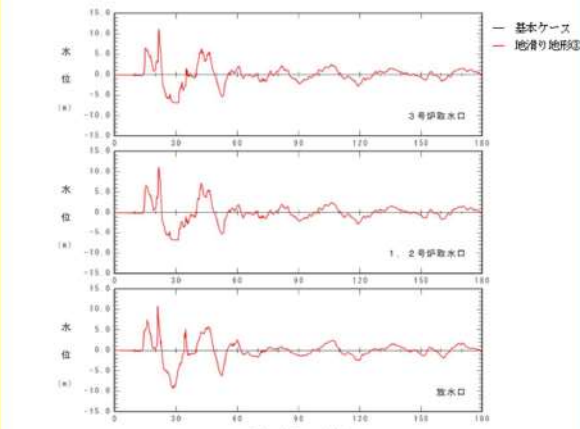
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 518">図 2.1.b.c-1 (55) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (最大流速波源 (波源K, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1288 837 1848 933">図 2.1.b.c-1 (56) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (最大流速波源 (波源K, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 837 2150 901">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

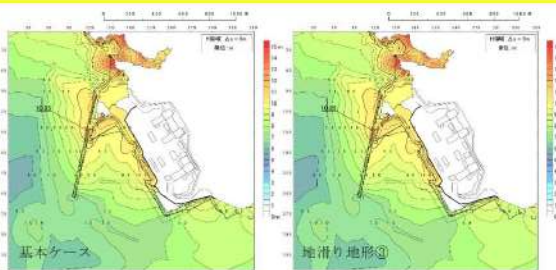
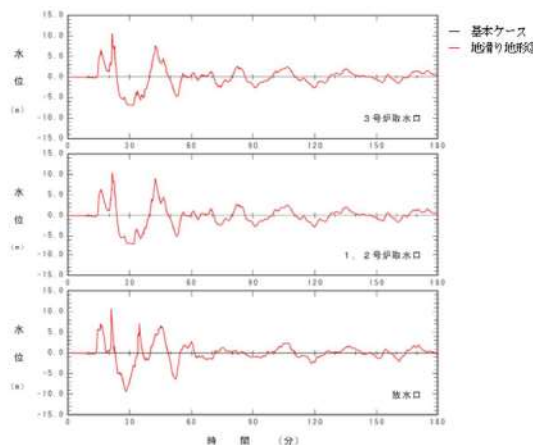
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 518">図 2.1.b.c-2 (1) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))</p> <p data-bbox="1288 558 1848 997">図 2.1.b.c-2 (2) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1013 2139 1069">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

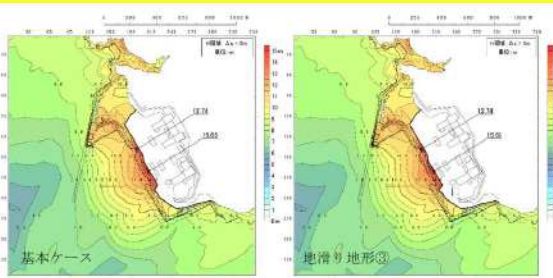
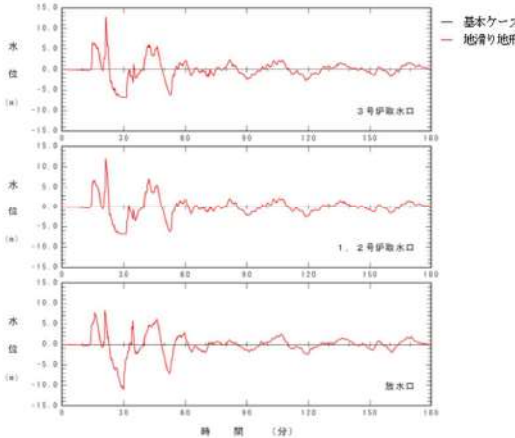
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-2 (3) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1281 986 1859 1034">図 2.1.b.c-2 (4) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 986 2136 1034">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

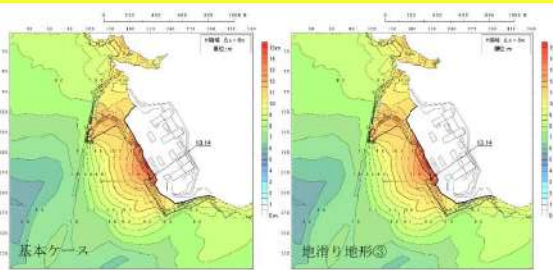
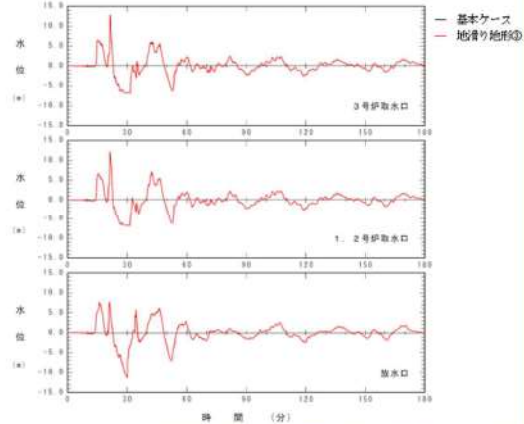
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1294 454 1854 518">図 2.1.b.c-2 (5) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源B, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1294 1013 1854 1077">図 2.1.b.c-2 (6) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源B, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1013 2150 1077">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

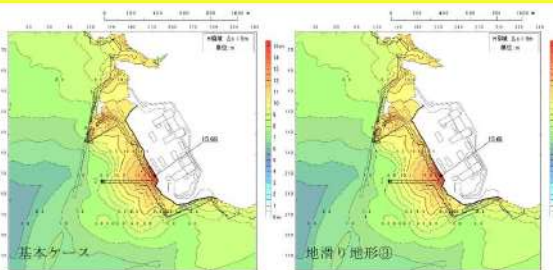
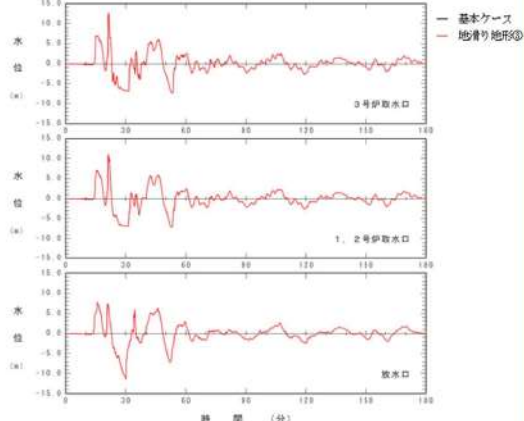
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-2 (9) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源D, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1281 986 1859 1034">図 2.1.b.c-2 (10) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源D, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 986 2136 1034">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

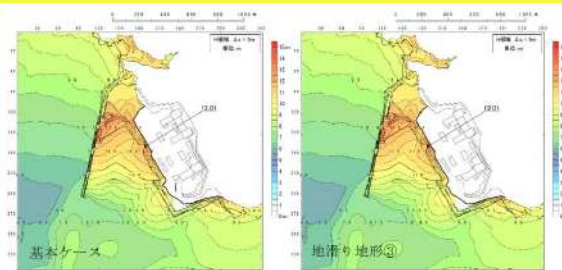
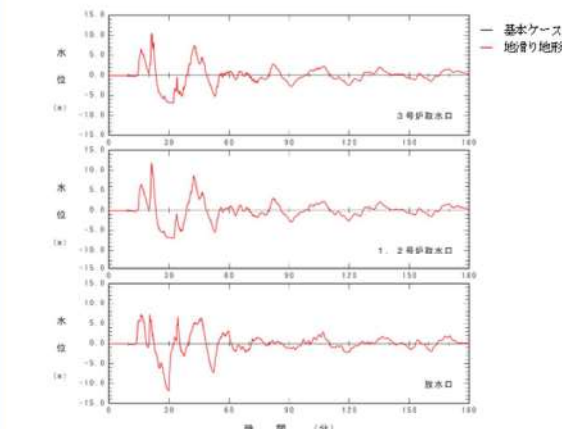
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 459 1859 542">図 2.1.b.c-2 (11) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源D, 北及び南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1281 1013 1859 1061">図 2.1.b.c-2 (12) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源D, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 459 2139 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1013 2139 1069">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

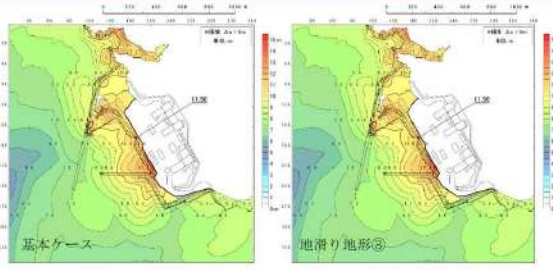
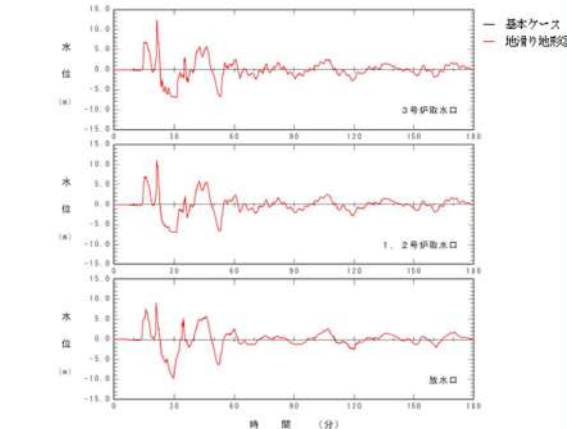
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1283 462 1859 518">図 2.1.b.c-2 (13) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源D, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1283 1013 1859 1069">図 2.1.b.c-2 (14) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源D, 南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1013 2139 1069">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 464 1861 544">図 2.1.b.c-2 (17) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源E、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1279 1043 1861 1098">図 2.1.b.c-2 (18) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源E、北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 464 2136 518">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 1043 2136 1098">【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

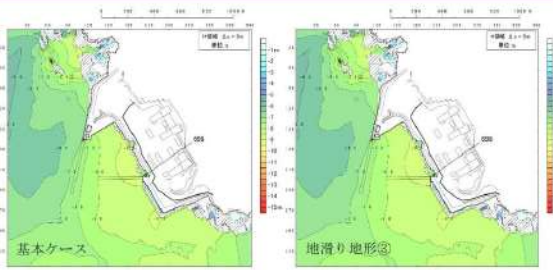
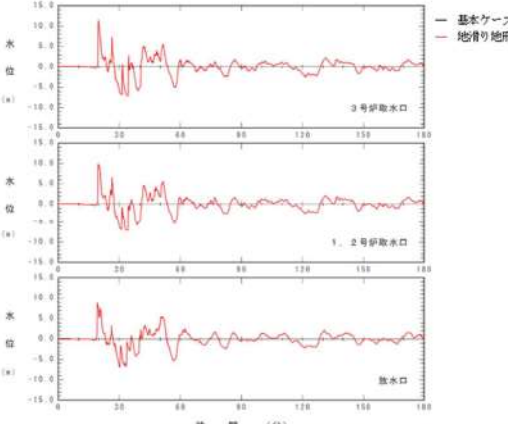
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 459 1861 544">図 2.1.b.c-2 (21) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源 F, 北及び南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1279 1013 1861 1066">図 2.1.b.c-2 (22) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 F, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 512">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 1013 2136 1066">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 462 1861 513">図 2.1.b.c-2 (23) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源 F, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1279 981 1861 1032">図 2.1.b.c-2 (24) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 F, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1883 462 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 981 2136 1032">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

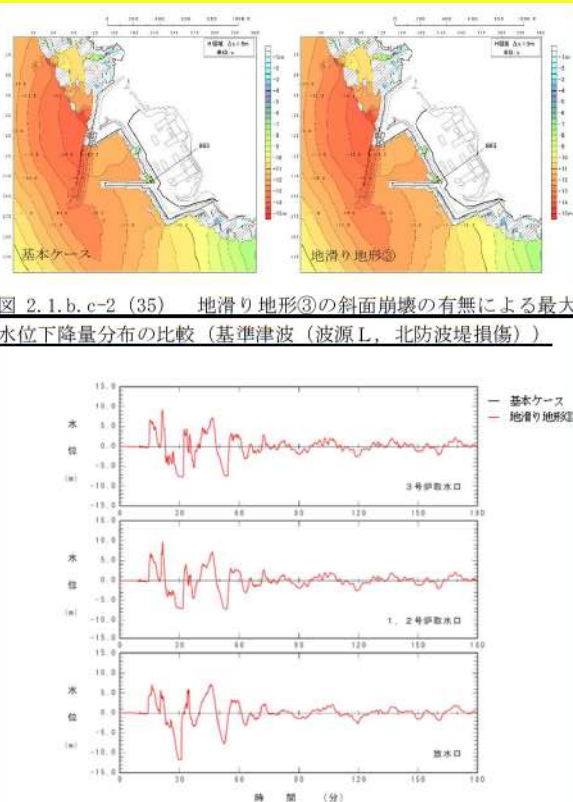
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 518">図 2.1.b.c-2 (25) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源G, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1288 981 1848 1045">図 2.1.b.c-2 (26) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源G, 南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2150 1045">【女川, 島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

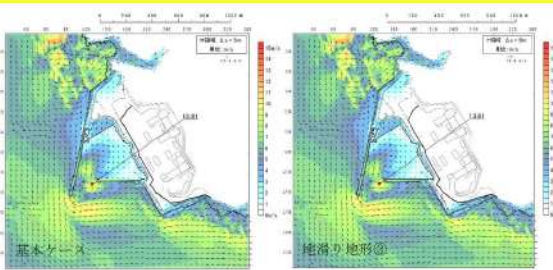
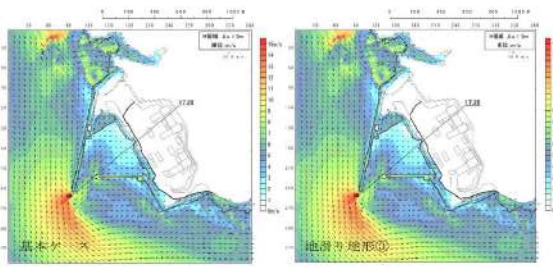
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-2 (27) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源H, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1281 986 1859 1034">図 2.1.b.c-2 (28) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源H, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 986 2136 1034">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

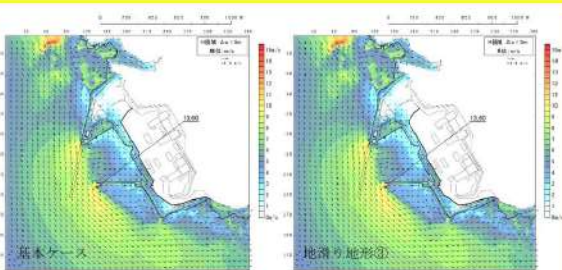
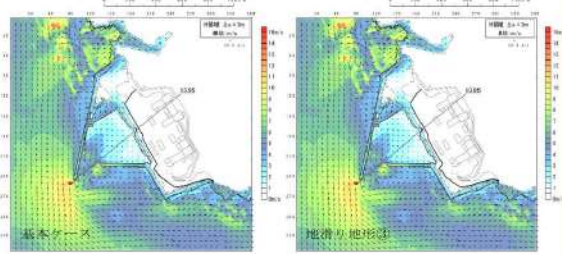
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<div data-bbox="1279 167 1863 443"> </div> <div data-bbox="1279 464 1863 517"> <p>図 2.1.b.c-2 (29) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))</p> </div> <div data-bbox="1279 547 1863 976"> </div> <div data-bbox="1279 986 1863 1038"> <p>図 2.1.b.c-2 (30) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))</p> </div>	<div data-bbox="1883 464 2136 517"> <p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> </div> <div data-bbox="1883 986 2136 1038"> <p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> </div>

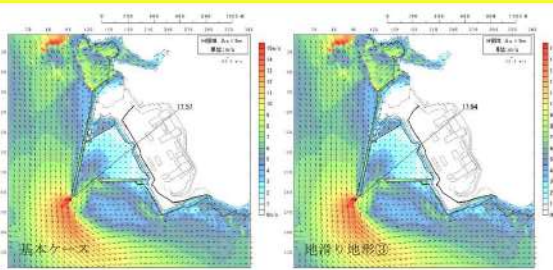
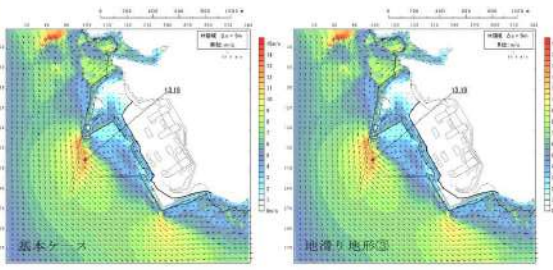
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 545">図 2.1.b.c-2 (31) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源 J, 北及び南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1281 1018 1859 1066">図 2.1.b.c-2 (32) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 J, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 1018 2136 1066">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

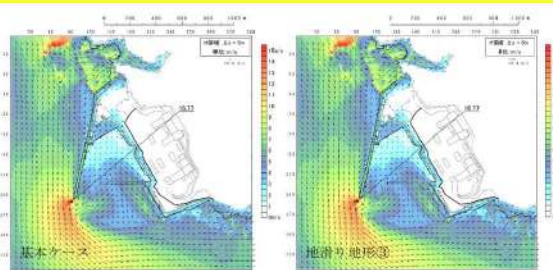
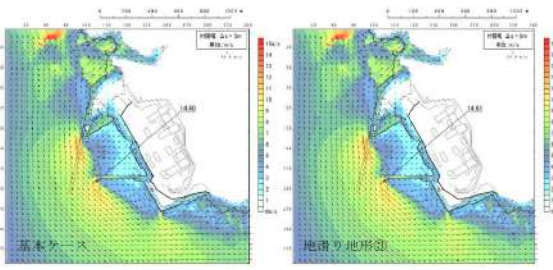
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<p>Figure 2.1.b.c-2 (33) shows two contour plots comparing maximum water level decrease distribution. The left plot is labeled '基本ケース' (Basic Case) and the right plot is '地滑り地形③' (Landslide terrain 3). Both plots show a coastal area with a dam and a power plant. The right plot shows a significantly larger area of water level decrease compared to the basic case.</p> <p>Figure 2.1.b.c-2 (34) shows three time-series plots of water level (水位) in meters (m) versus time (時間) in minutes (分). The plots are for '3号研取水路' (3rd intake channel), '1, 2号研取水路' (1st and 2nd intake channels), and '取水口' (intake). Each plot compares the '基本ケース' (Basic Case, black line) and '地滑り地形③' (Landslide terrain 3, red line). The red lines show much larger fluctuations and lower minimum values than the black lines, indicating a significant impact on water level stability due to the landslide terrain.</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

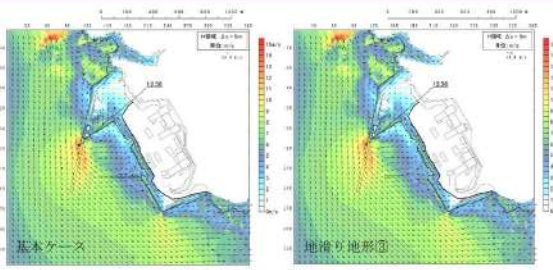
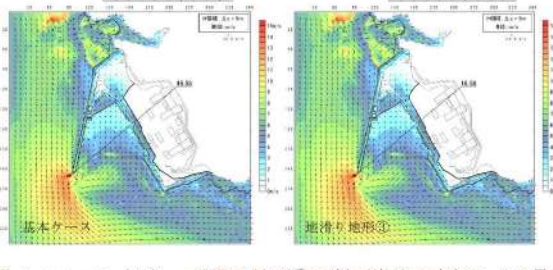
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-2 (35) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源L, 北防波堤損傷))</p> <p>図 2.1.b.c-2 (36) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源L, 北防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違</p> <p>【島根】 基準津波の相違</p> <p>【女川, 島根】 発電所立地の相違</p> <p>【島根】 基準津波の相違</p>

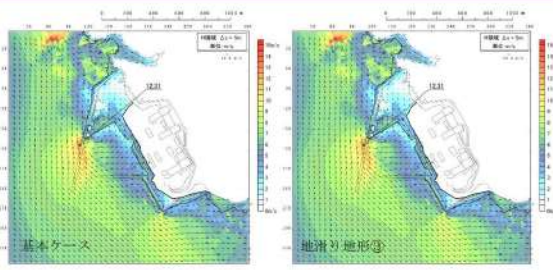
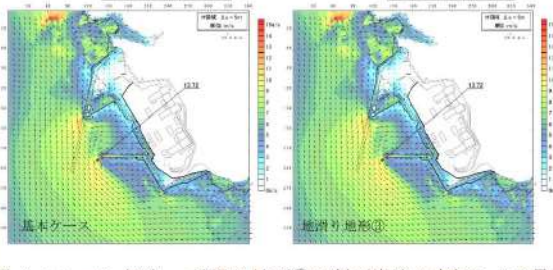
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-2 (37) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))</p>  <p>図 2.1.b.c-2 (38) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

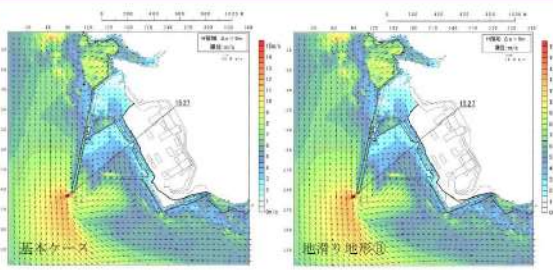
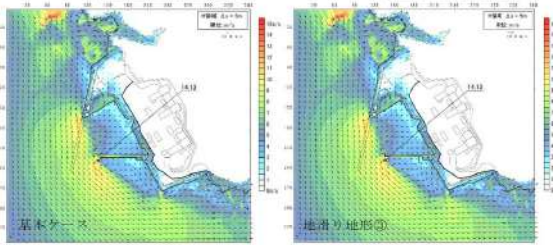
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1294 459 1854 518">図 2.1.b.c-2 (39) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源B, 北防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1294 837 1854 896">図 2.1.b.c-2 (40) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源C, 防波堤損傷なし))</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 837 2136 896">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

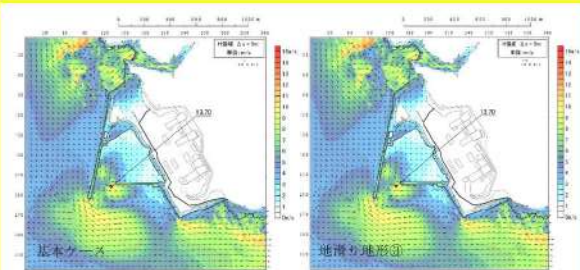
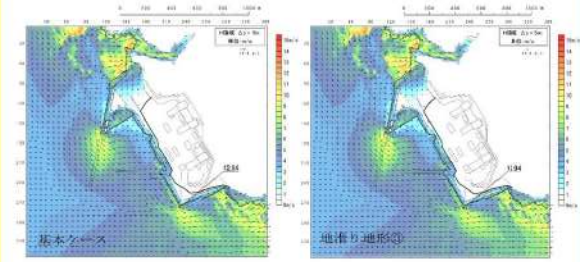
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-2 (41) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 防波堤損傷なし))</p>  <p>図 2.1.b.c-2 (42) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

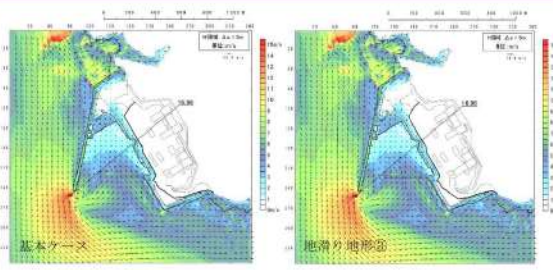
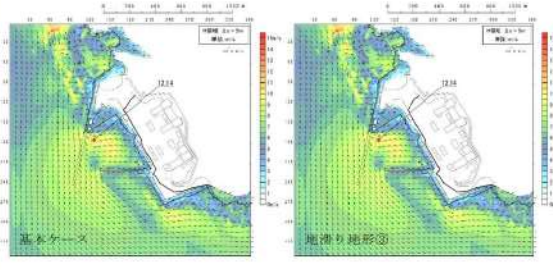
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 459 1859 513">図 2.1.b.c-2 (43) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1281 837 1859 892">図 2.1.b.c-2 (44) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源D, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 837 2136 892">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

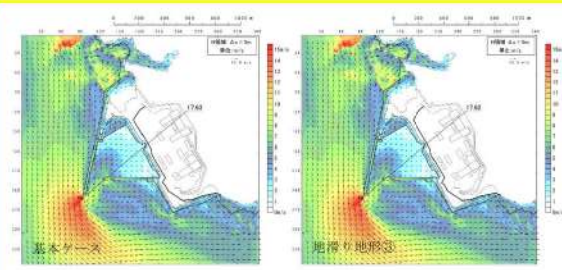
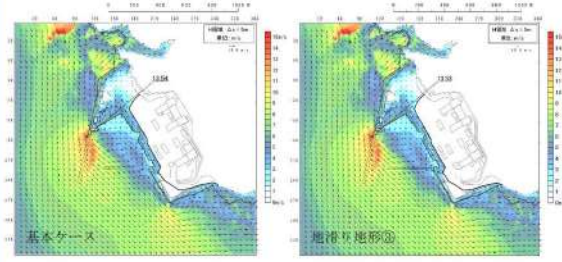
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1294 464 1845 517">図 2.1.b.c-2 (45) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源E, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1890 464 2139 517">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>
		 <p data-bbox="1294 842 1845 895">図 2.1.b.c-2 (46) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源E, 南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1890 842 2139 895">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

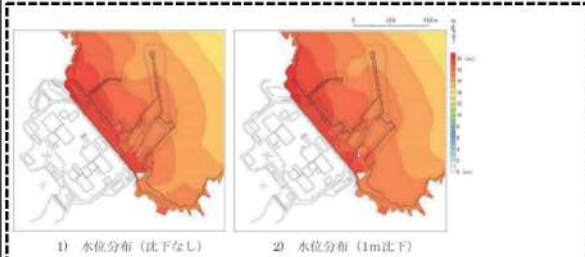
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-2 (47) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源F, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>
		 <p>図 2.1.b.c-2 (48) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源F, 北防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 466 1859 513">図 2.1.b.c-2 (49) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源G, 南防波堤損傷))</p>  <p data-bbox="1281 839 1859 887">図 2.1.b.c-2 (50) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源H, 北防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1886 466 2136 513">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1886 839 2136 887">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 459 1859 518">図 2.1.b.c-2 (51) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1281 837 1859 896">図 2.1.b.c-2 (52) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源 I, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 459 2145 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 837 2145 896">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.b.c-2 (53) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源K, 南防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>
		 <p>図 2.1.b.c-2 (54) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源L, 北防波堤損傷))</p>	<p>【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 518">図 2.1.b.c-2 (55) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (最大流速波源 (波源K, 防波堤損傷なし))</p>  <p data-bbox="1288 837 1848 917">図 2.1.b.c-2 (56) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較 (最大流速波源 (波源K, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 518">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 837 2139 893">【女川, 島根】 発電所立地の相違 【島根】 基準津波の相違</p>



1) 水位分布 (沈下なし) 2) 水位分布 (1m沈下)

図 25 沈下の有無に対する最大水位上昇量分布の比較 (上昇側基準津波, 防波堤あり)

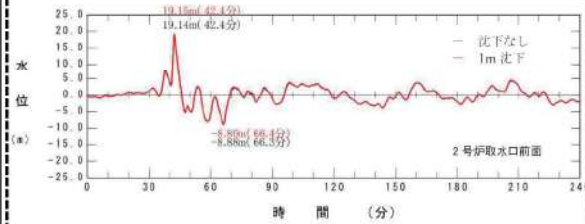


図 26 沈下の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (上昇側基準津波, 防波堤あり)

比較のため, 5. (2) 項の内容を再掲

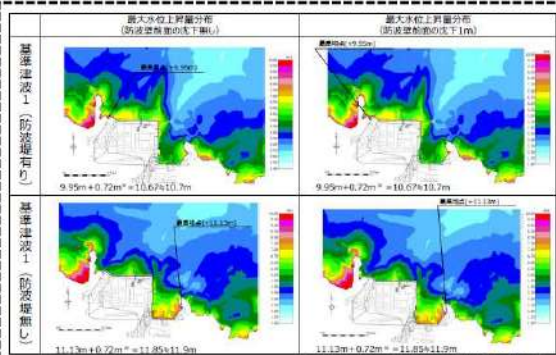


図 3-16 (1) 地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 1 (防波堤有り) 及び基準津波 1 (防波堤無し))

比較のため, 3. (4) 項の内容を再掲

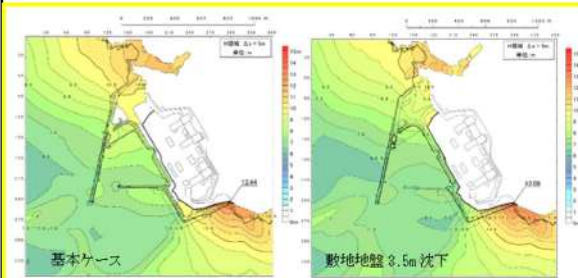


図 2.1.c.b-22 (1) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m 沈下) の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))

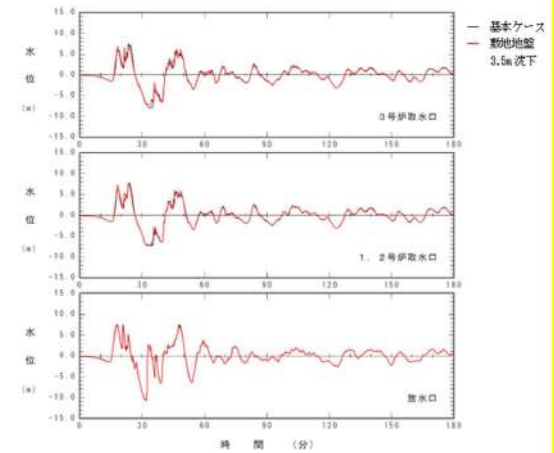


図 2.1.c.b-22 (2) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m 沈下) の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))

【女川, 島根】発電所立地の相違
【女川, 島根】基準津波の相違

【女川, 島根】発電所立地の相違
【女川, 島根】基準津波の相違

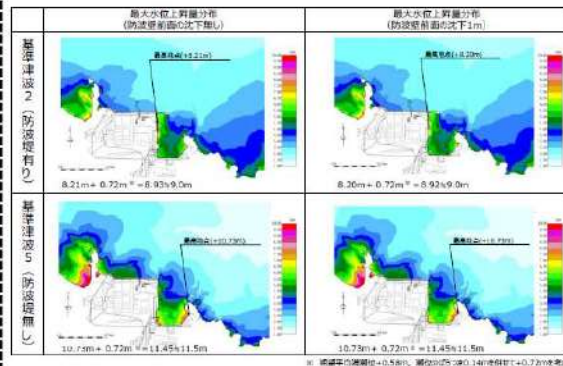


図3-16 (2) 地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波2 (防波堤有り) 及び基準津波5 (防波堤無し))

比較のため、3.(4)項の内容を再掲

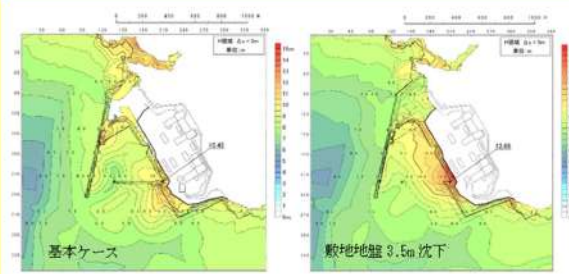


図 2.1.c.b-22 (3) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m 沈下) の有無による最大水位上昇量分布の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))

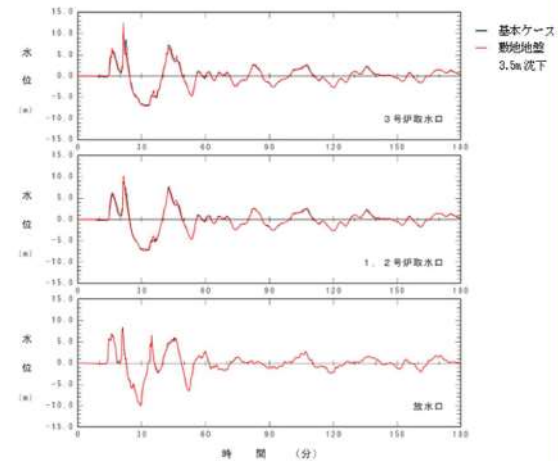
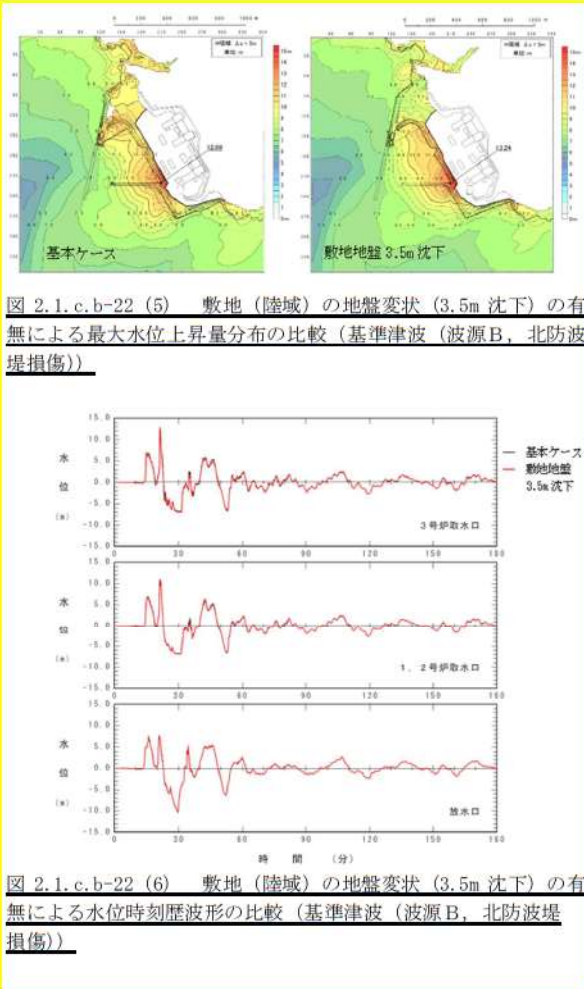
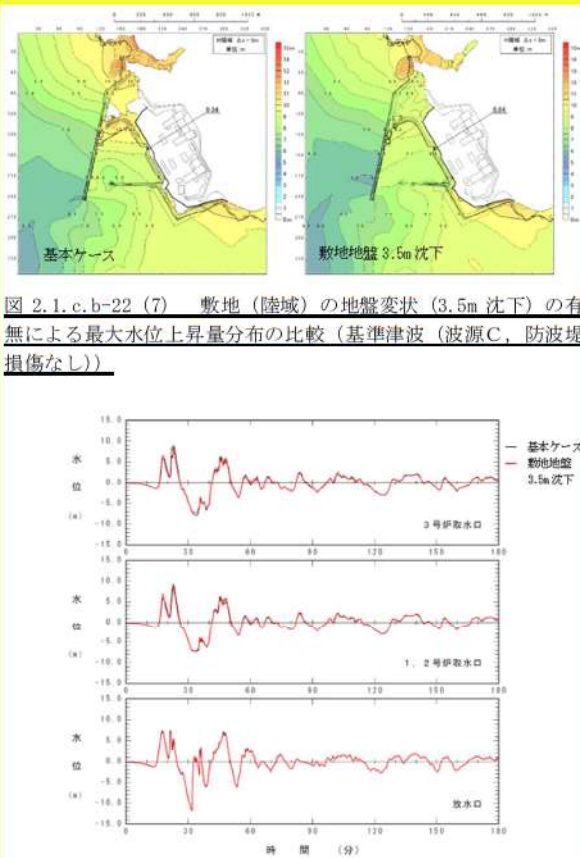


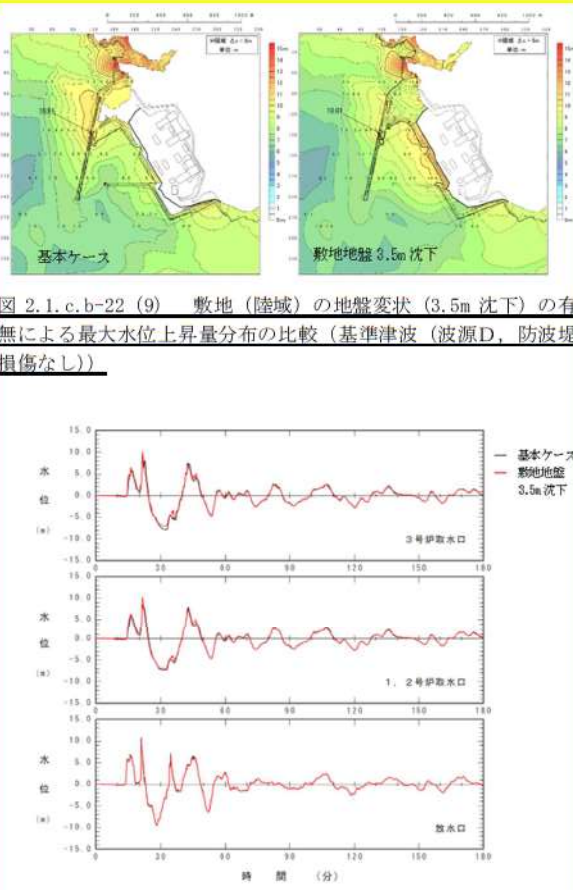
図 2.1.c.b-22 (4) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m 沈下) の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))

【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>Figure 2.1.c.b-22 (5) consists of two topographic maps of the site. The left map is labeled '基本ケース' (Basic Case) and the right map is labeled '敷地地盤 3.5m 沈下' (Site Ground 3.5m Subsidence). Both maps show contour lines and a color-coded elevation scale. The right map shows a significant change in the ground profile due to the 3.5m subsidence.</p> <p>Figure 2.1.c.b-22 (6) consists of three time-series plots of water level (水位) in meters (m) versus time (時間) in minutes (分). The plots are for '3号炉取水口' (3rd reactor water intake), '1, 2号炉取水口' (1st and 2nd reactor water intake), and '排水口' (Drainage outlet). Each plot compares the '基本ケース' (Basic Case, black line) and the '敷地地盤 3.5m 沈下' (Site Ground 3.5m Subsidence, red line). The plots show that the subsidence case results in higher and more sustained water levels compared to the basic case.</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>Figure 2.1.c.b-22 (7) consists of two contour maps of the ground deformation in the area of the power plant. The left map is labeled '基本ケース' (Basic Case) and the right map is labeled '敷地地盤 3.5m 沈下' (Ground subsidence 3.5m). Both maps show contour lines of deformation, with a color scale on the right indicating the magnitude of change. The right map shows significantly larger deformation areas compared to the basic case.</p> <p>Figure 2.1.c.b-22 (8) consists of three vertically stacked line graphs showing water level time-series. The y-axis is '水位' (Water Level) ranging from -15.0 to 15.0, and the x-axis is '時間 (分)' (Time (min)) ranging from 0 to 180. The top graph is for '3号炉取水口' (3rd reactor intake), the middle for '1, 2号炉取水口' (1, 2nd reactor intake), and the bottom for '放水口' (Discharge outlet). Each graph compares the '基本ケース' (Basic Case, black line) and '敷地地盤 3.5m 沈下' (Ground subsidence 3.5m, red line). The red lines show larger amplitude fluctuations in water level compared to the black lines, particularly in the initial phase of the tsunami.</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1859 542">図 2.1.c.b-22 (9) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p> <p data-bbox="1288 1069 1859 1149">図 2.1.c.b-22 (10) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1881 462 2150 486">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 491 2150 515">【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1069 2150 1093">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1098 2150 1121">【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

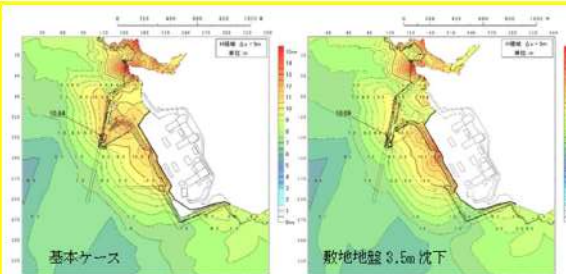


図 2.1.c.b-22 (11) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D、北及び南防波堤損傷））

【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

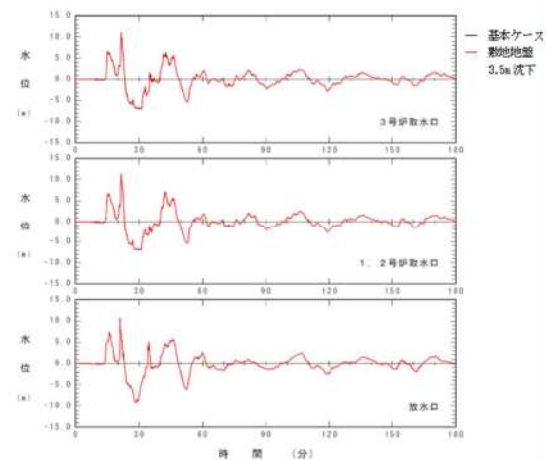
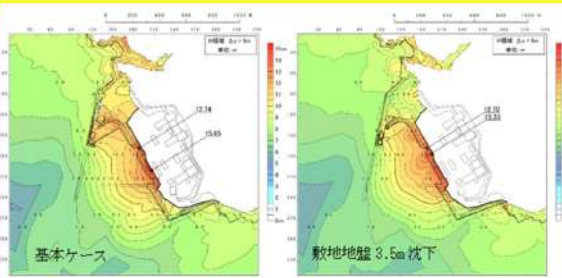
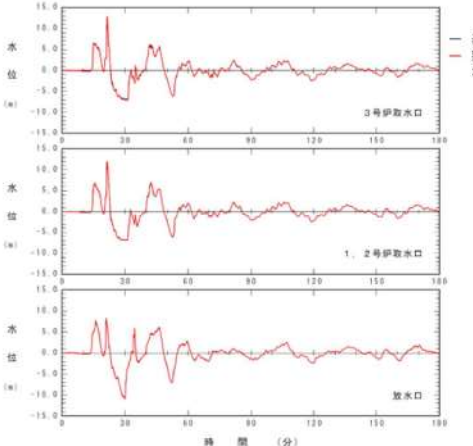
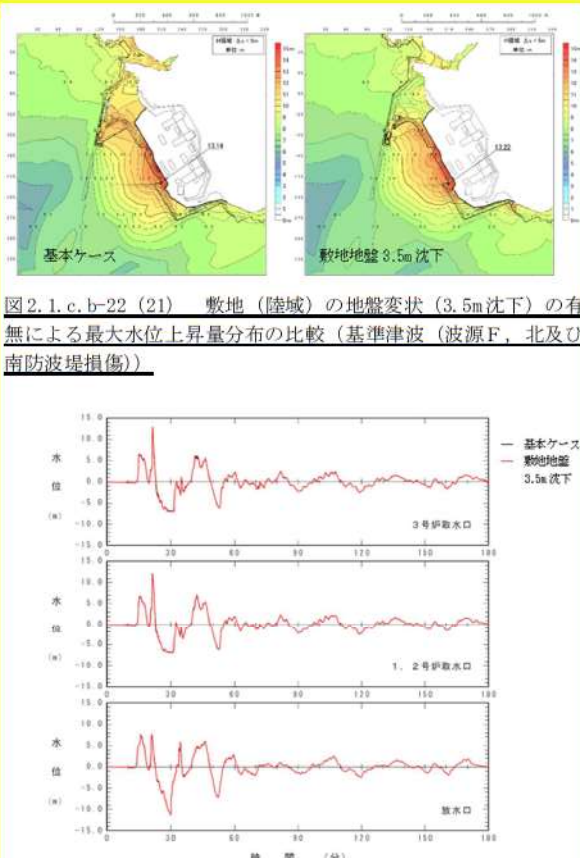


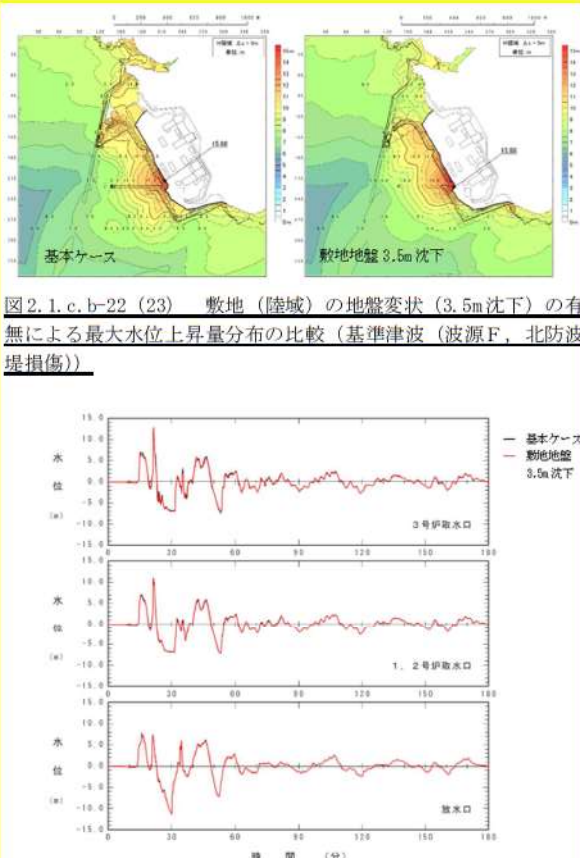
図 2.1.c.b-22 (12) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D、北及び南防波堤損傷））

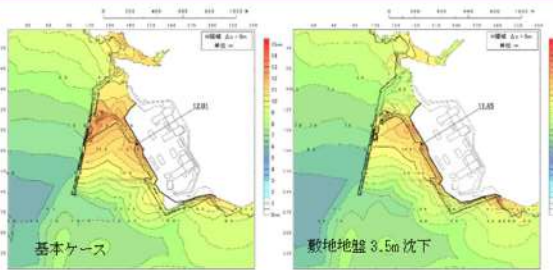
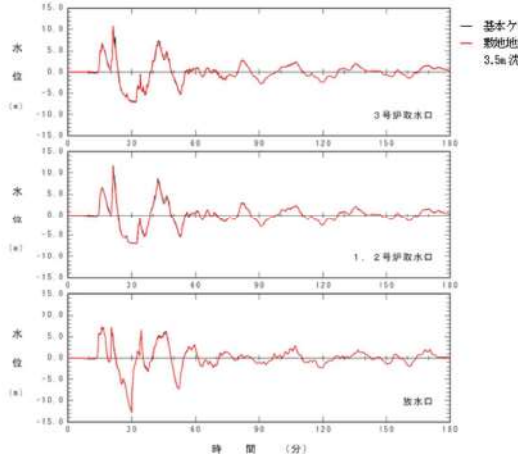
【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

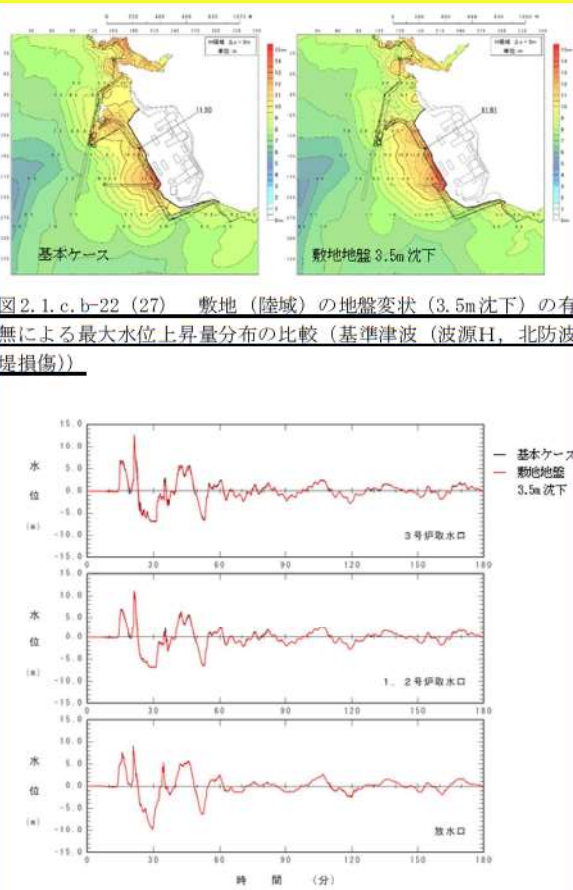
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<p data-bbox="1283 464 1863 544">図 2.1.c.b-22 (15) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D，北防波堤損傷））</p> <p data-bbox="1283 1042 1863 1121">図 2.1.c.b-22 (16) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1888 464 2136 485">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1888 493 2119 513">【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1888 1042 2136 1062">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1888 1070 2119 1091">【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 542">図 2.1.c.b-22 (17) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源E、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 1045 1848 1125">図 2.1.c.b-22 (18) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源E、北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 462 2150 486">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 494 2150 518">【女川、島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1045 2150 1069">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1077 2150 1101">【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>Figure 2.1.c.b-22 (21) consists of two contour maps of the Kashiwa Bay area. The left map, labeled '基本ケース' (Basic Case), shows a maximum water level rise of 13.14 meters. The right map, labeled '敷地地盤 3.5m 沈下' (Site Ground 3.5m Subsidence), shows a maximum water level rise of 13.22 meters. Figure 2.1.c.b-22 (22) consists of three time-series plots of water level (m) versus time (min) for three different locations: '3号炉取水口' (3rd reactor intake), '1, 2号炉取水口' (1st and 2nd reactor intakes), and '敷水口' (Water outlet). Each plot compares the '基本ケース' (Basic Case, black line) and the '敷地地盤 3.5m 沈下' (Site Ground 3.5m Subsidence, red line) scenarios. The plots show that the subsidence scenario results in higher and more sustained water level peaks compared to the basic case.</p> <p>図 2.1.c.b-22 (21) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源F、北及び南防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.b-22 (22) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源F、北及び南防波堤損傷））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】基準津波の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-22 (23) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源F，北防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.b-22 (24) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源F，北防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 461 1861 539">図 2.1.c.b-22 (25) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1279 1042 1861 1120">図 2.1.c.b-22 (26) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による水位時刻履歴波形の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 461 2136 483">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 491 2119 513">【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 1042 2136 1064">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 1072 2119 1094">【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-22 (27) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源H，北防波堤損傷））</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>図 2.1.c.b-22 (28) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源H，北防波堤損傷））</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>	



1) 水位分布 (沈下なし) 2) 水位分布 (沈下1m)

図 29 沈下の有無に対する最大水位下降量分布の比較 (下降側基準津波、防波堤あり)

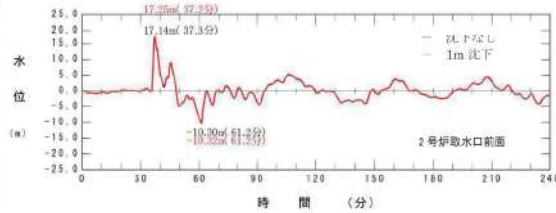


図 30 沈下の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (下降側基準津波、防波堤あり)

比較のため、5. (3) 項の内容を再掲

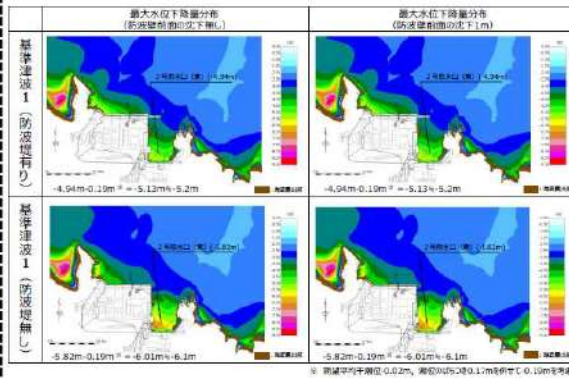


図 3-16 (3) 地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 1 (防波堤有り) 及び基準津波 1 (防波堤無し))

比較のため、3. (4) 項の内容を再掲

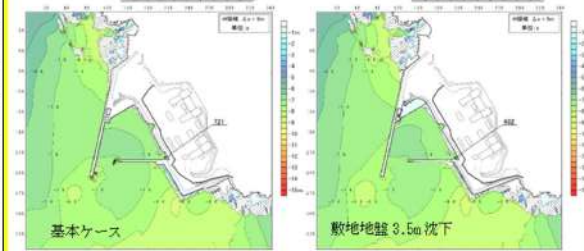


図 2.1.c.b-22 (29) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m 沈下) の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))

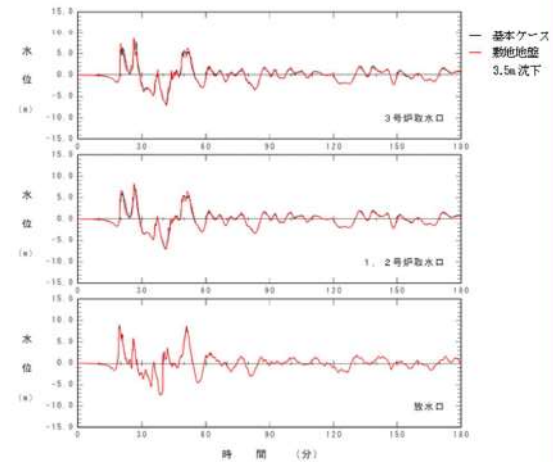


図 2.1.c.b-22 (30) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m 沈下) の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源 I, 防波堤損傷なし))

【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

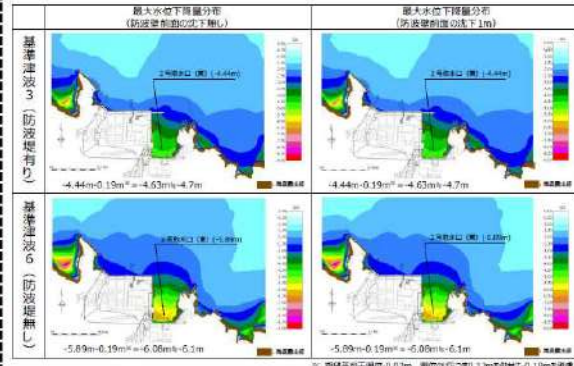


図3-16 (4) 地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波3 (防波堤有り) 及び基準津波6 (防波堤無し))

比較のため、3. (4) 項の内容を再掲

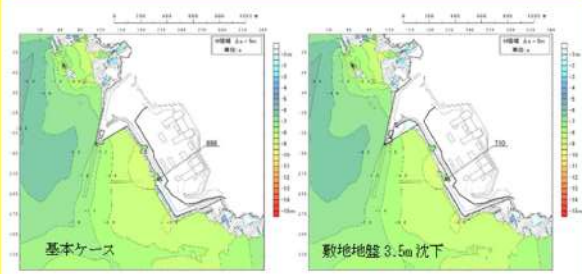


図2.1.c.b-22 (31) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m沈下) の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源J, 北及び南防波堤損傷))

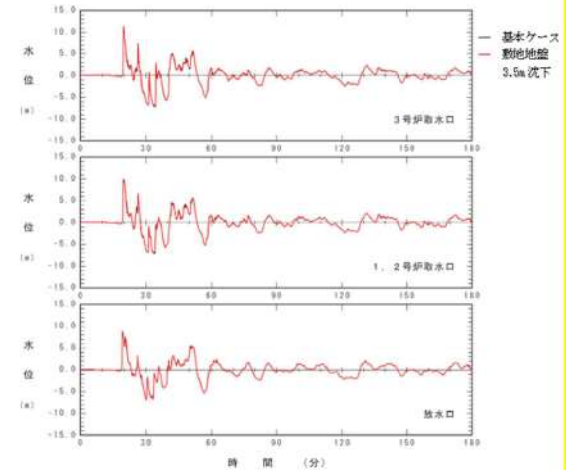


図2.1.c.b-22 (32) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m沈下) の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源J, 北及び南防波堤損傷))

【女川, 島根】発電所立地の相違
【女川, 島根】基準津波の相違

【女川, 島根】発電所立地の相違
【女川, 島根】基準津波の相違

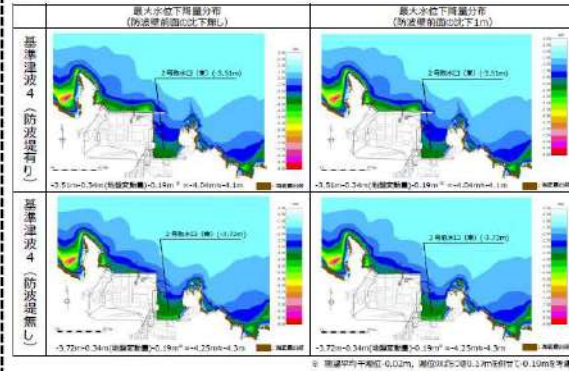


図3-16 (5) 地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波4 (防波堤有り) 及び基準津波4 (防波堤無し))

比較のため、3.(4)項の内容を再掲

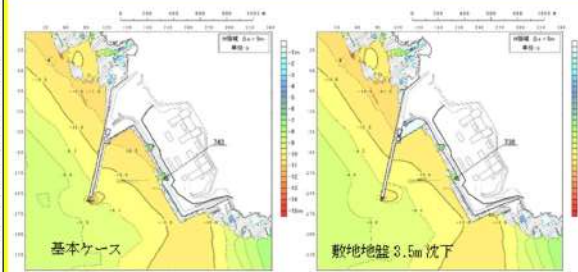


図2.1.c.b-22 (33) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m沈下) の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源K, 南防波堤損傷))

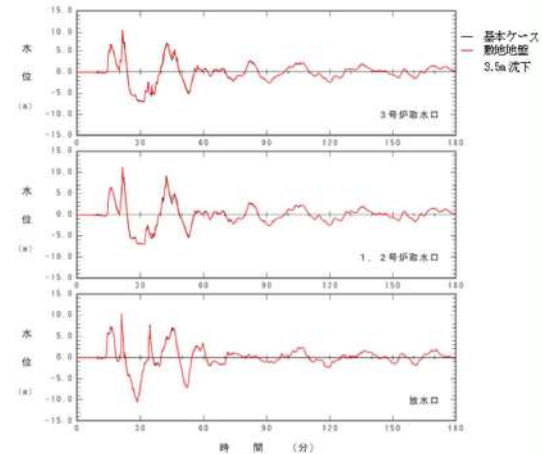
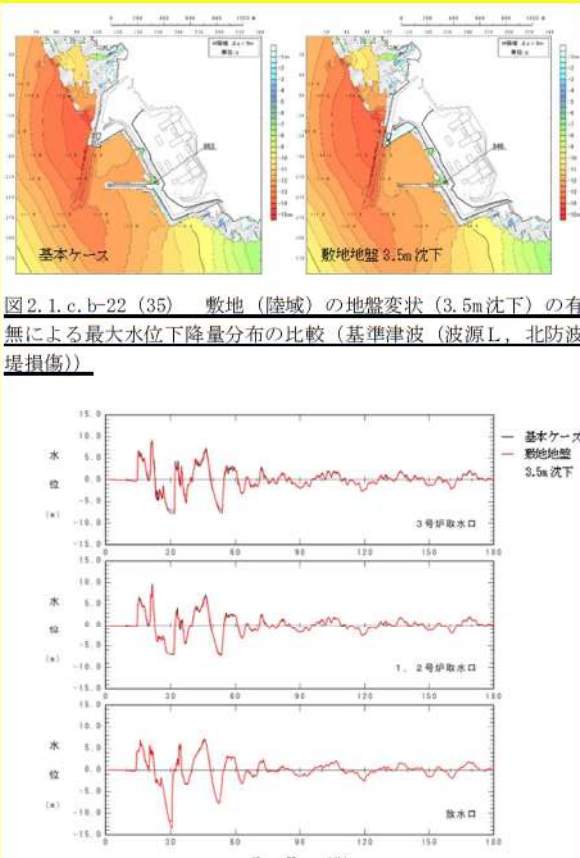
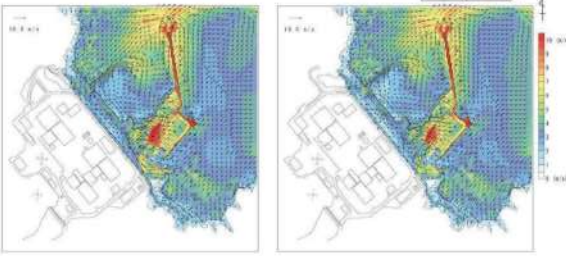
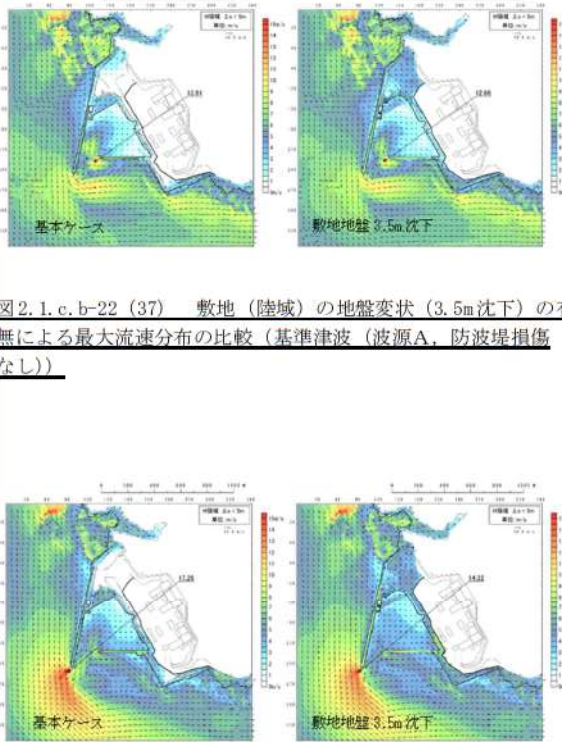


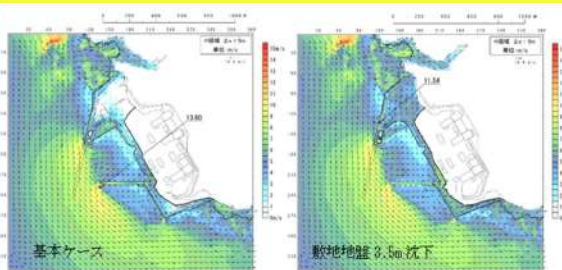
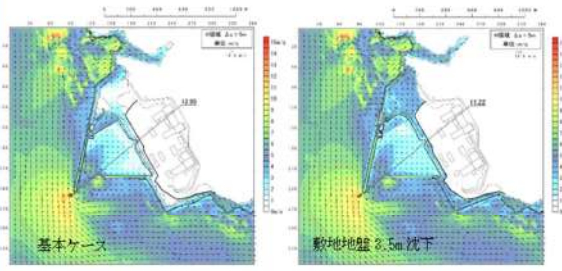
図2.1.c.b-22 (34) 敷地 (陸域) の地盤変状 (3.5m沈下) の有無による水位時刻歴波形の比較 (基準津波 (波源K, 南防波堤損傷))

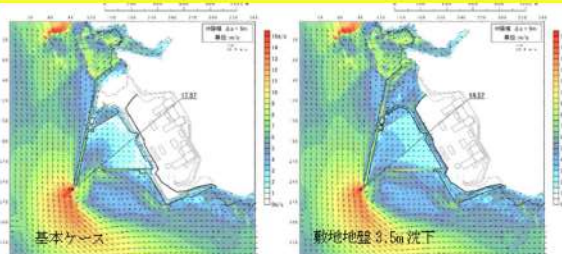
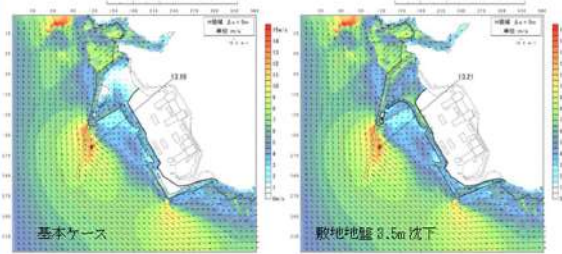
【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

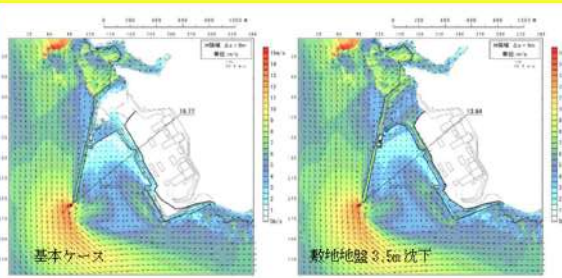
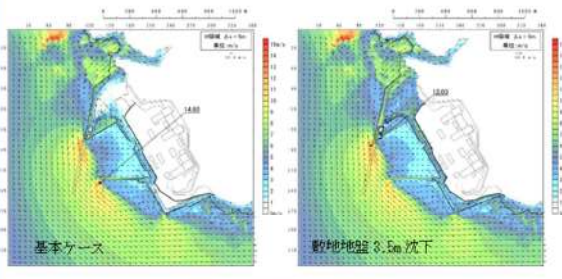
【女川、島根】発電所立地の相違
【女川、島根】基準津波の相違

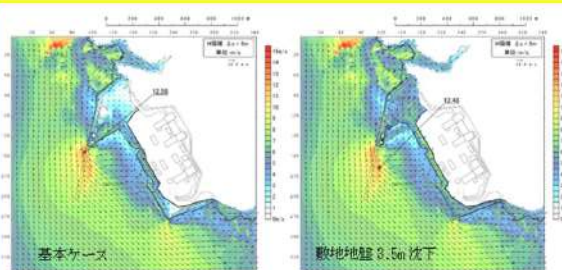
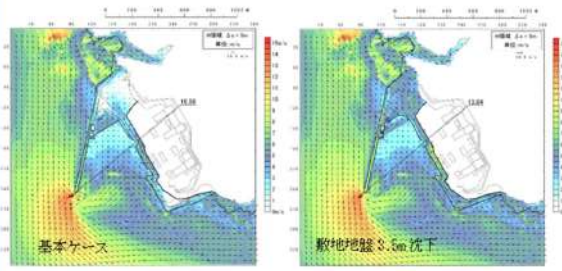
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>Figure 2.1.c.b-22 (35) consists of two contour maps of the land subsidence area. The left map is labeled '基本ケース' (Basic Case) and the right map is labeled '敷地地盤 3.5m 沈下' (Site Ground 3.5m Subsidence). Both maps show the same geographical area with contour lines representing subsidence levels. The right map shows a more pronounced subsidence area compared to the basic case.</p> <p>Figure 2.1.c.b-22 (36) consists of three time-series plots of water level (水位) in meters (m) over a period of 180 minutes (時間 (分)). The plots are for '3号炉取水口' (3rd reactor water intake), '1, 2号炉取水口' (1st and 2nd reactor water intake), and '放水口' (Discharge point). Each plot compares the '基本ケース' (Basic Case, shown as a black line) and the '敷地地盤 3.5m 沈下' (Site Ground 3.5m Subsidence, shown as a red line). The plots show that the water level fluctuations are significantly reduced in the subsidence case compared to the basic case.</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

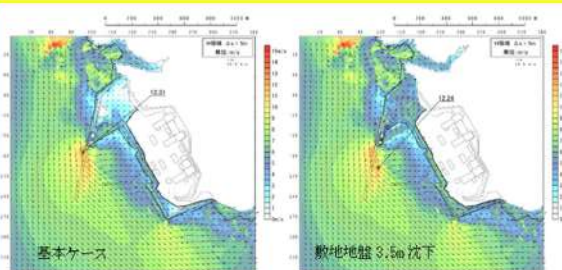
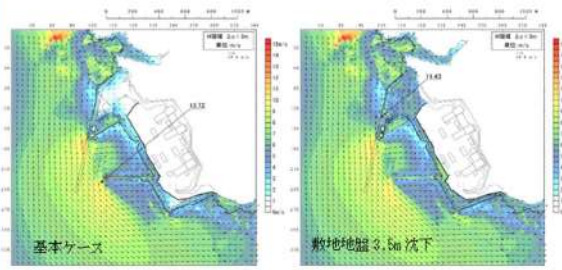
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="85 172 667 635" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">  <p data-bbox="120 453 604 478">1) 最大流速分布 (沈下なし) 2) 最大流速分布 (沈下 1m)</p> <p data-bbox="165 491 591 545">図 33 沈下の有無に対する最大流速分布の比較 (上昇側基準津波, 防波堤あり)</p> <div data-bbox="309 577 654 619" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 比較のため, 5. (4)項の内容を再掲 </div> </div>		<div data-bbox="1281 172 1859 1056" style="border: 1px solid yellow; padding: 5px;">  <p data-bbox="1281 491 1859 577">図 2.1.c.b-22 (37) 敷地(陸域)の地盤変状(3.5m沈下)の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源A, 防波堤損傷なし))</p> <p data-bbox="1281 957 1859 1043">図 2.1.c.b-22 (38) 敷地(陸域)の地盤変状(3.5m沈下)の有無による最大流速分布の比較 (基準津波 (波源B, 防波堤損傷なし))</p> </div>	<p data-bbox="1881 491 2136 545">【女川, 島根】発電所立地の相違 【女川, 島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 957 2136 1011">【女川, 島根】発電所立地の相違 【女川, 島根】基準津波の相違</p>

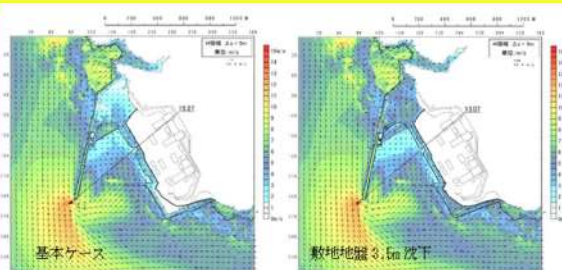
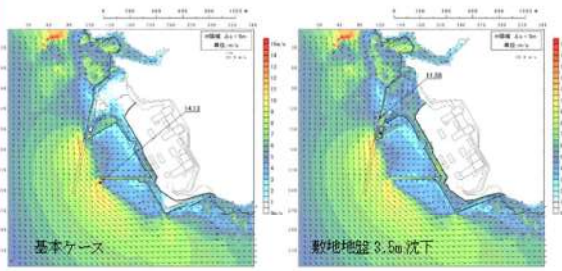
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-22 (39) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源B，北防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 957">図 2.1.c.b-22 (40) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源C，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1881 454 2139 518">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2139 933">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

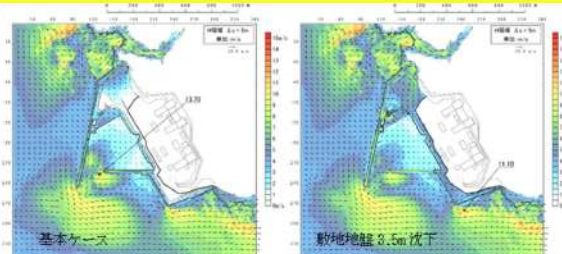
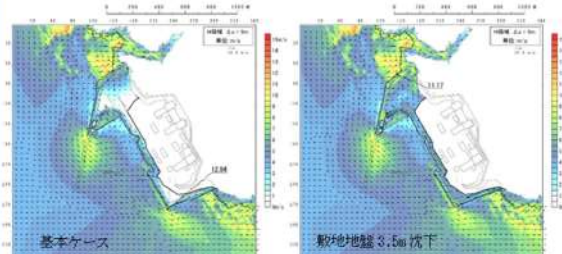
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 430 1848 518">図 2.1.c.b-22 (41) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1288 829 1848 917">図 2.1.c.b-22 (42) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 430 2150 486">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 829 2150 885">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

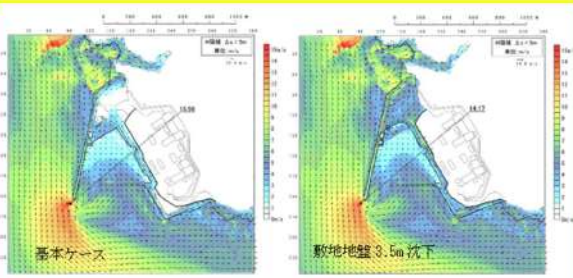
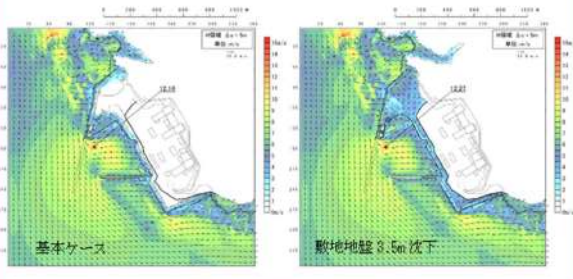
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 542">図 2.1.c.b-22 (43) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 949">図 2.1.c.b-22 (44) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 518">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2139 925">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

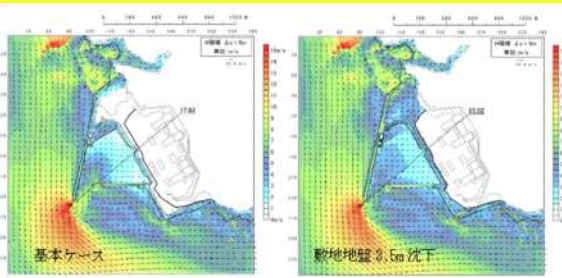
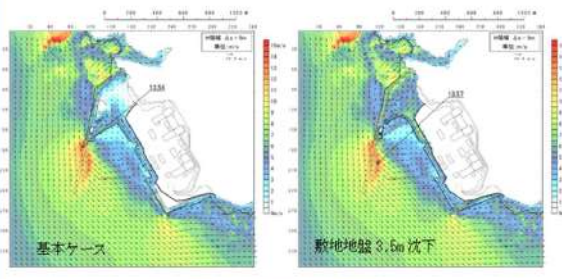
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-22 (45) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 E、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 957">図 2.1.c.b-22 (46) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 E、南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 454 2139 518">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2139 933">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-22 (47) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 F、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 845 1848 933">図 2.1.c.b-22 (48) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 F、北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 845 2150 909">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-22 (49) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 957">図 2.1.c.b-22 (50) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源H，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 510">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2150 925">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 430 1848 518">図 2.1.c.b-22 (51) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 I，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1288 837 1848 925">図 2.1.c.b-22 (52) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 J，北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 430 2150 486">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 837 2150 893">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-22 (53) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源K，南防波堤損傷））</p>  <p>図 2.1.c.b-22 (54) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源L，北防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-22 (55) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大流速分布の比較（最大流速波源（波源K，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 957">図 2.1.c.b-22 (56) 敷地（陸域）の地盤変状（3.5m沈下）の有無による最大流速分布の比較（（最大流速波源（波源K，北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2150 933">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

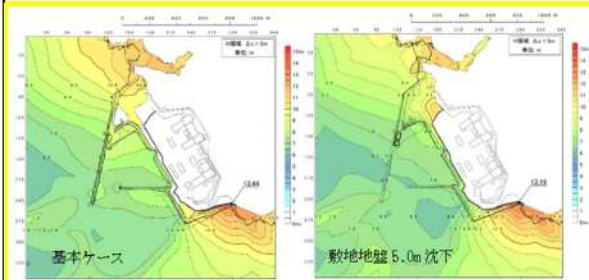


図 2.1.c.b-23 (1) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源A，防波堤損傷なし））

【女川，島根】発電所立地の相違
【女川，島根】基準津波の相違

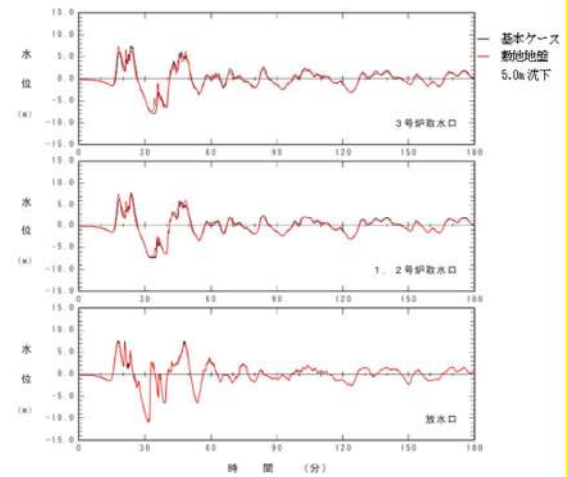
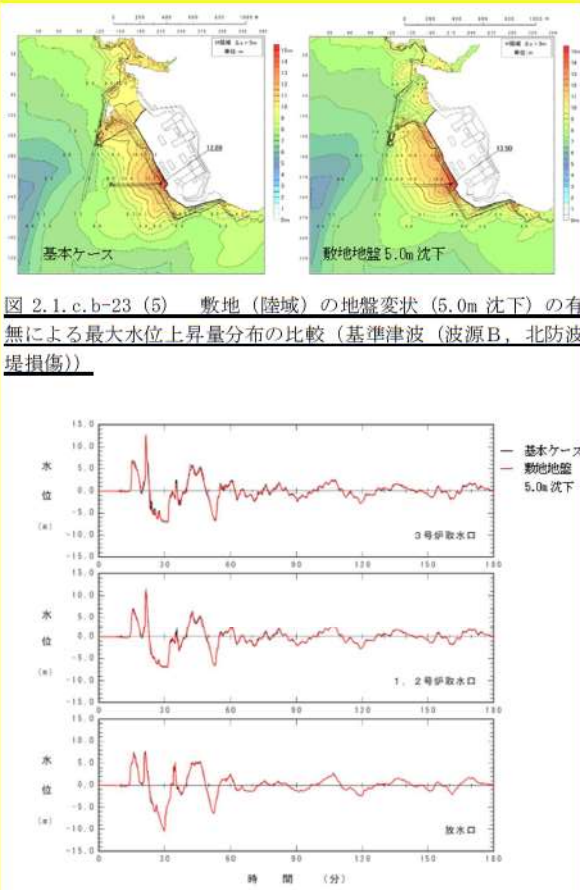
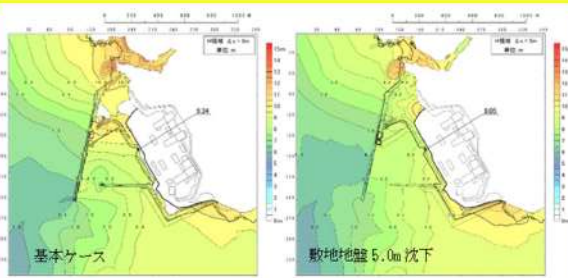
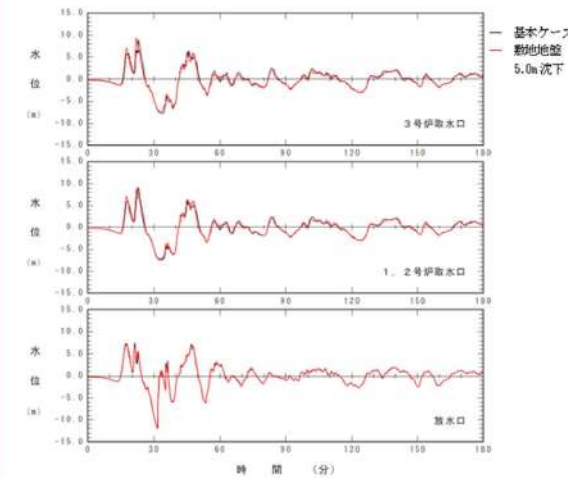


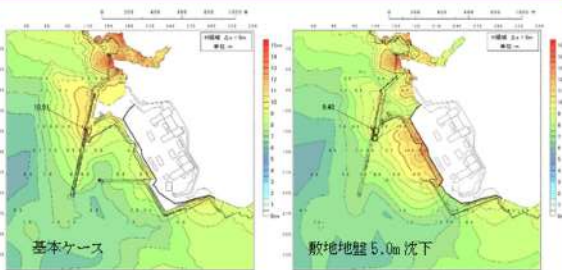
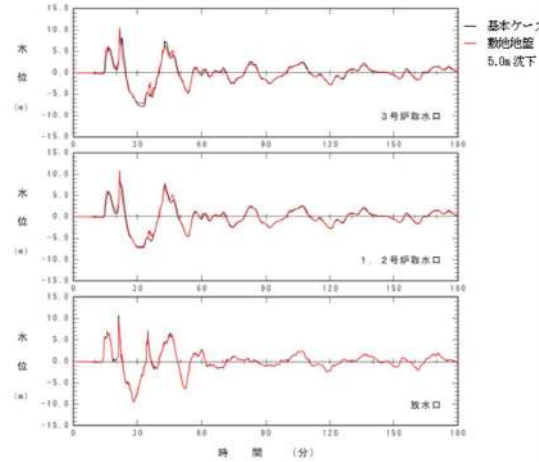
図 2.1.c.b-23 (2) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源A，防波堤損傷なし））

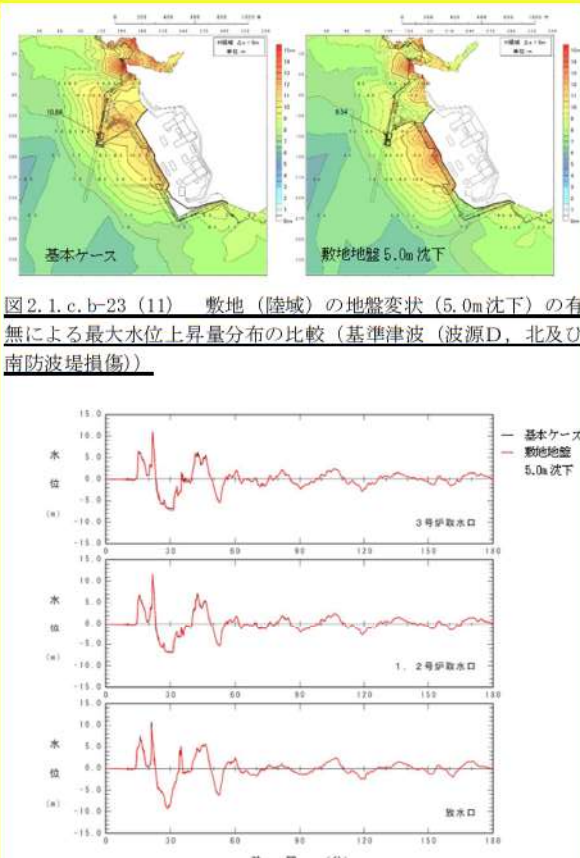
【女川，島根】発電所立地の相違
【女川，島根】基準津波の相違

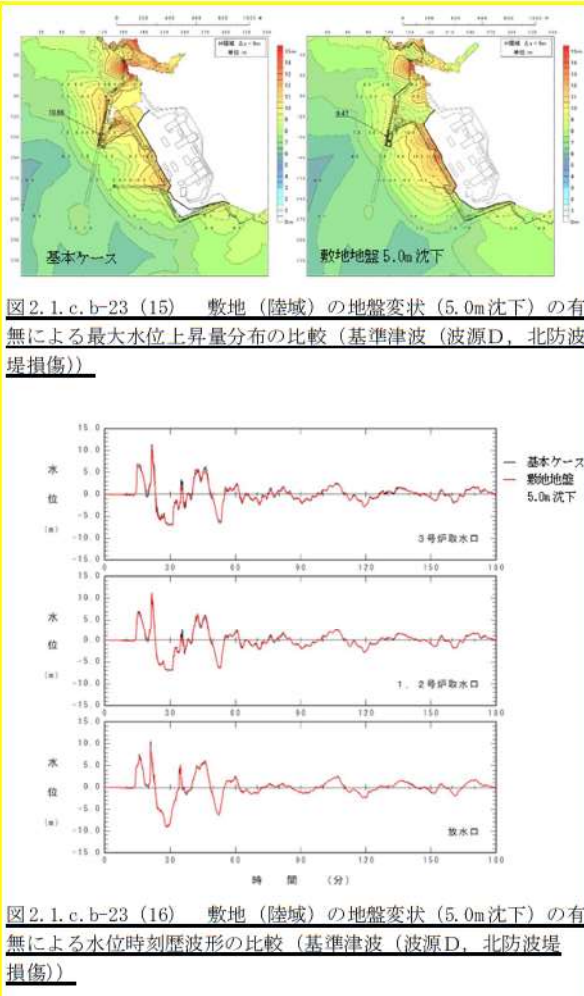
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<p>図 2.1.c.b-23 (3) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源B，防波堤損傷なし））</p> <p>図 2.1.c.b-23 (4) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源B，防波堤損傷なし））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-23 (5) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源B，北防波堤損傷））</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>図 2.1.c.b-23 (6) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源B，北防波堤損傷））</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>	

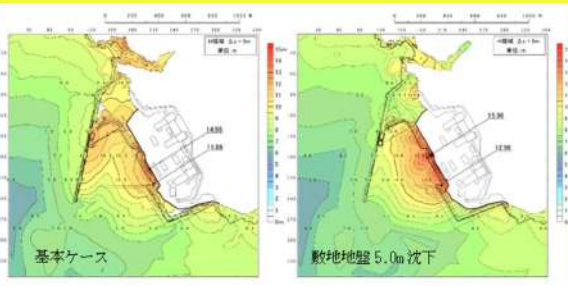
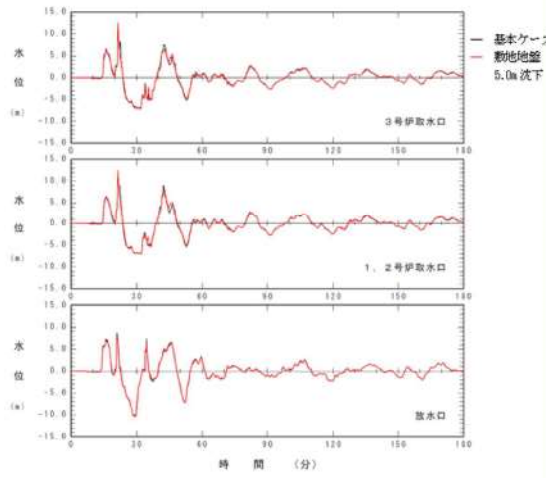
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1854 542">図 2.1.c.b-23 (7) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源C，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1288 1077 1854 1157">図 2.1.c.b-23 (8) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源C，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1881 462 2150 510">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1077 2150 1125">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

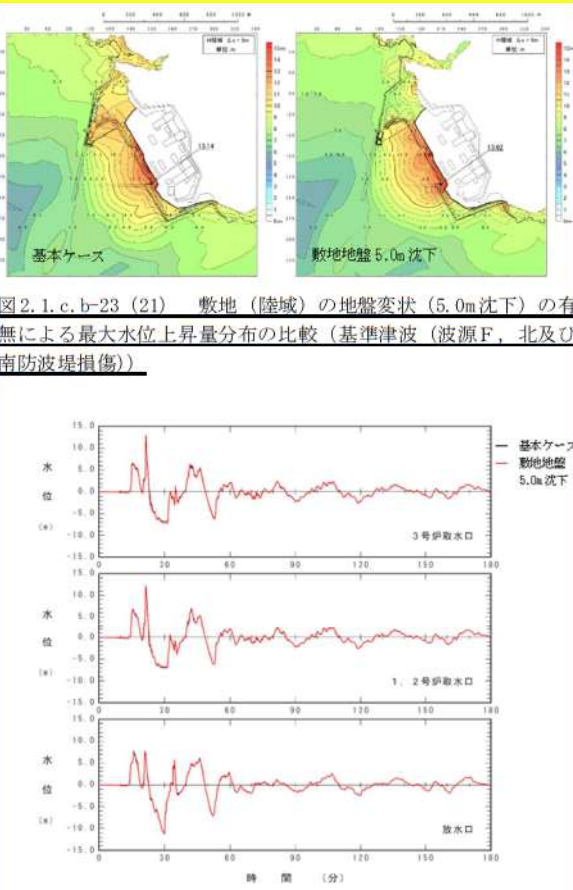
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1294 459 1854 545">図 2.1.c.b-23 (9) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1294 1072 1854 1158">図 2.1.c.b-23 (10) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1890 459 2136 481">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1890 491 2136 513">【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1890 1072 2136 1094">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1890 1104 2136 1126">【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>Figure 2.1.c.b-23 (11) consists of two contour maps of the land area around the power plant. The left map is labeled '基本ケース' (Basic Case) and the right map is labeled '敷地地盤 5.0m 沈下' (Site ground 5.0m subsidence). Both maps show the maximum water level rise distribution for a standard tsunami (wave source D, north and south defense dam damage). The right map shows a higher water level rise compared to the basic case.</p> <p>Figure 2.1.c.b-23 (12) consists of three time-series plots of water level (m) versus time (min). The plots are for '3号炉取水口' (3rd reactor intake), '1, 2号炉取水口' (1, 2nd reactor intake), and '放水口' (Discharge port). Each plot compares the '基本ケース' (Basic Case, black line) and '敷地地盤 5.0m 沈下' (Site ground 5.0m subsidence, red line). The red lines show significantly higher water level peaks and longer durations compared to the black lines.</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>Figure 2.1.c.b-23 (15) consists of two contour maps of the land subsidence in the area around the power plants. The left map is labeled '基本ケース' (Basic Case) and the right map is '敷地地盤 5.0m 沈下' (Site Ground 5.0m Subsidence). Both maps show a color-coded scale of subsidence from 0 to 20 meters. Below the maps is Figure 2.1.c.b-23 (16), which contains three vertically stacked line graphs showing water level time-series. The y-axis is '水位 (m)' (Water Level (m)) ranging from -15.0 to 15.0, and the x-axis is '時間 (分)' (Time (min)) ranging from 0 to 180. The three graphs are for '3号炉取水口' (3rd reactor intake), '1, 2号炉取水口' (1st and 2nd reactor intakes), and '放水口' (Discharge point). Each graph compares the '基本ケース' (Basic Case, black line) and '敷地地盤 5.0m 沈下' (Site Ground 5.0m Subsidence, red line). The graphs show that the 5.0m subsidence case results in significantly larger and more frequent water level fluctuations compared to the basic case.</p> <p>図 2.1.c.b-23 (15) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D、北防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.b-23 (16) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D、北防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>図 2.1.c.b-23 (17) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源E、北及び南防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.b-23 (18) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源E、北及び南防波堤損傷））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1854 542">図 2.1.c.b-23 (19) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源 E、南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 1069 1854 1149">図 2.1.c.b-23 (20) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 E、南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 486">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 494 2139 518">【女川、島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1069 2139 1093">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1101 2139 1125">【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1859 542">図 2.1.c.b-23 (21) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源 F、北及び南防波堤損傷））</p> <p data-bbox="1288 1077 1859 1157">図 2.1.c.b-23 (22) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 F、北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 462 2150 510">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 1077 2150 1125">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

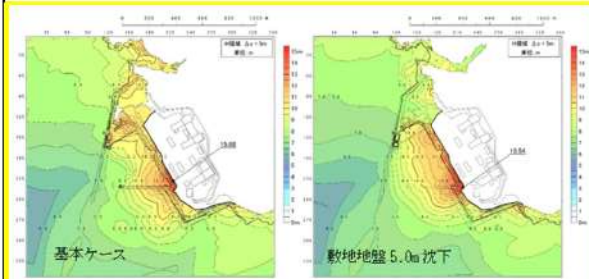


図 2. 1. c. b-23 (23) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源F，北防波堤損傷））

【女川，島根】発電所立地の相違
【女川，島根】基準津波の相違

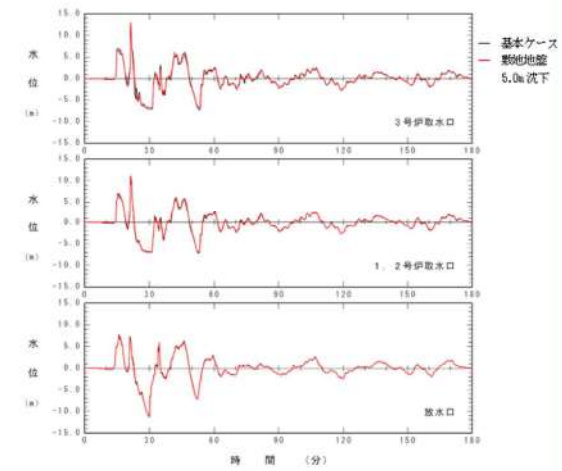


図 2. 1. c. b-23 (24) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源F，北防波堤損傷））

【女川，島根】発電所立地の相違
【女川，島根】基準津波の相違

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

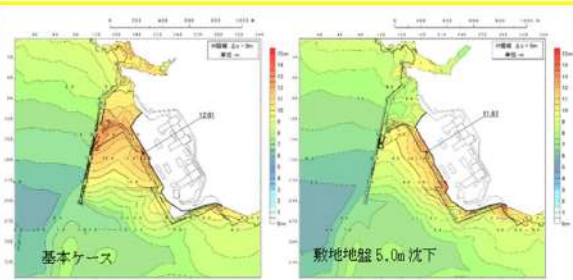


図 2.1.c.b-23 (25) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））

【女川，島根】発電所立地の相違

【女川，島根】基準津波の相違

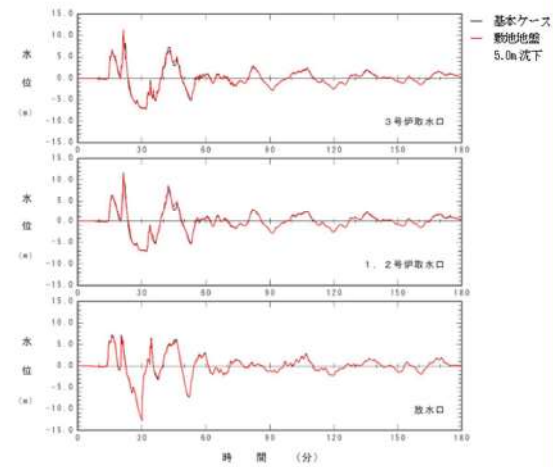
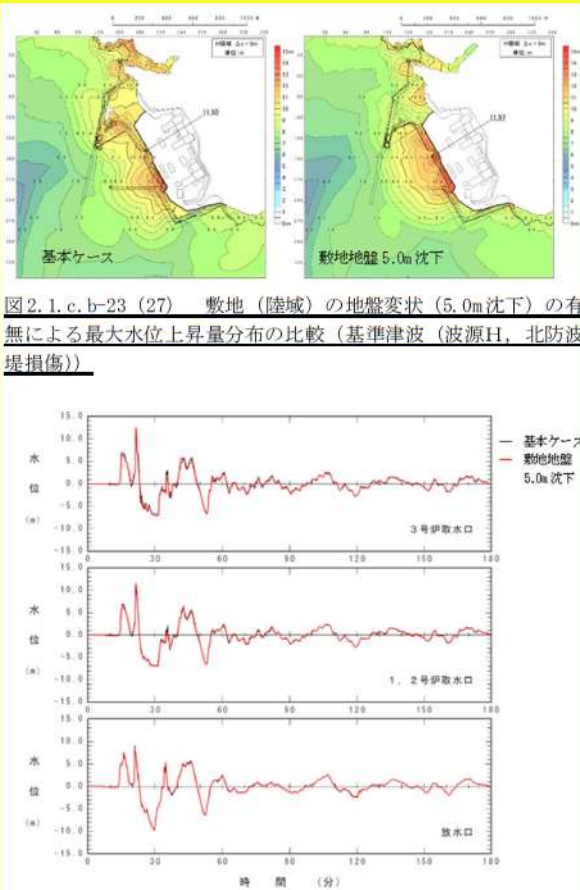
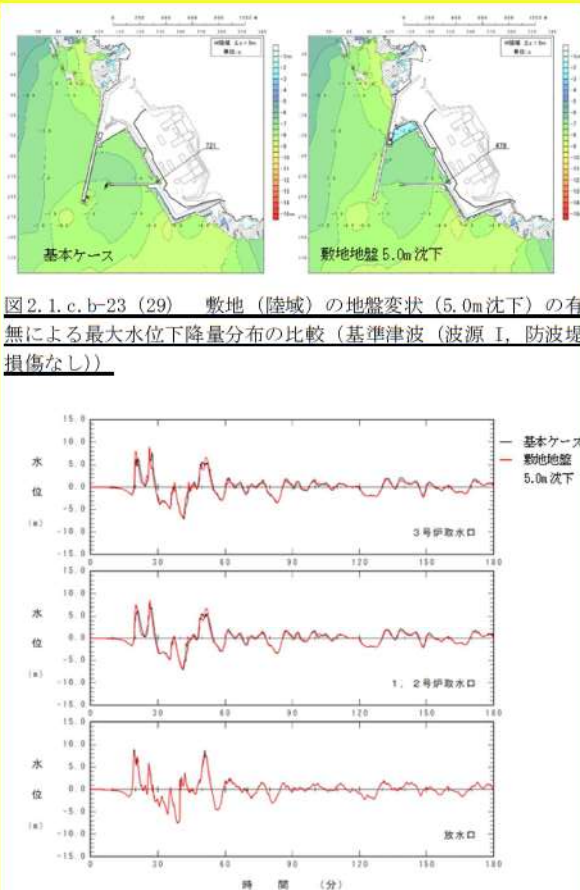


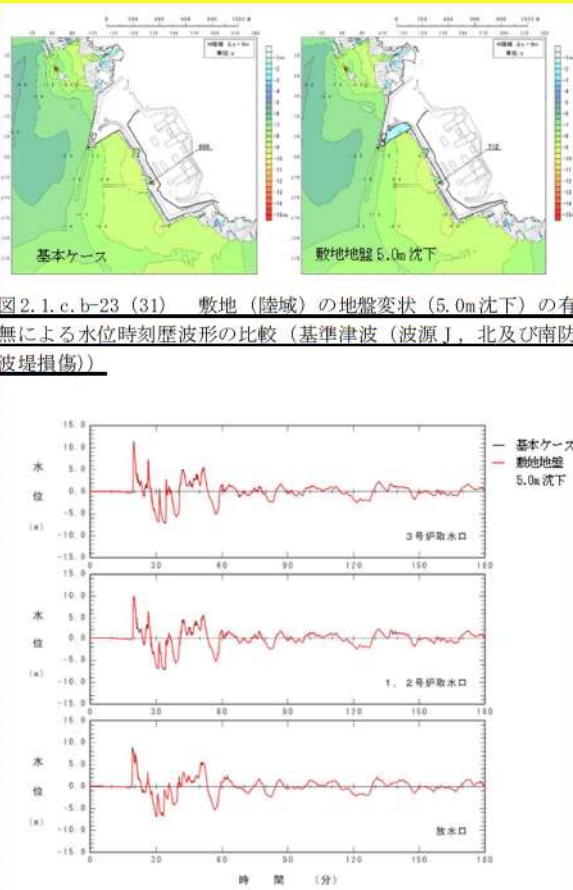
図 2.1.c.b-23 (26) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））

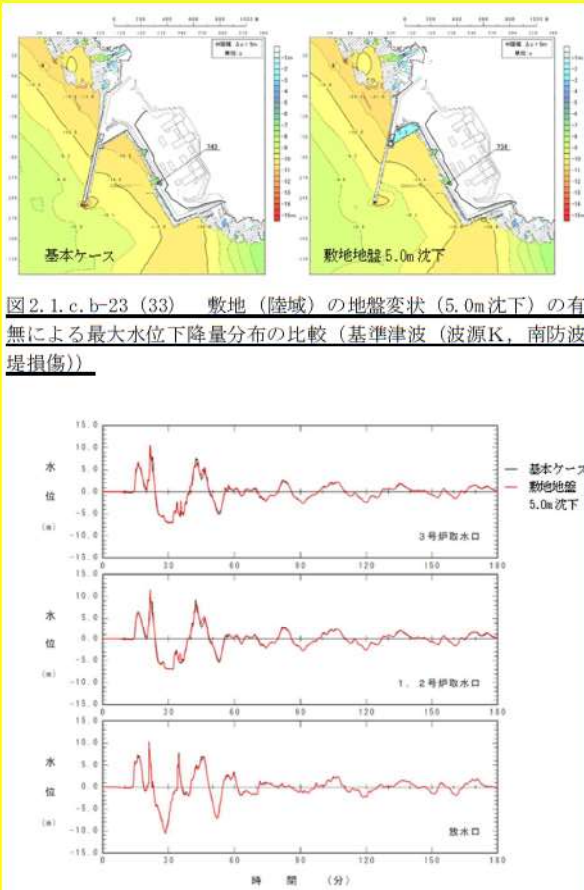
【女川，島根】発電所立地の相違

【女川，島根】基準津波の相違

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>Figure 2.1.c.b-23 (27) consists of two topographic maps of the land area. The left map is labeled '基本ケース' (Basic Case) and the right map is labeled '敷地地盤 5.0m 沈下' (Land Area Ground 5.0m Subsidence). Both maps show contour lines and a color-coded elevation scale. The right map shows a significant change in the land area's topography due to the 5.0m subsidence.</p> <p>Figure 2.1.c.b-23 (28) consists of three time-series plots of water level (水位) in meters (m) versus time (時間) in minutes (分). The plots are for '3号伊取水口' (No. 3 Itoke Water Intake), '1. 2号伊取水口' (No. 1, 2 Itoke Water Intake), and '放水路' (Discharge Channel). Each plot compares the '基本ケース' (Basic Case, black line) and the '敷地地盤 5.0m 沈下' (Land Area Ground 5.0m Subsidence, red line). The plots show that the water level fluctuations are significantly reduced in the subsidence case compared to the basic case.</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

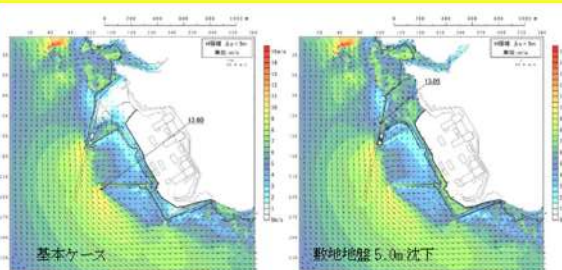
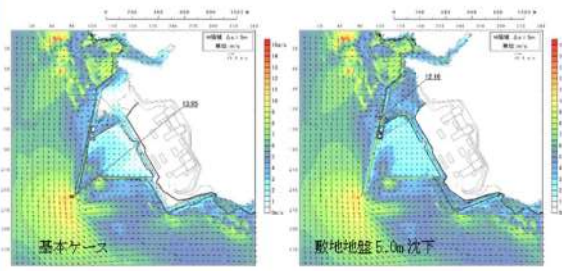
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-23 (29) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源 I，防波堤損傷なし））</p> <p>図 2.1.c.b-23 (30) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 I，防波堤損傷なし））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

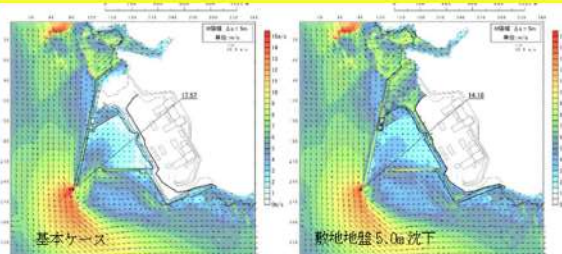
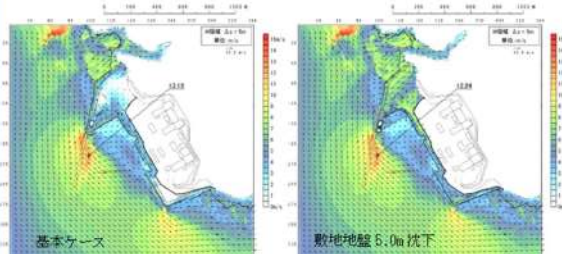
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-23 (31) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 J、北及び南防波堤損傷））</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p>図 2.1.c.b-23 (32) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 J、北及び南防波堤損傷））</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>	

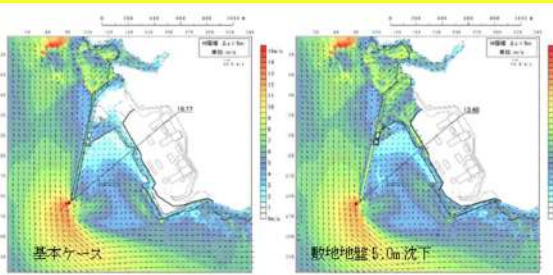
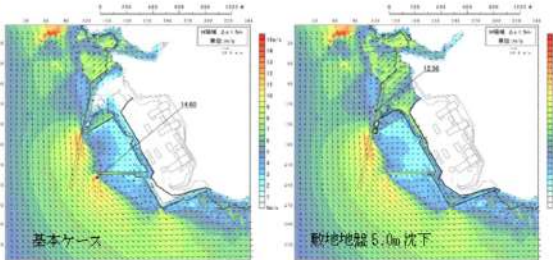
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-23 (33) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源K、南防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.b-23 (34) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源K、南防波堤損傷））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

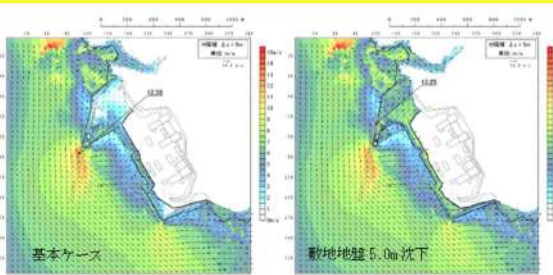
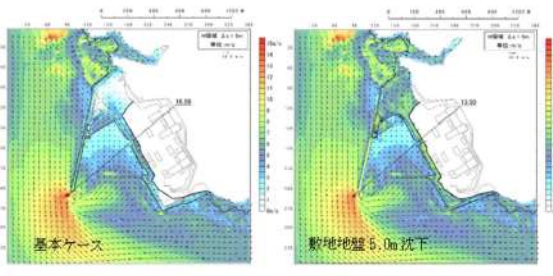
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<div data-bbox="1279 165 1863 446" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1279 459 1863 545" data-label="Caption"> <p>図 2.1.c.b-23 (35) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源 L，北防波堤損傷））</p> </div> <div data-bbox="1279 571 1863 1037" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1279 1045 1863 1125" data-label="Caption"> <p>図 2.1.c.b-23 (36) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 L，北防波堤損傷））</p> </div>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

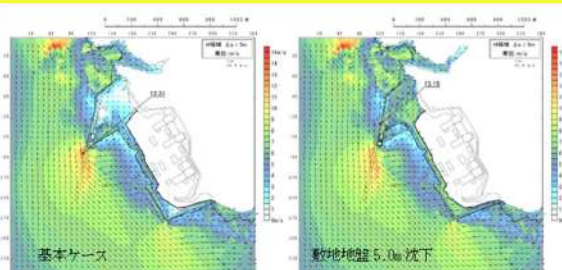
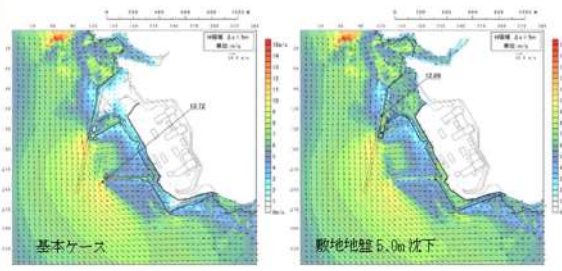
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>図 2.1.c.b-23 (37) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源A，防波堤損傷なし））</p> <p>図 2.1.c.b-23 (38) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源B，防波堤損傷なし））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

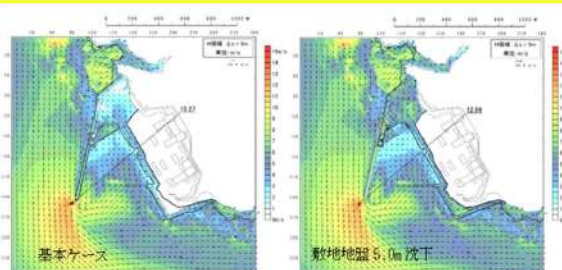
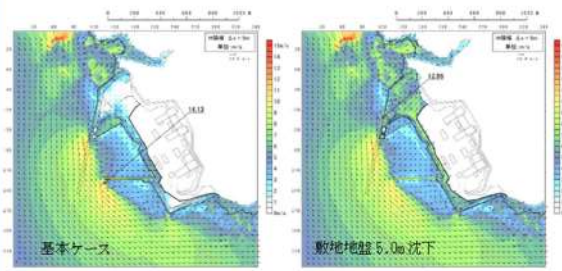
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-23 (39) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源B，北防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 957">図 2.1.c.b-23 (40) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源C，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 518">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2150 933">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

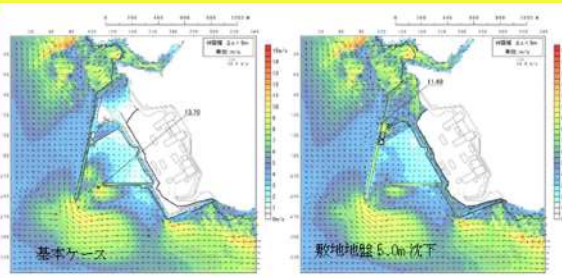
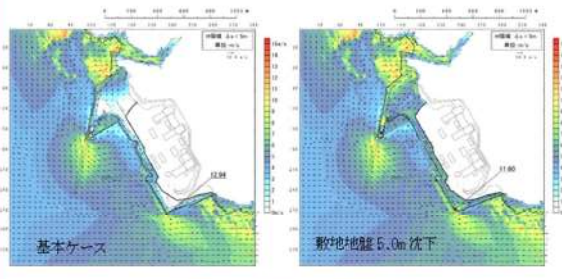
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 430 1848 518">図 2.1.c.b-23 (41) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1288 837 1848 925">図 2.1.c.b-23 (42) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 430 2139 454">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 462 2139 486">【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 837 2139 861">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2139 893">【女川，島根】基準津波の相違</p>

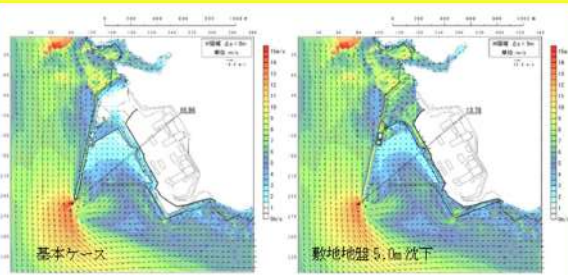
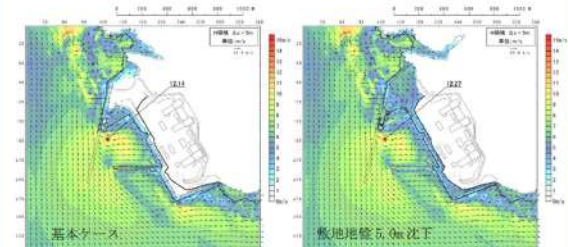
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 459 1861 544">図 2.1.c.b-23 (43) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1279 863 1861 948">図 2.1.c.b-23 (44) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 512">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 863 2136 916">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

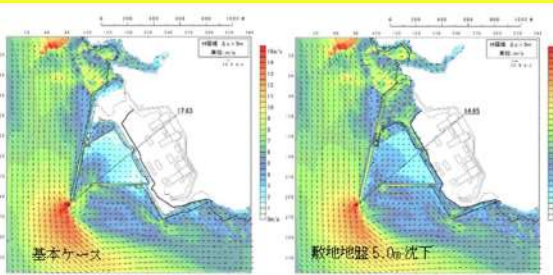
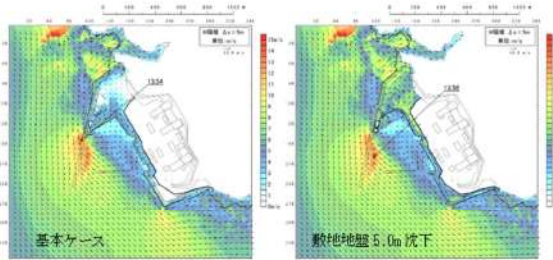
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1294 459 1845 542">図 2.1.c.b-23 (45) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 E、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1294 874 1845 957">図 2.1.c.b-23 (46) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 E、南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1890 459 2136 510">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1890 874 2136 925">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

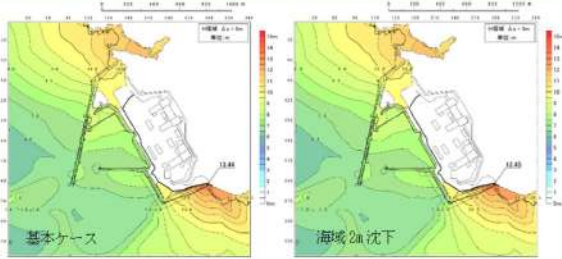
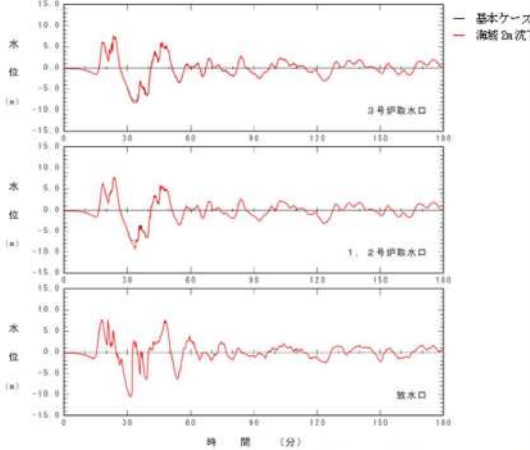
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-23 (47) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 F、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 957">図 2.1.c.b-23 (48) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 F、北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 454 2139 518">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2139 933">【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

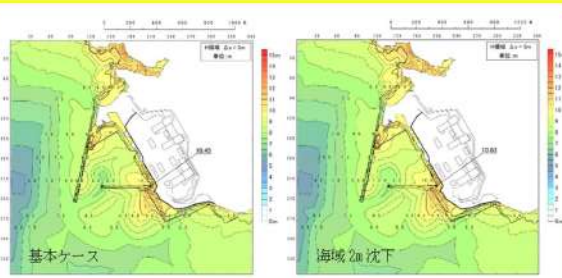
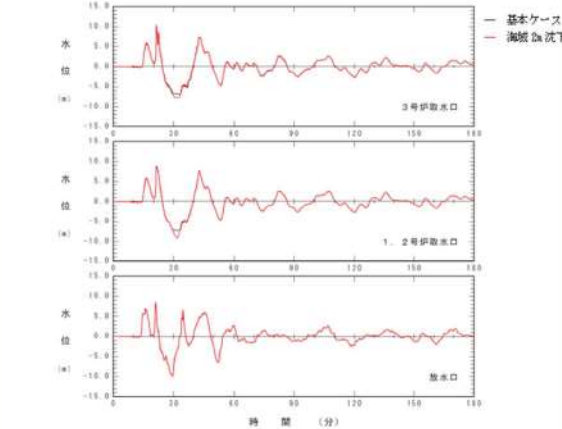
女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.b-23 (49) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 869 1848 957">図 2.1.c.b-23 (50) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源H，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 454 2139 518">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1881 869 2139 933">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

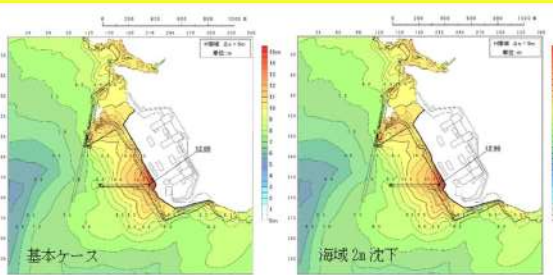
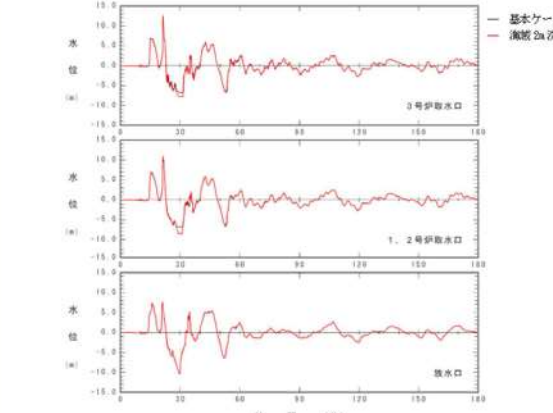
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-23 (51) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源Ⅰ，防波堤損傷なし））</p>  <p>図 2.1.c.b-23 (52) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源Ⅰ，北及び南防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.b-23 (53) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源K，南防波堤損傷））</p>  <p>図 2.1.c.b-23 (54) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源L，北防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 459 1861 544">図 2.1.c.b-23 (55) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（最大流速波源（波源K，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1279 863 1861 948">図 2.1.c.b-23 (56) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m沈下）の有無による最大流速分布の比較（最大流速波源（波源K，北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 512">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p> <p data-bbox="1883 863 2136 916">【女川，島根】発電所立地の相違 【女川，島根】基準津波の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 464 1861 515">図 2.1.c.c-6 (1) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源A，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1281 1015 1861 1066">図 2.1.c.c-6 (2) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源A，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1883 464 2136 483">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 1015 2136 1034">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1276 462 1863 518">図 2.1.c.c-6 (3) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源B，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1276 981 1863 1037">図 2.1.c.c-6 (4) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源B，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 486">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2139 1005">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 459 1861 512">図 2.1.c.c-6 (5) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源B、北防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1279 981 1861 1034">図 2.1.c.c-6 (6) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源B、北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 480">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 981 2136 1002">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

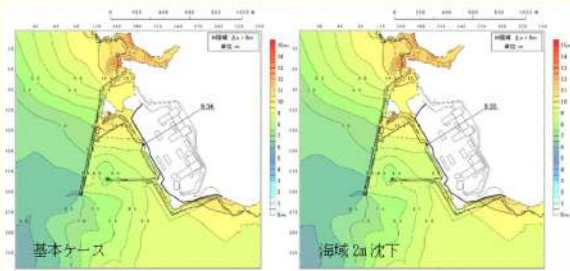


図 2.1.c.c-6 (7) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源C，防波堤損傷なし））

【女川、島根】発電所立地の相違

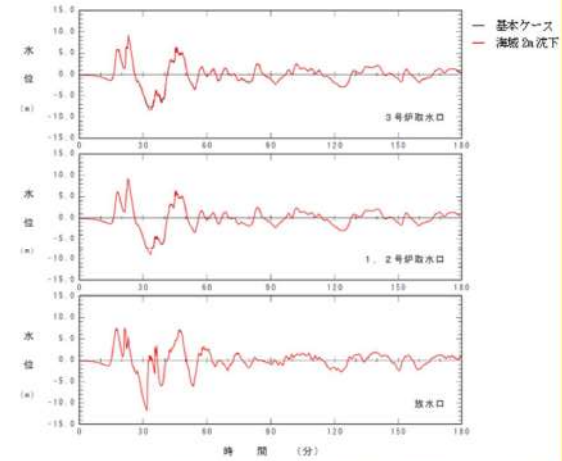
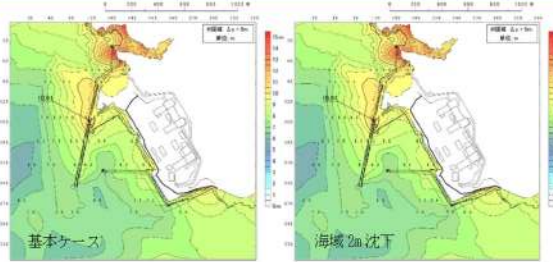
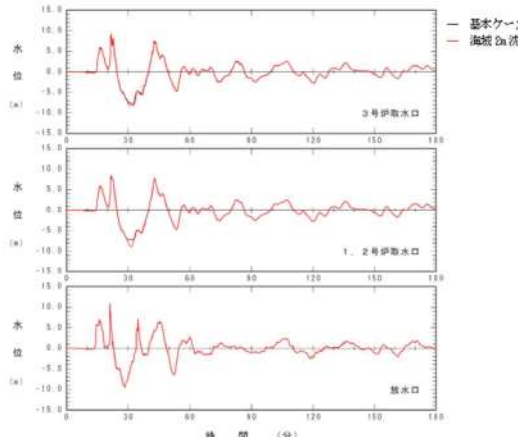
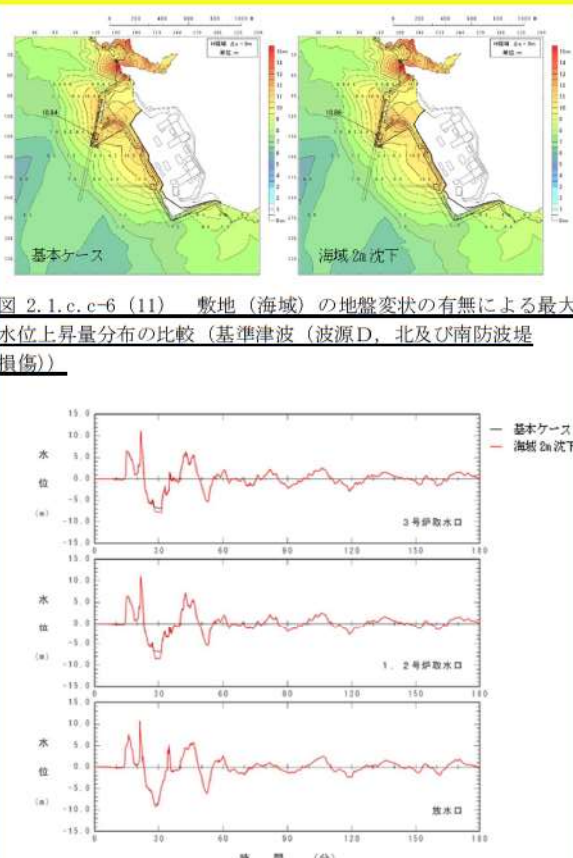


図 2.1.c.c-6 (8) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源C，防波堤損傷なし））

【女川、島根】発電所立地の相違

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1276 430 1863 486">図 2.1.c.c-6 (9) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1276 981 1863 1037">図 2.1.c.c-6 (10) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1881 430 2139 454">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2139 1005">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1859 542">図 2.1.c.c-6 (11) 敷地(海域)の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較(基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷))</p> <p data-bbox="1288 1045 1859 1093">図 2.1.c.c-6 (12) 敷地(海域)の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較(基準津波(波源D, 北及び南防波堤損傷))</p>	<p data-bbox="1881 462 2150 486">【女川, 島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1045 2150 1069">【女川, 島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

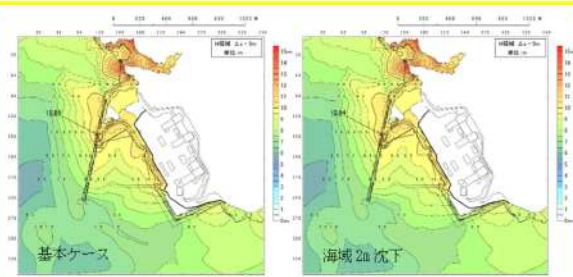


図 2.1.c.c-6 (13) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D，南防波堤損傷））

【女川，島根】発電所立地の相違

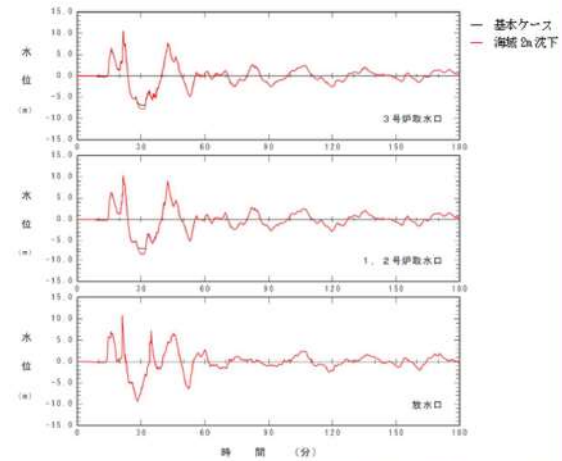
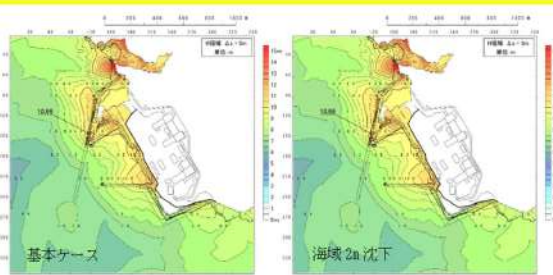
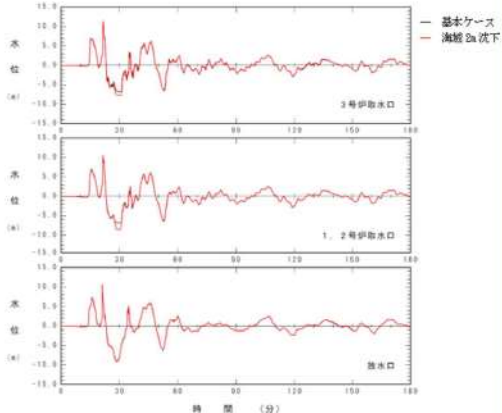


図 2.1.c.c-6 (14) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D，南防波堤損傷））

【女川，島根】発電所立地の相違

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 459 1861 515">図 2.1.c.c-6 (15) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源D、北防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1279 986 1861 1042">図 2.1.c.c-6 (16) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源D、北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 459 2136 483">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 986 2136 1010">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

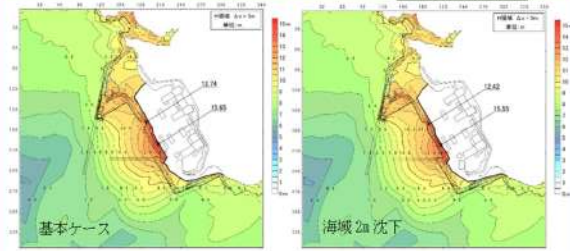


図 2.1.c.c-6 (17) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源 E、北及び南防波堤損傷））

【女川、島根】発電所立地の相違

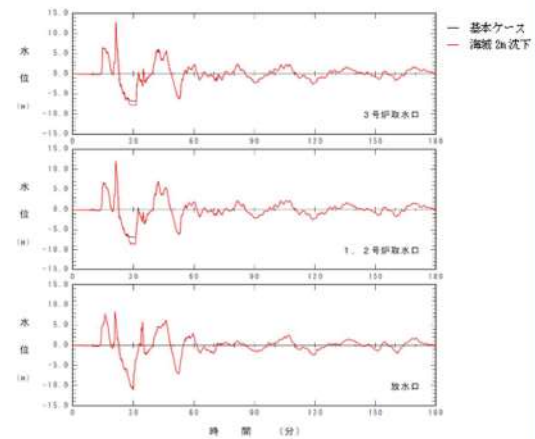
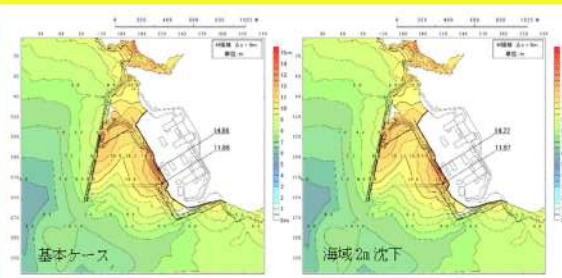
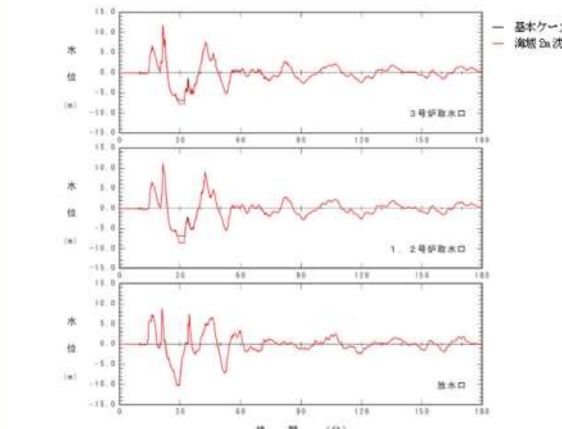
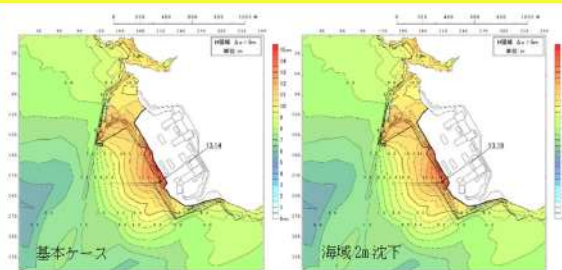
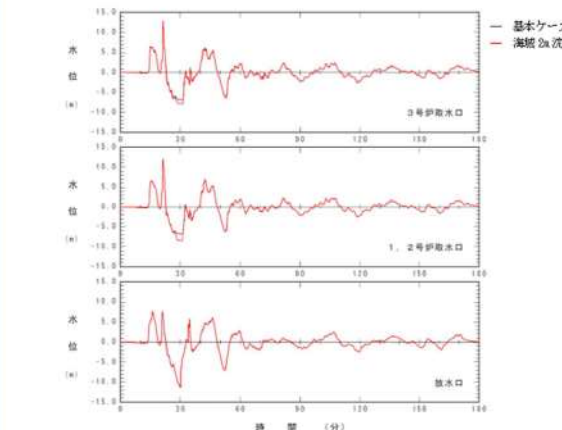
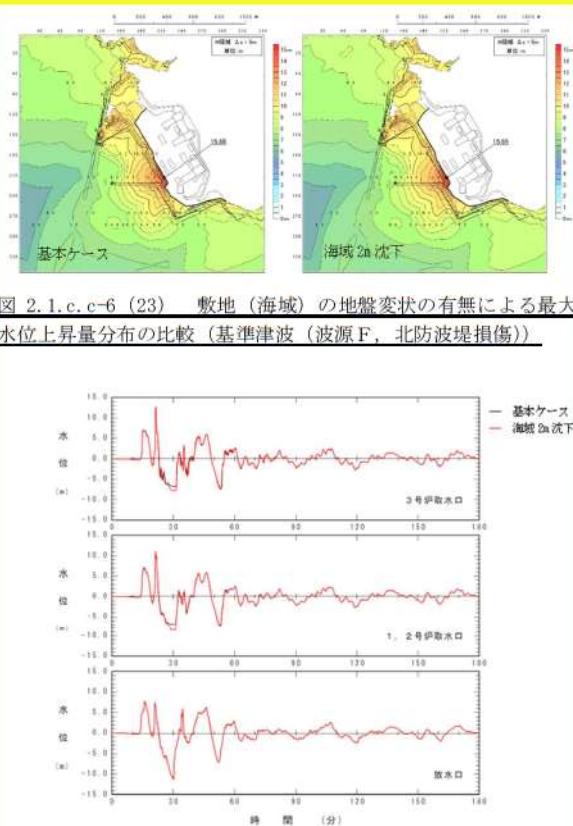


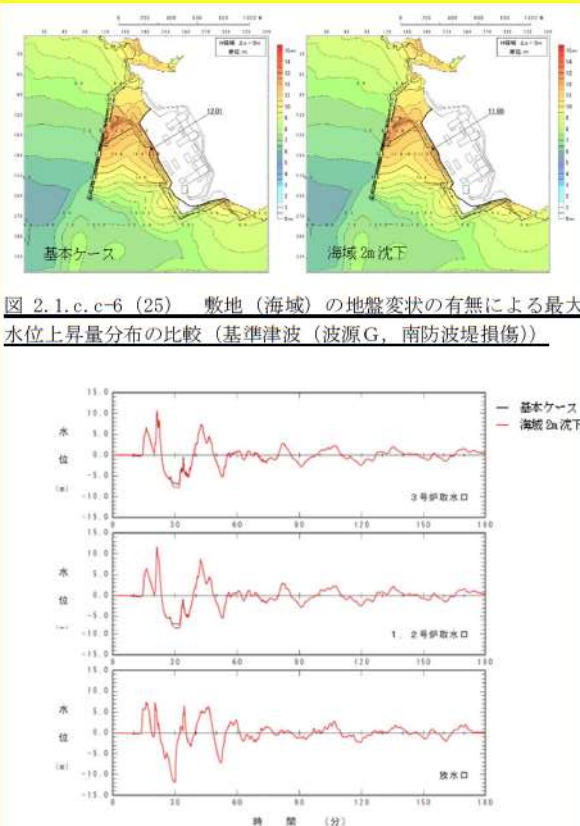
図 2.1.c.c-6 (18) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 E、北及び南防波堤損傷））

【女川、島根】発電所立地の相違

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1848 518">図 2.1.c.c-6 (19) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源E、南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 981 1848 1037">図 2.1.c.c-6 (20) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源E、南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 462 2139 486">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2139 1005">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 454 1848 542">図 2.1.c.c-6 (21) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源 F、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 1037 1848 1093">図 2.1.c.c-6 (22) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 F、北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 454 2150 486">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1037 2150 1069">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 462 1859 518">図 2.1.c.c-6 (23) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源F，北防波堤損傷））</p> <p data-bbox="1288 1013 1859 1069">図 2.1.c.c-6 (24) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源F，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 462 2150 486">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1013 2150 1037">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2 号炉	島根原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.c-6 (25) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.c-6 (26) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<p>図 2.1.c.c-6 (27) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源H, 北防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.c-6 (28) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源H, 北防波堤損傷））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉

島根原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

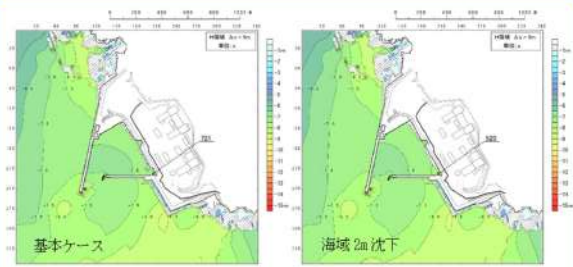


図 2.1.c.c-6 (29) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源 I, 防波堤損傷なし））

【女川，島根】発電所立地の相違

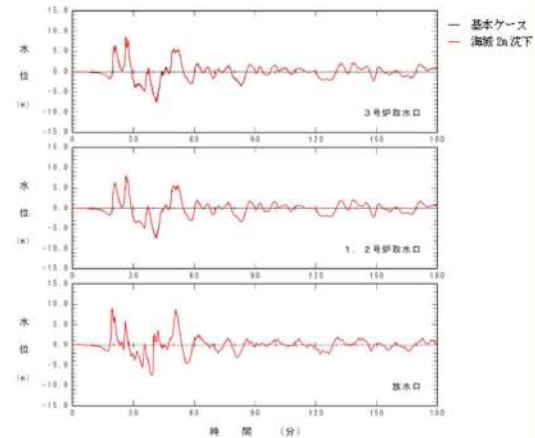
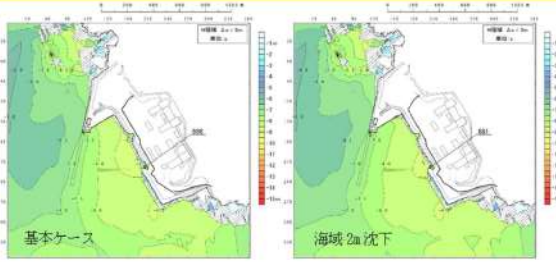
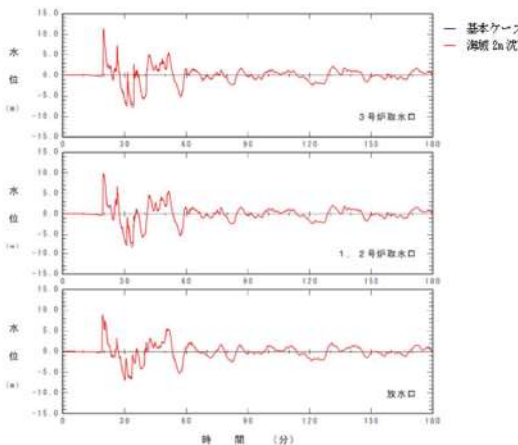
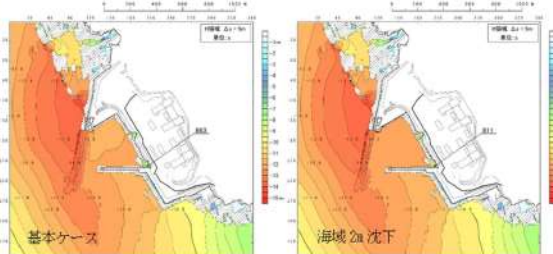
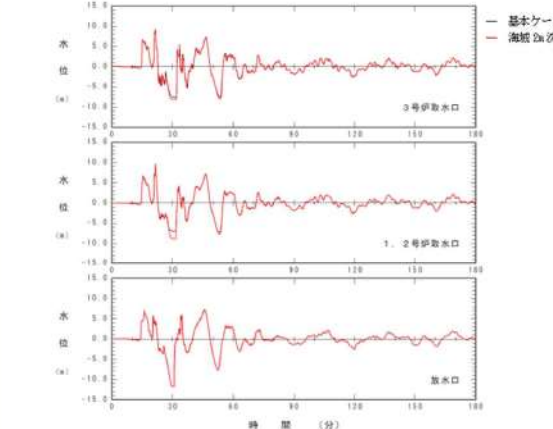


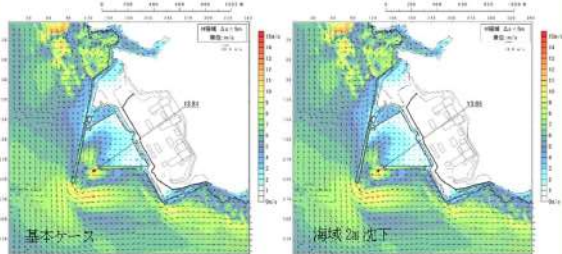
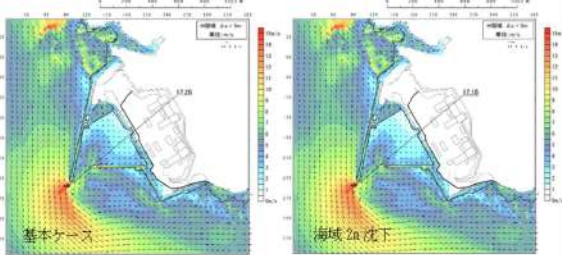
図 2.1.c.c-6 (30) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 I, 防波堤損傷なし））

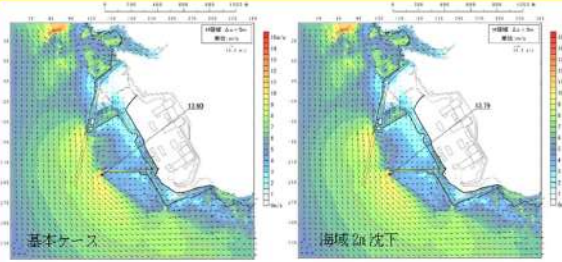
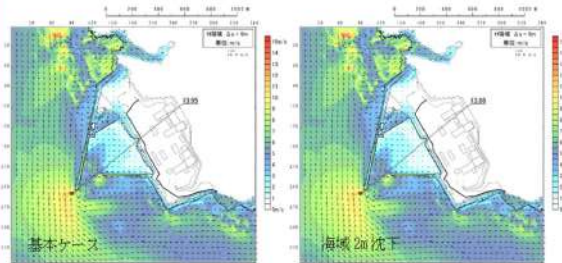
【女川，島根】発電所立地の相違

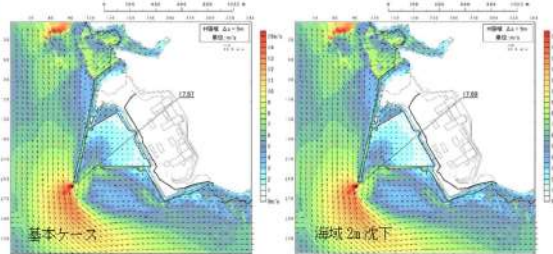
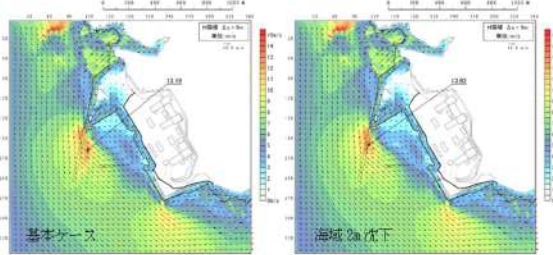
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1276 430 1859 518">図 2.1.c.c-6 (31) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源 I、北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1276 1013 1859 1069">図 2.1.c.c-6 (32) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源 I、北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 430 2150 454">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1013 2150 1037">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

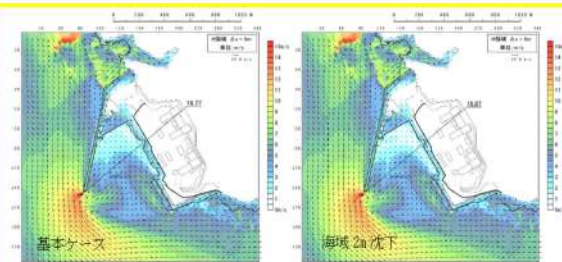
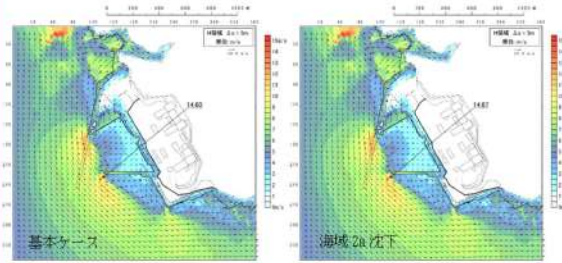
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		<p>図 2.1.c.c-6 (33) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源K, 南防波堤損傷））</p> <p>図 2.1.c.c-6 (34) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源K, 南防波堤損傷））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違</p>

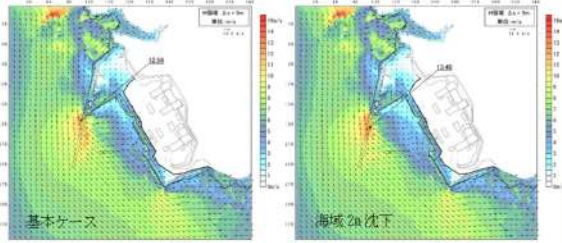
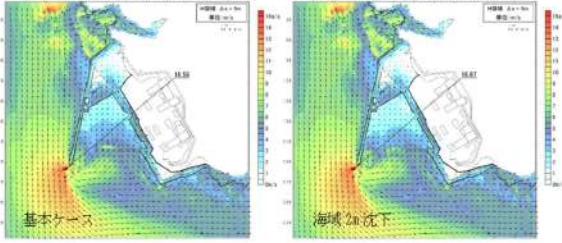
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1294 430 1845 486">図 2.1.c.c-6 (35) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源L、北防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1294 981 1845 1037">図 2.1.c.c-6 (36) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波（波源L、北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 430 2139 454">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 981 2139 1005">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

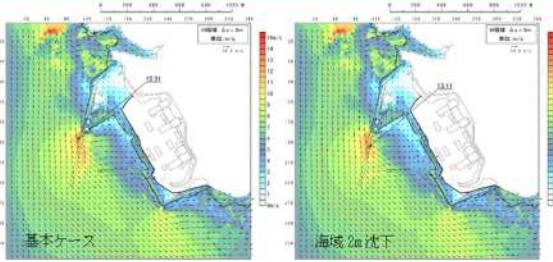
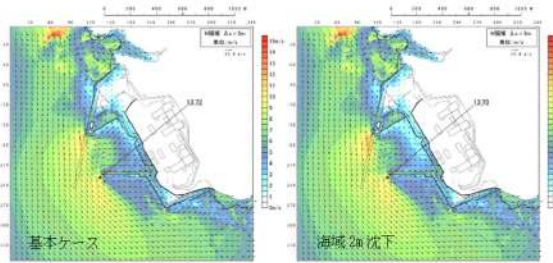
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 434 1863 486">図 2.1.c.c-6 (37) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源A、防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1281 810 1863 863">図 2.1.c.c-6 (38) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源B、防波堤損傷なし））</p>	<p data-bbox="1883 434 2136 454">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 810 2136 831">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

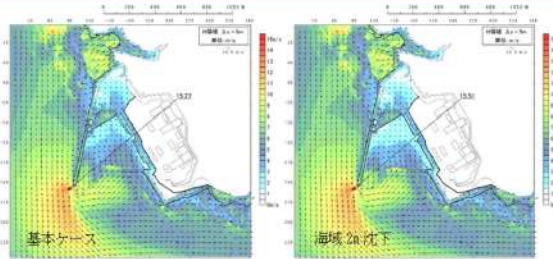
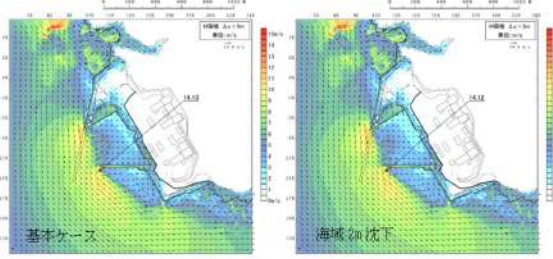
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.c-6 (39) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源B，北防波堤損傷））</p>  <p>図 2.1.c.c-6 (40) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源C，防波堤損傷なし））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違</p>

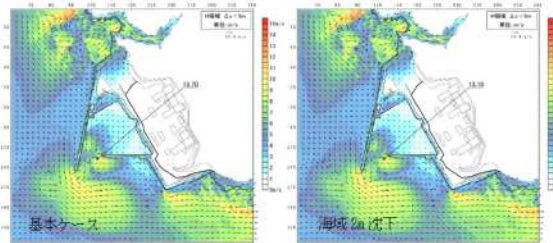
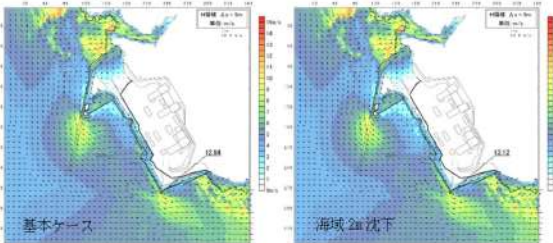
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 432 1861 486">図 2.1.c.c-6 (41) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1279 805 1861 861">図 2.1.c.c-6 (42) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 432 2136 454">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 805 2136 828">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

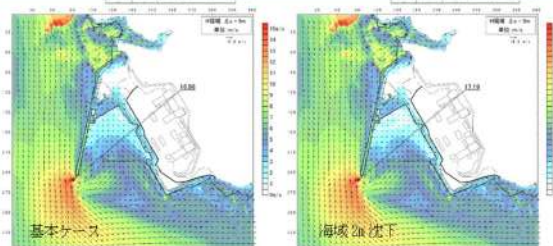
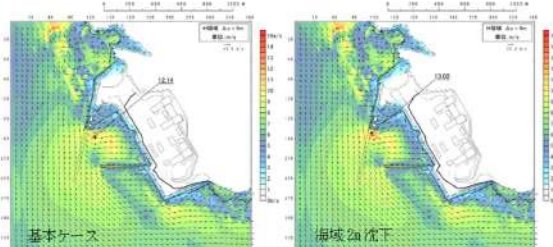
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 430 1848 486">図 2.1.c.c-6 (43) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1288 805 1848 861">図 2.1.c.c-6 (44) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源D，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 430 2139 454">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 805 2139 829">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

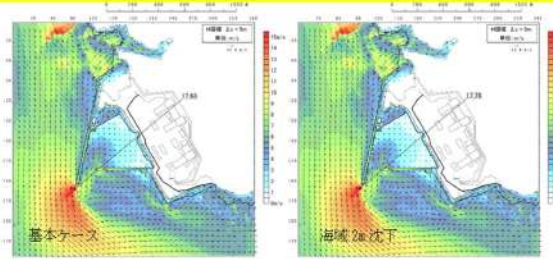
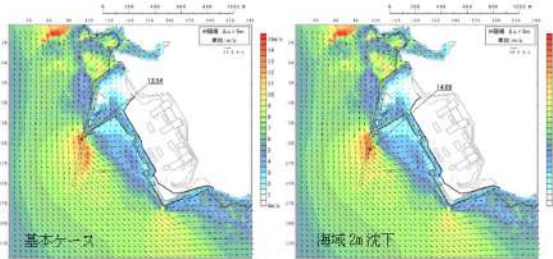
女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1281 434 1859 486">図 2.1.c.c-6 (45) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源E，北及び南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1281 817 1859 869">図 2.1.c.c-6 (46) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源E，南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1886 434 2136 454">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1886 817 2136 837">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.c-6 (47) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源F，北及び南防波堤損傷））</p>  <p>図 2.1.c.c-6 (48) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源F，北防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.c-6 (49) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源G，南防波堤損傷））</p>  <p>図 2.1.c.c-6 (50) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源H，北防波堤損傷））</p>	<p>【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.c.c-6 (51) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 I、防波堤損傷なし））</p>  <p>図 2.1.c.c-6 (52) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源 I、北及び南防波堤損傷））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1276 430 1863 486">図 2.1.c.c-6 (53) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源K，南防波堤損傷））</p>  <p data-bbox="1276 805 1863 861">図 2.1.c.c-6 (54) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（基準津波（波源L，北防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1881 430 2139 454">【女川，島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 805 2139 829">【女川，島根】発電所立地の相違</p>

女川原子力発電所 2号炉	島根原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 432 1861 485">図 2.1.c.c-6 (55) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（最大流速波源（波源K、防波堤損傷なし））</p>  <p data-bbox="1279 809 1861 893">図 2.1.c.c-6 (56) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較（最大流速波源（波源K、北及び南防波堤損傷））</p>	<p data-bbox="1883 432 2136 453">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 809 2136 829">【女川、島根】発電所立地の相違</p>

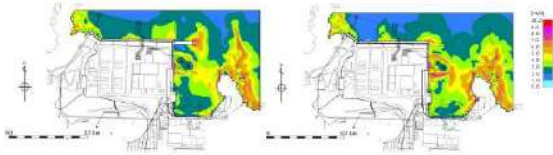
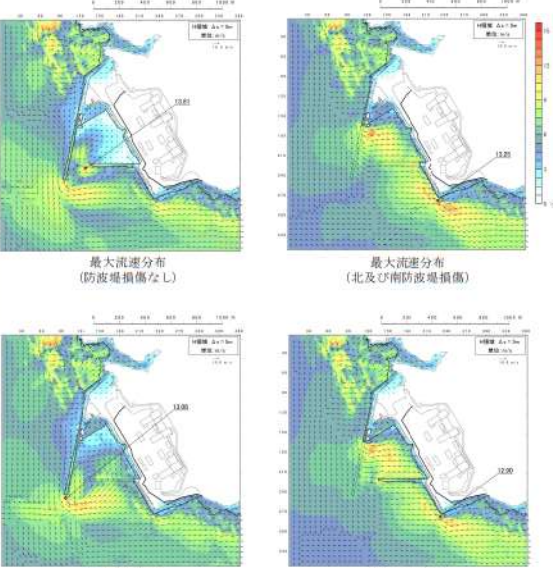
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="89 143 660 399"> <p>1) 水位分布 (防波堤あり) 2) 水位分布 (防波堤なし)</p> </div> <div data-bbox="89 750 660 805"> <p>図27 防波堤の有無に対する最大水位上昇量分布の比較 (上昇側基準津波、沈下なし)</p> </div> <div data-bbox="89 821 660 1029"> </div> <div data-bbox="89 1037 660 1141"> <p>図28 防波堤の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (上昇側基準津波、沈下なし)</p> <p>比較のため、5.(2)項の内容を再掲</p> </div>	<div data-bbox="683 143 1265 375"> <p>最大水位上昇量分布図 (防波堤有り最大ケース: 基準津波1) 最大水位上昇量分布図 (防波堤無し最大ケース)</p> </div> <div data-bbox="683 750 1265 837"> <p>図4-1 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較</p> <p>比較のため、4.(1)項の内容を再掲</p> </div>	<div data-bbox="1288 143 1859 742"> <p>最大水位上昇量分布 (防波堤損傷なし) 最大水位上昇量分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (南防波堤損傷) 最大水位上昇量分布 (北防波堤損傷)</p> </div> <div data-bbox="1288 750 1859 805"> <p>図2.1.d.a-1(1) 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較 ((基準津波(波源A))</p> </div>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

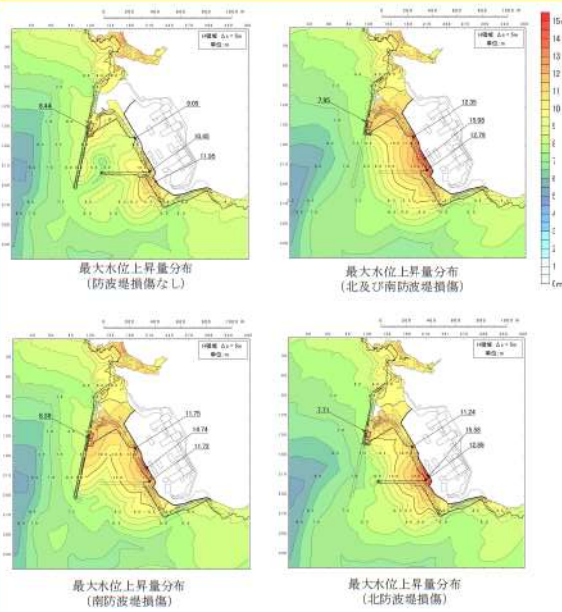
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="91 167 667 422"> </div> <div data-bbox="112 427 616 454"> <p>1) 最大流速分布（防波堤あり） 2) 最大流速分布（防波堤なし）</p> </div> <div data-bbox="152 1101 604 1157"> <p>図 34 防波堤の有無に対する最大流速分布の比較 （上昇側基準津波、沈下なし）</p> </div> <div data-bbox="309 1173 649 1204"> <p>比較のため、5. (4)項の内容を再掲</p> </div>	<div data-bbox="689 178 1265 359"> </div> <div data-bbox="705 367 1220 391"> <p>最大流速分布（基準津波1 防波堤有り） 最大流速分布（基準津波1 防波堤無し）</p> </div> <div data-bbox="840 1101 1108 1125"> <p>図 4-2 発電所沖合の流況</p> </div> <div data-bbox="907 1173 1243 1204"> <p>比較のため、4. (1)項の内容を再掲</p> </div>	<div data-bbox="1299 167 1848 566"> </div> <div data-bbox="1332 574 1780 606"> <p>最大流速分布（防波堤損傷なし） 最大流速分布（北及び南防波堤損傷）</p> </div> <div data-bbox="1299 646 1814 1093"> </div> <div data-bbox="1344 1053 1780 1093"> <p>最大流速分布（南防波堤損傷） 最大流速分布（北防波堤損傷）</p> </div> <div data-bbox="1288 1101 1848 1125"> <p>図 2.1.d.a-2 (1) 発電所沖合の流況（（基準津波（波源A））</p> </div> <div data-bbox="1877 1101 2139 1157"> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> </div>	

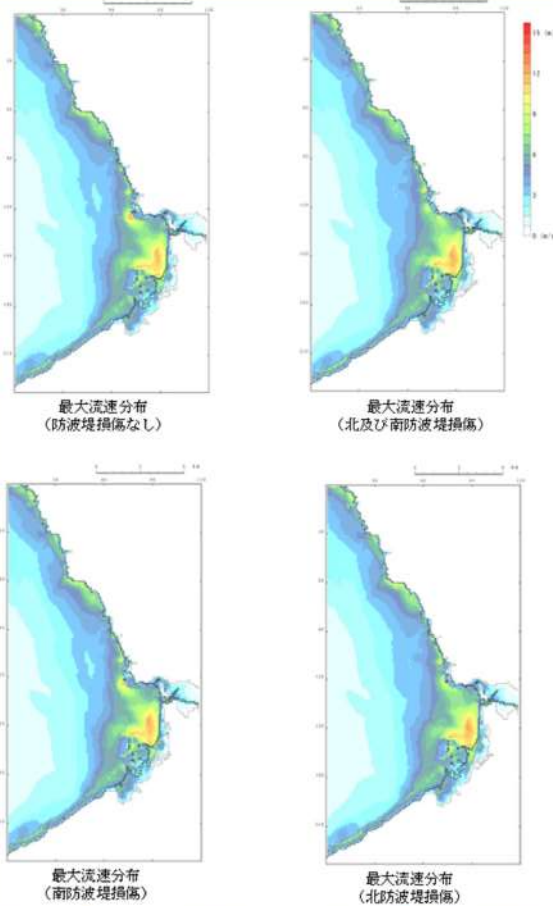
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>最大流速分布（基準津波1 防波堤有り） 最大流速分布（基準津波1 防波堤無し）</p> <p>図4-3 港湾内及び港湾外の流況</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 比較のため、4.(1)項の内容を再掲 </div>	 <p>最大流速分布（防波堤損傷なし） 最大流速分布（北及び南防波堤損傷）</p> <p>最大流速分布（南防波堤損傷） 最大流速分布（北防波堤損傷）</p> <p>図2.1.d.a-3(1) 港湾内及び港湾外の流況 （（基準津波（波源A））</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【島根】基準津波の相違</p>

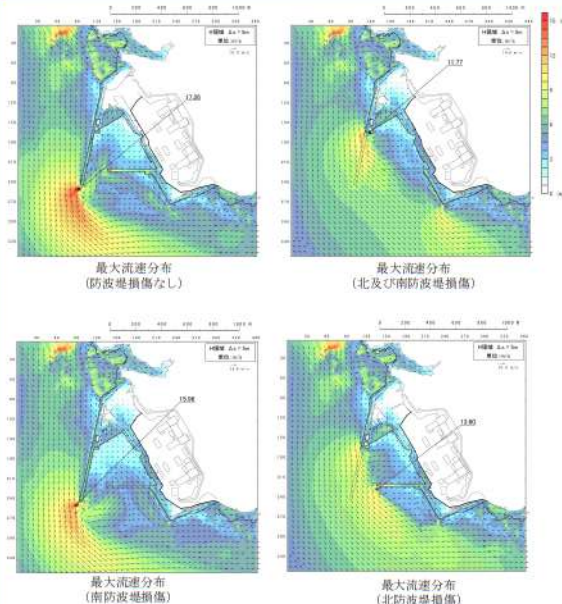
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大水位上昇量分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (前防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-1 (2) 防波場の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源B））</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大流速分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-2 (2) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源B)))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 <u>【女川、島根】基準津波の相違</u></p>

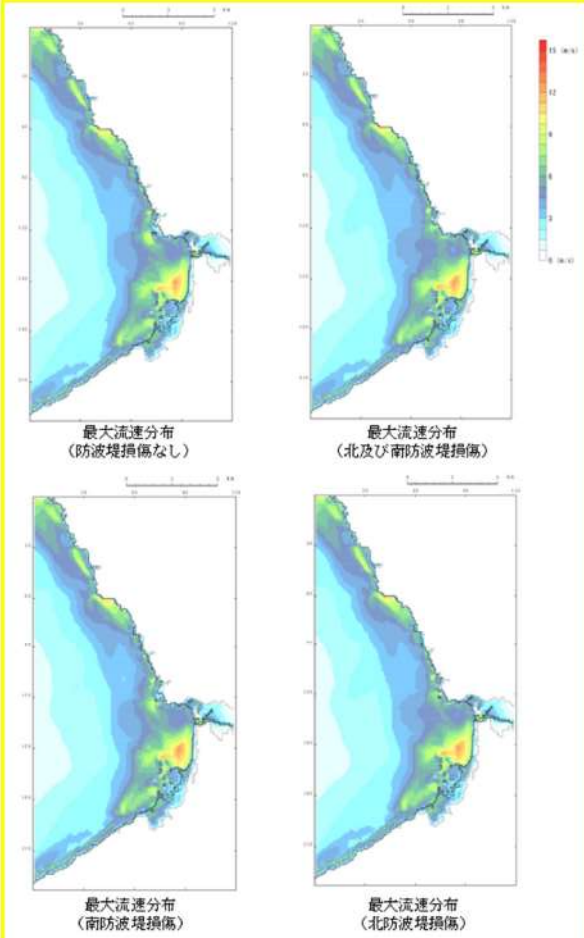
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大流速分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-3 (2) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波 (波源B))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

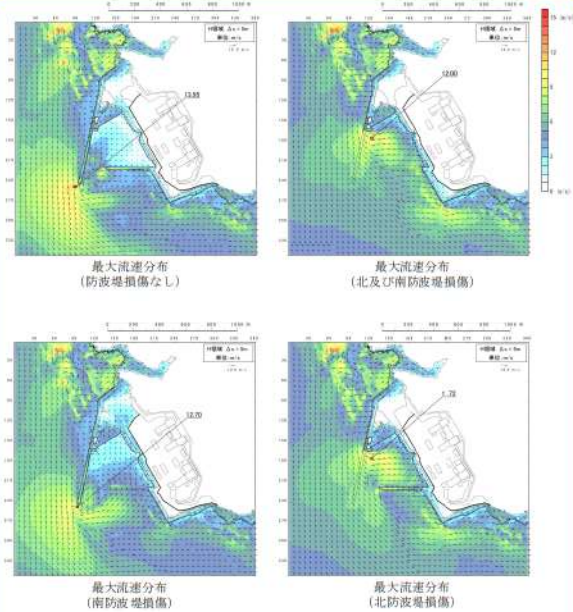
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>最大水位上昇量分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-1 (3) 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較 ((基準津波 (波源C))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

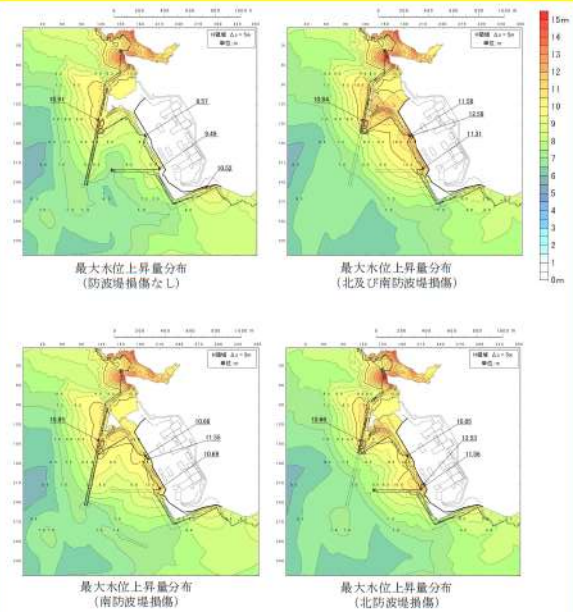
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大流速分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-2 (3) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源C))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

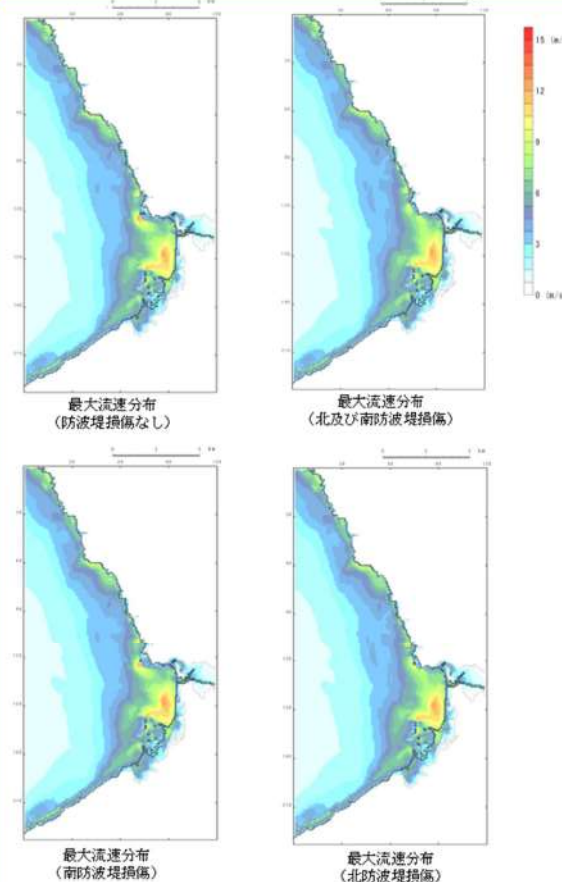
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-3 (3) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波 (波源C)))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

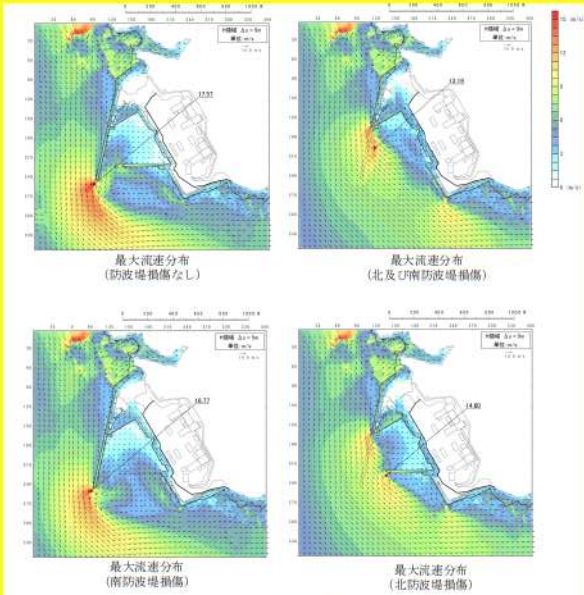
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大水位上昇量分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-1 (4) 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較 ((基準津波 (波源D))</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】基準津波の相違</p>

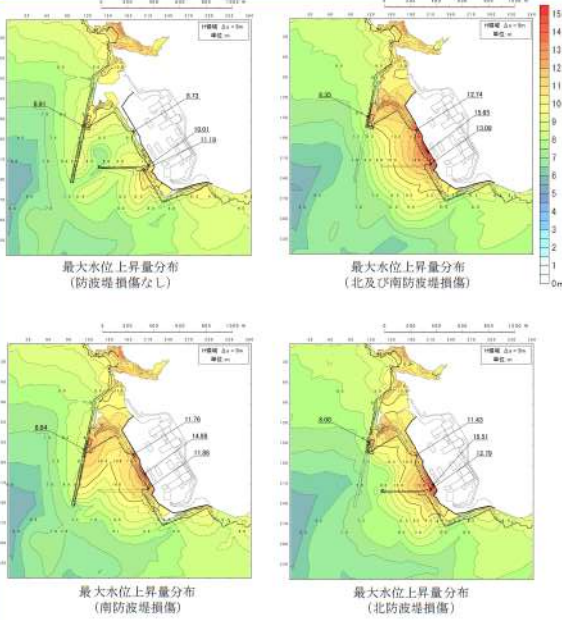
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-2 (4) 発電所沖合の流況（基準津波（波源D））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

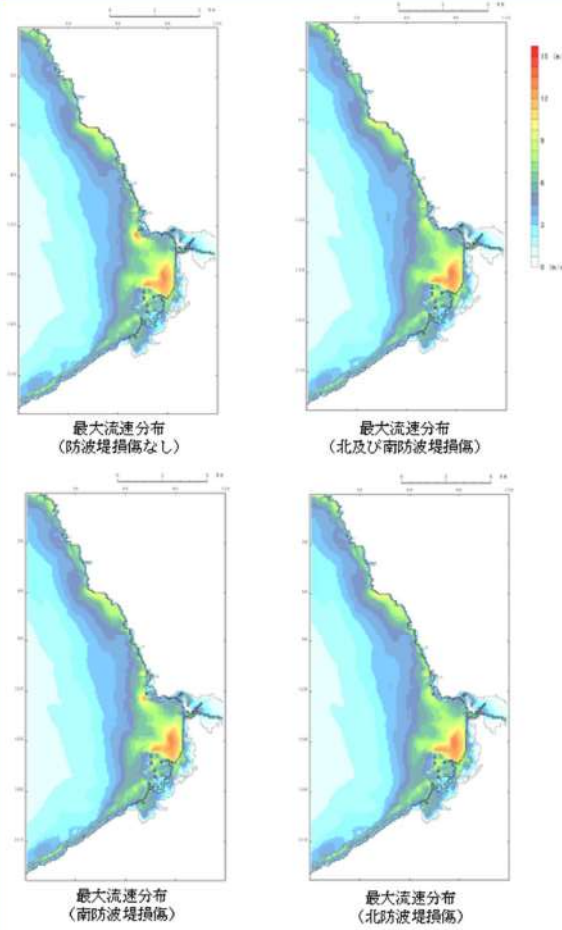
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1368 754 1771 805">図 2.1.d.a-3 (4) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波 (波源D))</p>	<p data-bbox="1883 783 2136 805">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 810 2119 833">【女川、島根】基準津波の相違</p>

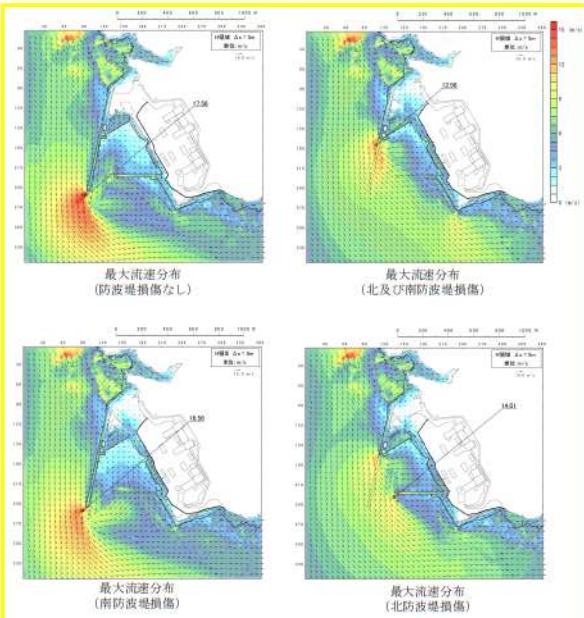
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-1 (6) 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源E））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

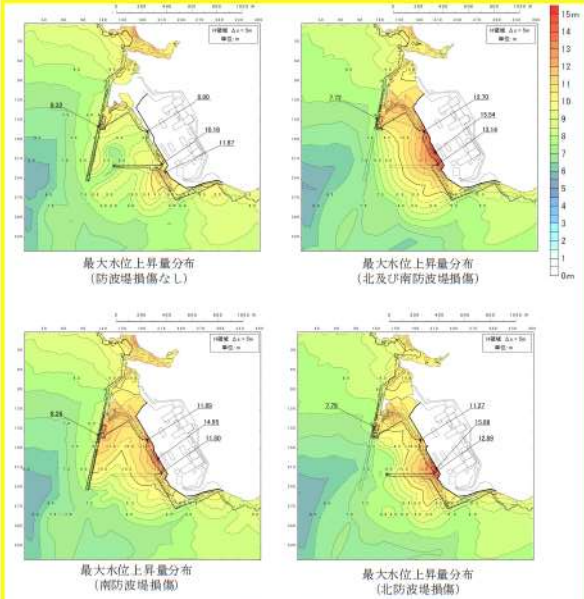
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大流速分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-2 (5) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源E))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

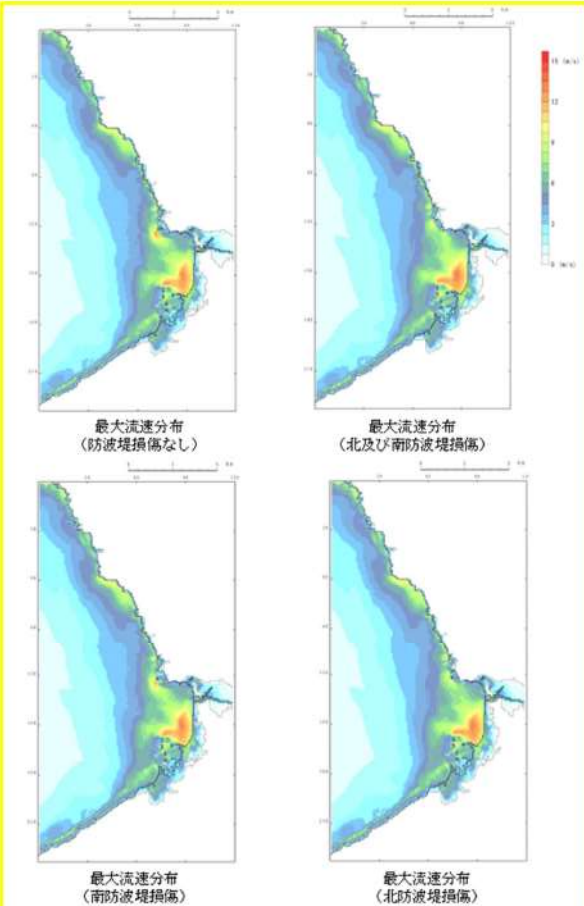
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1368 783 1771 831">図 2.1.d.a-3 (5) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波 (波源E)))</p>	<p data-bbox="1883 783 2136 807">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1883 810 2119 834">【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

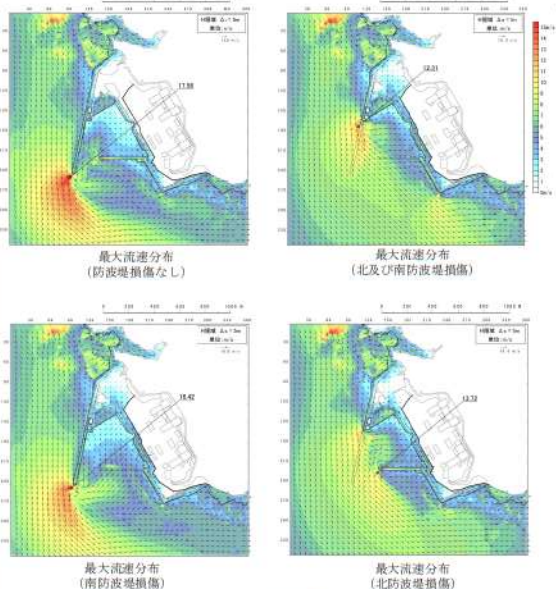
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-1 (6) 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較 ((基準津波 (波源F))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

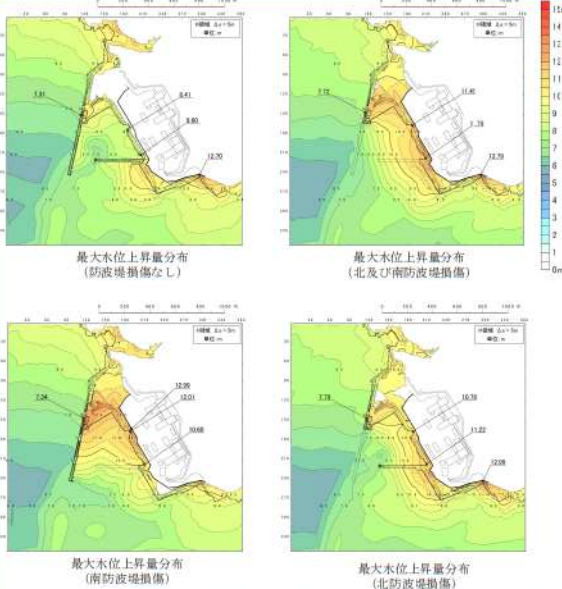
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 （防波堤損傷なし）</p> <p>最大流速分布 （北及び南防波堤損傷）</p> <p>最大流速分布 （南防波堤損傷）</p> <p>最大流速分布 （北防波堤損傷）</p> <p>図 2.1.d.a-2 (6) 発電所沖合の流況（基準津波（波源F））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

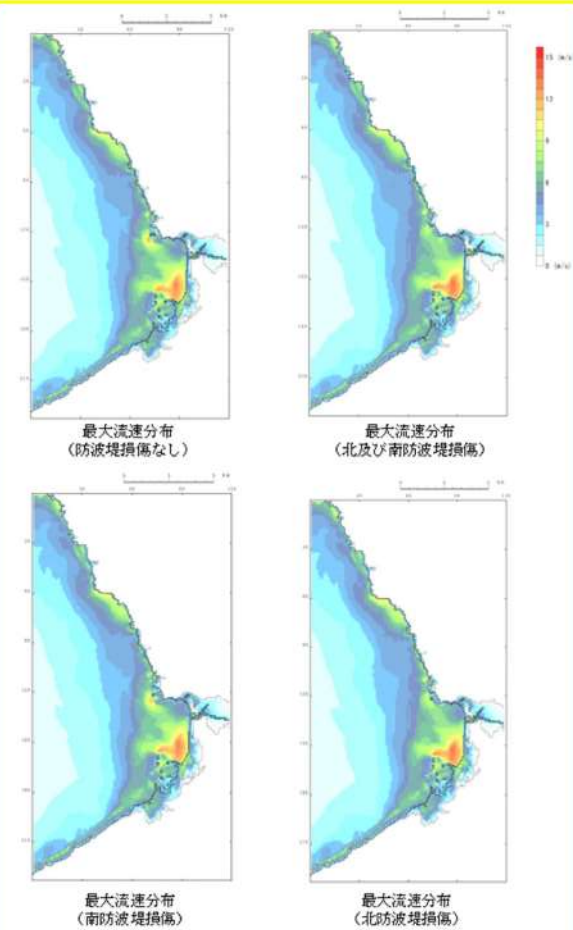
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大流速分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-3 (6) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波(波源F))</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

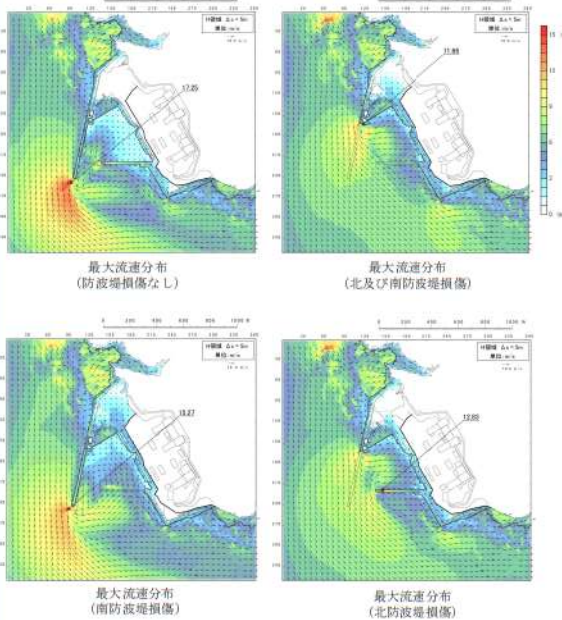
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-1 (7) 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波（波源G））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

実線・・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

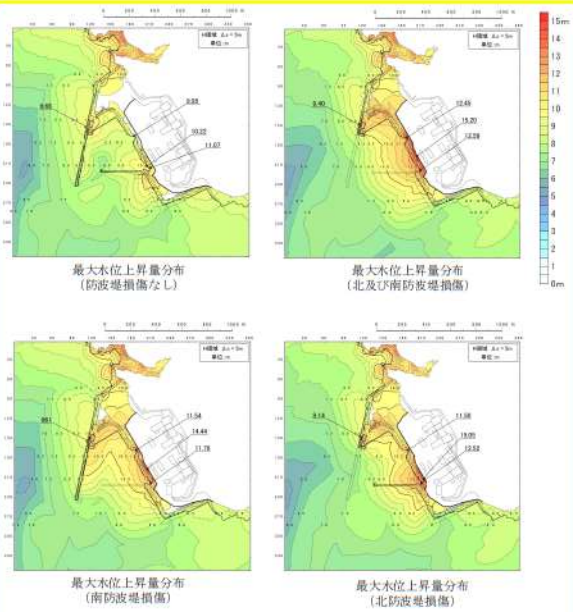
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大流速分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-2 (7) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源G))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

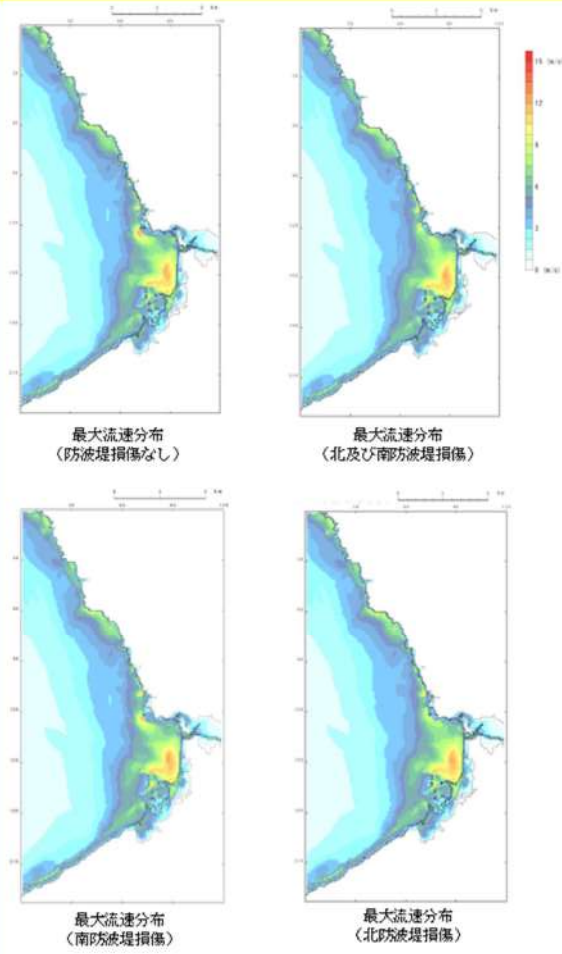
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1366 782 1780 837">図 2.1.d.a-3 (7) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波 (波源G))</p>	<p data-bbox="1881 782 2139 805">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 805 2139 829">【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

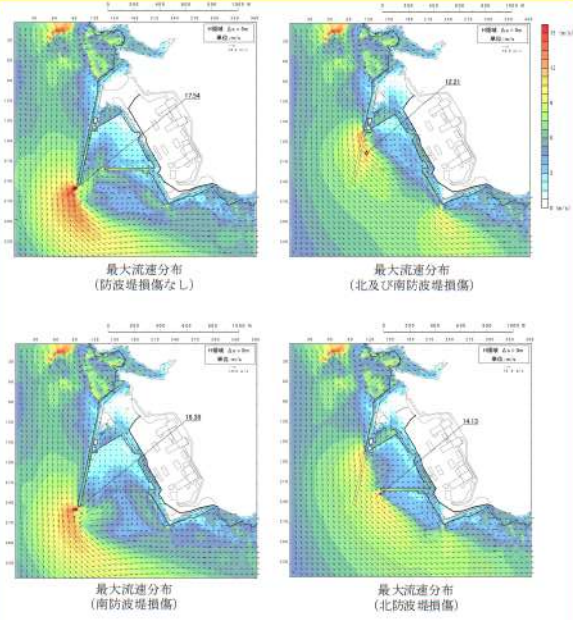
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大水位上昇量分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大水位上昇量分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-1 (8) 防波堤の有無による最大水位上昇量分布の比較 ((基準津波 (波源H))</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1288 1125 1848 1157">図 2.1.d.a-2 (8) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源H))</p>	<p data-bbox="1881 1125 2150 1157">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 1157 2150 1189">【女川、島根】基準津波の相違</p>

実線・・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

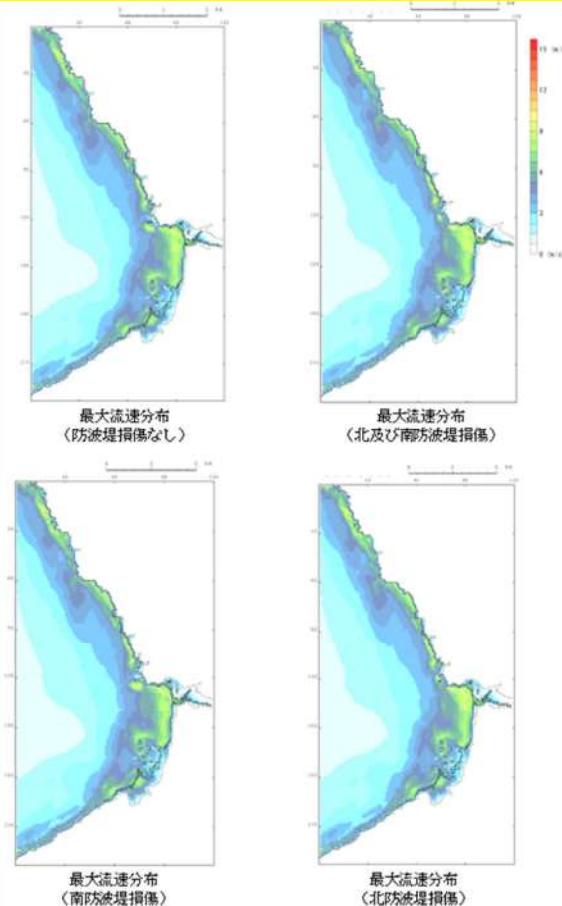
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1366 782 1780 837">図 2.1.d.a-3 (8) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波(波源H))</p>	<p data-bbox="1881 782 2139 805">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1881 810 2139 834">【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

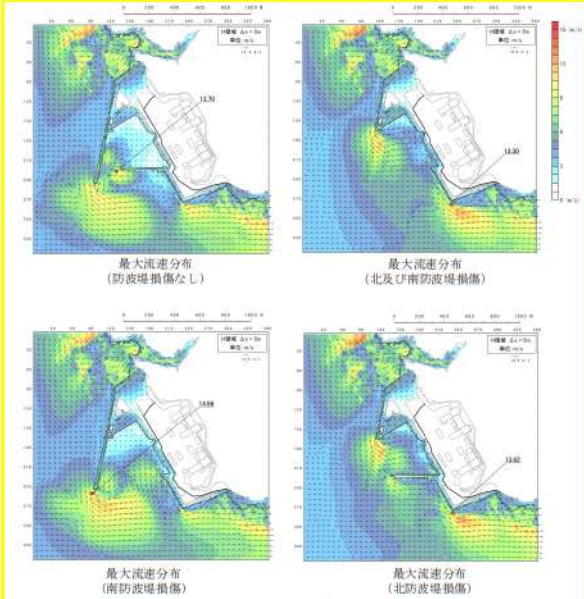
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="129 156 622 370" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="174 375 571 395" data-label="Caption"> <p>1) 水位分布 (防波堤あり) 2) 水位分布 (防波堤なし)</p> </div> <div data-bbox="123 778 631 833" data-label="Caption"> <p>図 31 防波堤の有無に対する最大水位下降量分布の比較 (下降側基準津波、沈下なし)</p> </div> <div data-bbox="89 849 627 1056" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="138 1069 613 1123" data-label="Caption"> <p>図 32 防波堤の有無に対する水位時刻歴波形の比較 (下降側基準津波、沈下なし)</p> </div> <div data-bbox="331 1136 649 1161" data-label="Text"> <p>比較のため、5.(3)項の内容を再掲</p> </div>	<div data-bbox="869 108 1079 134" data-label="Section-Header"> <p>島根原子力発電所2号炉</p> </div>	<div data-bbox="1496 108 1639 134" data-label="Section-Header"> <p>泊発電所3号炉</p> </div> <div data-bbox="1281 156 1854 772" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1281 778 1863 833" data-label="Caption"> <p>図 2.1.d.a-1 (9) 防波堤の有無による最大水位下降量分布の比較 ((基準津波 (波源 I))</p> </div>	<div data-bbox="1966 108 2056 134" data-label="Section-Header"> <p>相違理由</p> </div> <div data-bbox="1877 778 2136 833" data-label="Text"> <p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p> </div>

第5条 津波による損傷の防止

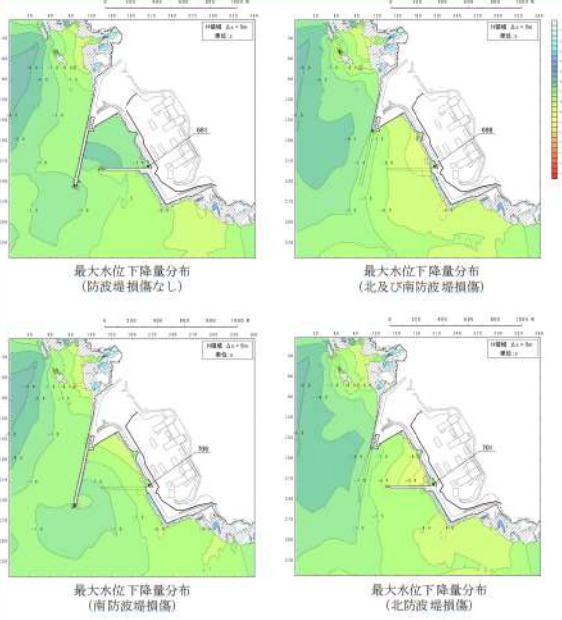
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大流速分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大流速分布 (北及び南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大流速分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-2 (9) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源 I)))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

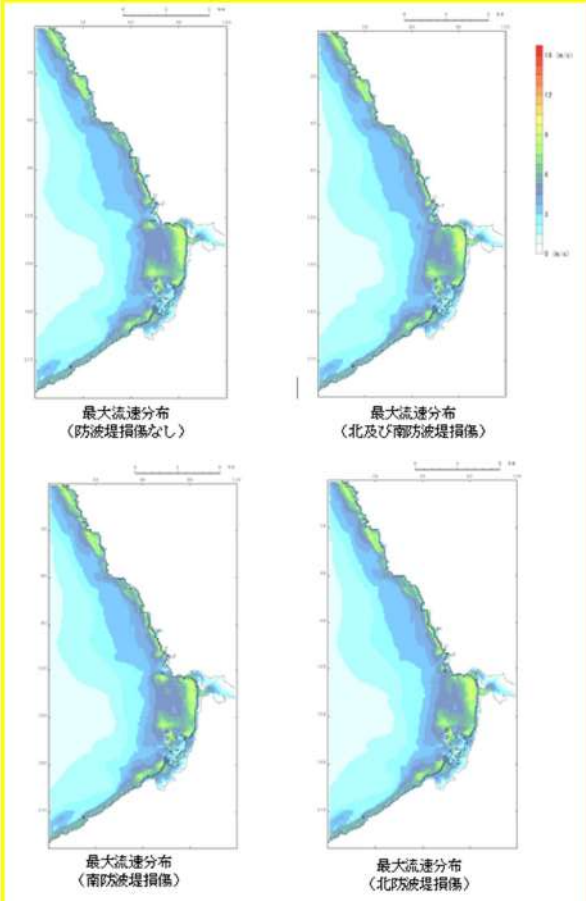
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-3 (9) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波 (波源I)))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

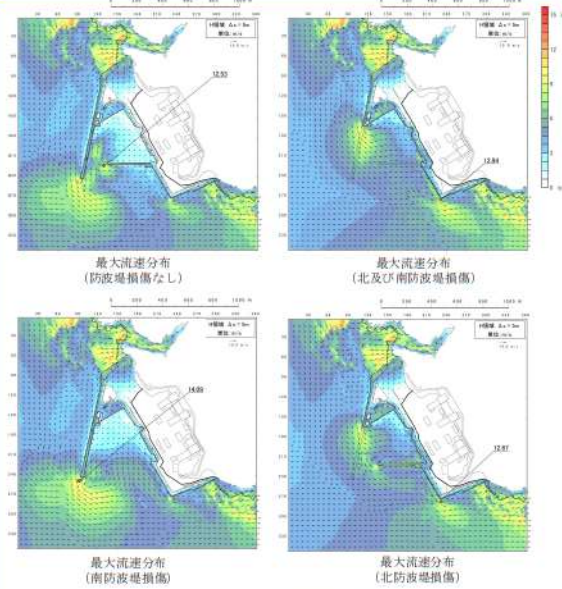
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-1 (10) 防波堤の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源1））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

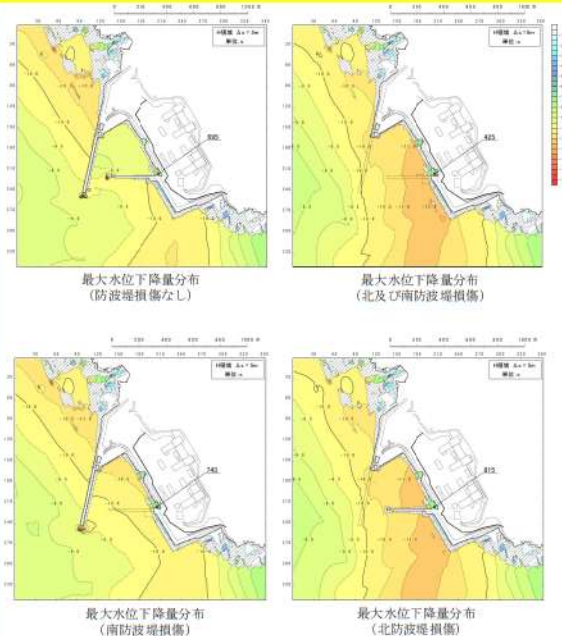
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1279 1070 1863 1098">図 2.1. d. a-2 (10) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源 I))</p>	<p data-bbox="1877 1070 2157 1098">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1877 1098 2157 1125">【女川、島根】基準津波の相違</p>

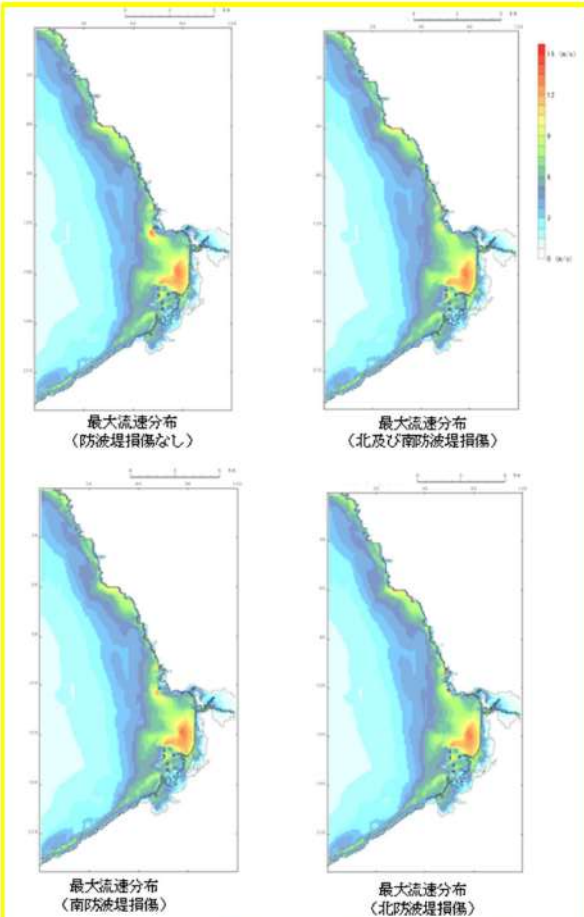
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-3 (10) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波(波源I))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

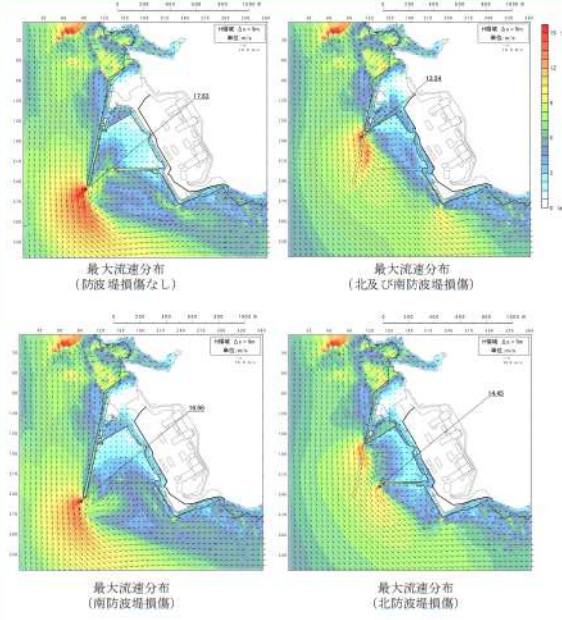
女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>最大水位下降量分布 (防波堤損傷なし)</p> <p>最大水位下降量分布 (北及び両防波堤損傷)</p> <p>最大水位下降量分布 (南防波堤損傷)</p> <p>最大水位下降量分布 (北防波堤損傷)</p> <p>図 2.1.d.a-1 (11) 防波堤の有無による最大水位下降量分布の比較 (基準津波 (波源K))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p>【女川、島根】基準津波の相違</p>

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-2 (11) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源K)))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

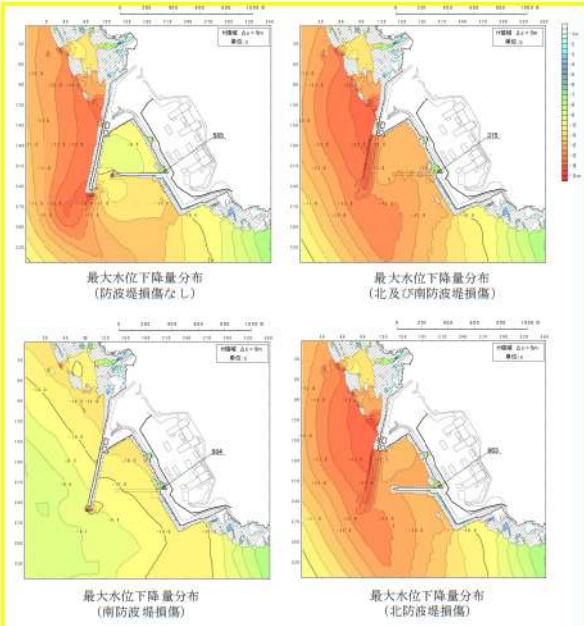
実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-3 (11) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波(波源K))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

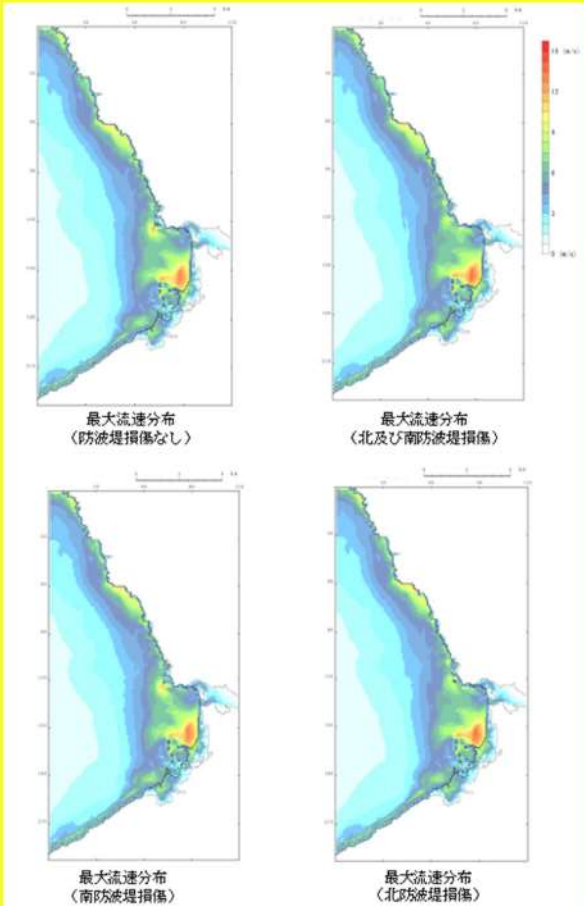
実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1.d.a-1 (12) 防波場の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波（波源I））</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

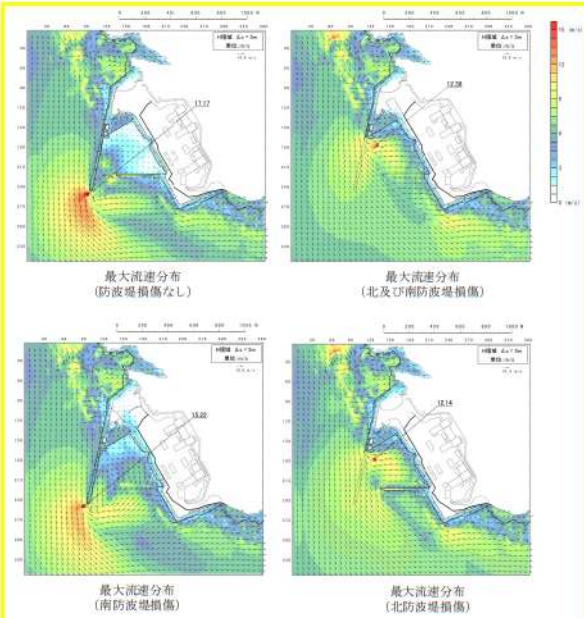
実線・・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>図 2.1. d. a-2 (12) 発電所沖合の流況 ((基準津波 (波源L))</p>	<p>【女川、島根】発電所立地の相違 【女川、島根】基準津波の相違</p>

実線・設計方針又は設備構成等の相違
 波線・記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1361 783 1778 836">図 2.1.d.a-3 (12) 港湾内及び港湾外の流況 ((基準津波(波源L))</p>	<p data-bbox="1877 783 2136 807">【女川、島根】発電所立地の相違</p> <p data-bbox="1877 810 2119 834">【女川、島根】基準津波の相違</p>

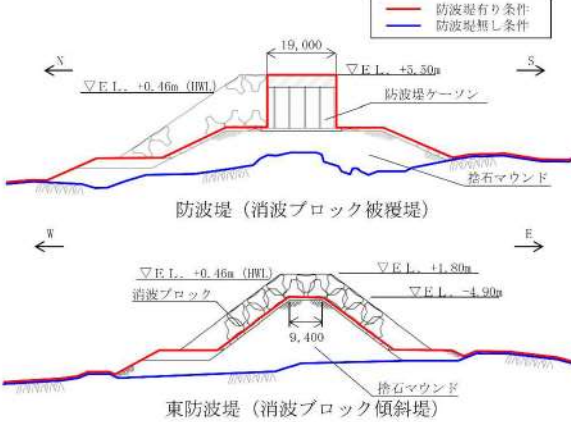
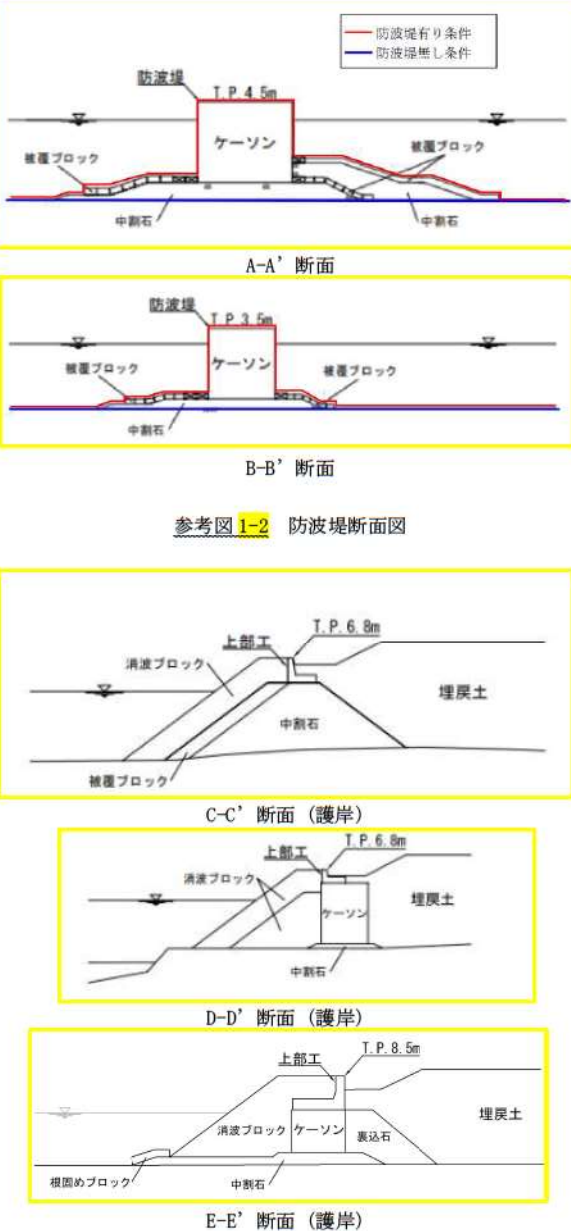
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉 <small>(参考資料1)</small>	相違理由
	<p>[参考]防波堤の位置付け・モデル化</p> <p>(1) 防波堤の位置付け 島根原子力発電所では、輪谷湾に防波堤及び東防波堤を設置している（図5-1）。</p> <p>これら防波堤は、敷地周辺の地震により損傷する可能性を否定できないことから、津波影響軽減施設とせず、自主設備とする。</p> <p><u>基準津波5、6は自主設備である防波堤の有無が基準津波の選定に影響が有ることから選定した。</u></p>  <p>図5-1 防波堤位置</p>	<p>防波堤等の位置付け・モデル化 <small>(参考資料1)</small></p> <p>(1) 防波堤の位置付け 泊発電所では、北防波堤、南防波堤及び護岸を設置している（参考図1-1～1-3）。</p> <p>これら防波堤は、敷地周辺の地震により損傷する可能性を否定できないことから、津波影響軽減施設とせず、自主設備とする。</p> <p><u>護岸は、基準地震動により損傷する可能性を否定できないことから、津波影響軽減施設とせず、自主設備とし、護岸の状態による入力津波への影響の有無を検討する。</u></p>  <p>参考図1-1 防波堤位置</p>	<p>相違理由</p> <p>【島根】設計方針の相違 ・泊では、敷地及び敷地周辺の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅する観点で、敷地護岸の損傷も考慮する。</p> <p>【島根】設計方針の相違 ・泊では、敷地及び敷地周辺の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅する観点で、敷地護岸の損傷も考慮する。</p> <p>【島根】基準津波の相違</p>

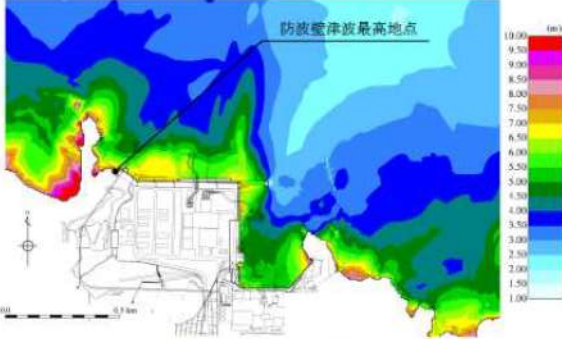
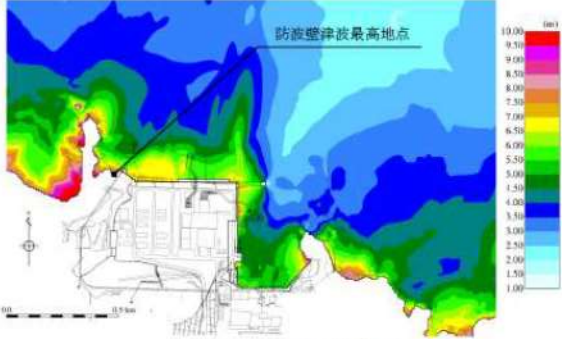
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 防波堤のモデル化</p> <p>防波堤の有無によるモデル化については、防波堤有り条件では、防波堤ケーソン、捨石マウンドをモデル化しており、防波堤無し条件では、防波堤ケーソン、捨石マウンドを全て取り除いた状態で実施している（図5-2）。</p> <p>なお、消波ブロック*は、透過性を有するため、防波堤有り条件においては、安全側の評価となるよう消波ブロックをモデル化しないものとしている。</p> <p>また、消波ブロックをモデル化した場合の津波への影響を検討するため、東防波堤のE.L. -4.9m～E.L. +1.8m区間の消波ブロックをモデル化し、消波ブロックの透過率を施工実績より算出し50%と設定し、防波堤有り条件のうち、施設護岸又は防波壁で最大水位上昇量を示した基準津波1を対象に実施した。</p> <p>その結果、消波ブロックをモデル化した場合、消波ブロックをモデル化しない場合と比較し、津波の敷地への影響は小さいことから、消波ブロックをモデル化しない津波解析は安全側の評価となることを確認した。水位の影響については、表5-1及び図5-3に示す。また、流向・流速の影響については、図5-4に示す。</p> <p>※ 一般に消波ブロックは短周期の波浪に対する軽減効果を持つとされており、土木学会(2016)においても構造物（消波ブロック）が無いものとして取り扱うことが多いと記載されている。</p>	<p>(2) 防波堤のモデル化</p> <p>防波堤の有無によるモデル化については、防波堤有り条件では、防波堤ケーソン、被覆ブロック、中割石をモデル化しており、防波堤無し条件では、防波堤ケーソン、被覆ブロック、中割石をすべて取り除いた状態で実施している（参考図1-2）。</p> <p>なお、防波堤の基部にのみ部分的に消波ブロック*が存在するが、消波ブロックは、透過性を有するため、防波堤有り条件においては、安全側の評価となるよう津波の遡上を阻害する消波ブロックはモデル化しないものとしている。</p> <p>※ 一般に消波ブロックは短周期の波浪に対する軽減効果を持つとされており、土木学会(2016)においても構造物（消波ブロック）が無いものとして取り扱うことが多いと記載されている。</p>	<p>相違理由</p> <p>【島根】設備構成の相違 ・防波堤の構成材の相違により、モデル化対象が異なる。</p> <p>【島根】設備構成の相違 ・島根では、防波堤全体に消波ブロックが存在するが、泊では、防波堤の基部にのみ部分的に消波ブロックが存在する。</p>

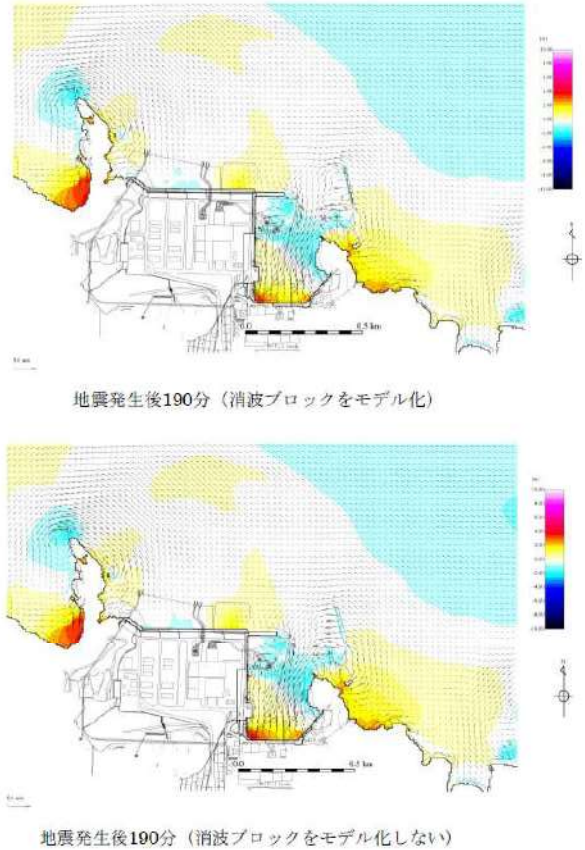
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図5-2 防波堤断面図</p>	 <p>参考図1-2 防波堤断面図</p> <p>参考図1-3 護岸断面図</p>	<p>相違理由</p> <p>【島根】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、敷地及び敷地周辺の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅する観点で、敷地護岸の損傷も考慮する。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p style="text-align: center;">表5-1 消波ブロックのモデル化検討結果</p> <table border="1" data-bbox="689 178 1258 389"> <thead> <tr> <th rowspan="3">基準津波</th> <th rowspan="3">消波ブロックのモデル化</th> <th colspan="3">評価水位 (EL, m)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">上昇側</th> <th>下降側</th> </tr> <tr> <th>施設護岸又は防波壁</th> <th>2号炉取水口(東)</th> <th>2号炉取水口(西)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基準津波1 (防波堤有り)</td> <td>消波ブロックをモデル化</td> <td>+10.4</td> <td>-4.8</td> <td>-4.8</td> </tr> <tr> <td>消波ブロックをモデル化しない</td> <td>+10.5</td> <td>-5.0</td> <td>-5.0</td> </tr> </tbody> </table>  <p style="text-align: center;">最大水位上昇量分布図 (消波ブロックをモデル化：基準津波1)</p>  <p style="text-align: center;">最大水位上昇量分布図 (消波ブロックをモデル化しない：基準津波1)</p> <p style="text-align: center;">図5-3 最大水位上昇量分布図比較</p>	基準津波	消波ブロックのモデル化	評価水位 (EL, m)			上昇側		下降側	施設護岸又は防波壁	2号炉取水口(東)	2号炉取水口(西)	基準津波1 (防波堤有り)	消波ブロックをモデル化	+10.4	-4.8	-4.8	消波ブロックをモデル化しない	+10.5	-5.0	-5.0		<p>【島根】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根では、防波堤全体に消波ブロックが存在するが、泊では、防波堤の基部にのみ部分的に消波ブロックが存在する。
基準津波	消波ブロックのモデル化			評価水位 (EL, m)																			
				上昇側		下降側																	
		施設護岸又は防波壁	2号炉取水口(東)	2号炉取水口(西)																			
基準津波1 (防波堤有り)	消波ブロックをモデル化	+10.4	-4.8	-4.8																			
	消波ブロックをモデル化しない	+10.5	-5.0	-5.0																			

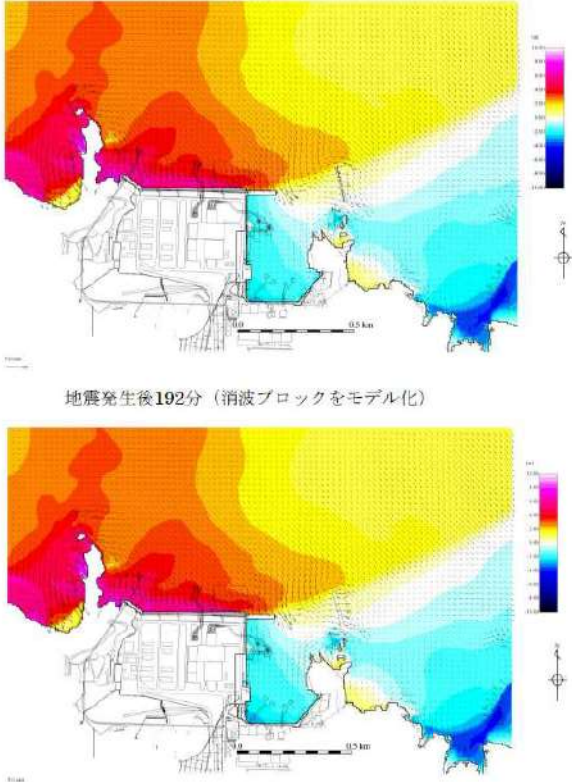
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>地震発生後190分（消波ブロックをモデル化）</p> <p>地震発生後190分（消波ブロックをモデル化しない）</p> <p>図5-4（1） 流向・流速分布図比較</p>		<p>【島根】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根では、防波堤全体に消波ブロックが存在するが、泊では、防波堤の基部にのみ部分的に消波ブロックが存在する。

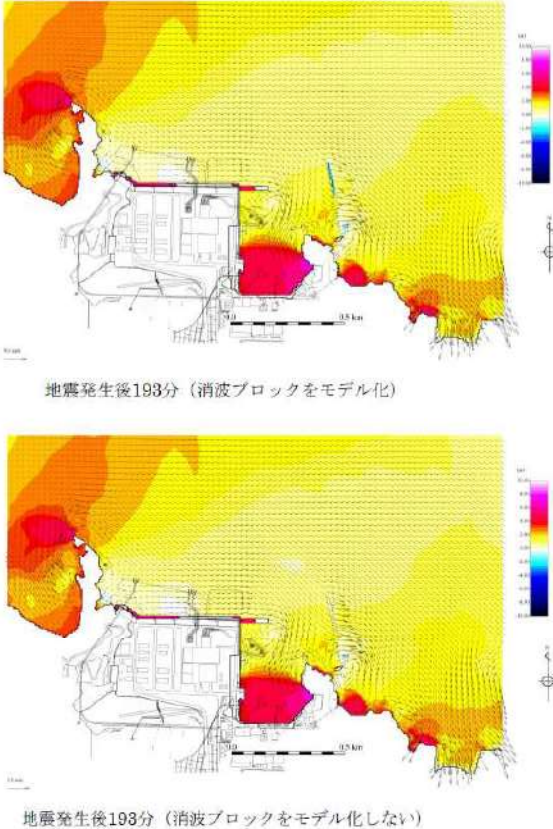
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>地震発生效后191分（消波ブロックをモデル化）</p> <p>地震発生效后191分（消波ブロックをモデル化しない）</p> <p>図5-4（2） 流向・流速分布図比較</p>		<p>【島根】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根では、防波堤全体に消波ブロックが存在するが、泊では、防波堤の基部にのみ部分的に消波ブロックが存在する。

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>地震発生後192分（消波ブロックをモデル化）</p> <p>地震発生後192分（消波ブロックをモデル化しない）</p> <p>図5-4（3） 流向・流速分布図比較</p>		<p>【島根】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根では、防波堤全体に消波ブロックが存在するが、泊では、防波堤の基部にのみ部分的に消波ブロックが存在する。

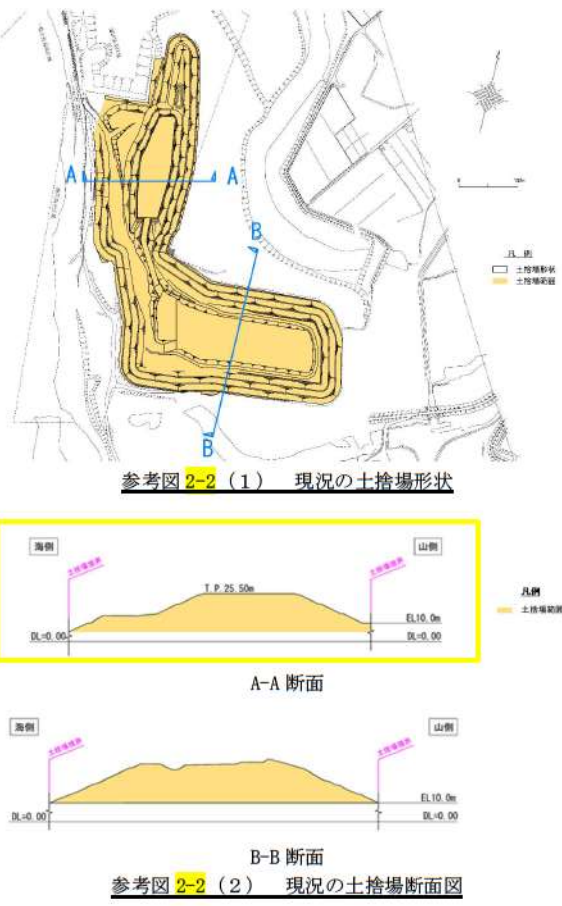
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>地震発生後193分（消波ブロックをモデル化）</p> <p>地震発生後193分（消波ブロックをモデル化しない）</p> <p>図5-4（4） 流向・流速分布図比較</p>		<p>【島根】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根では、防波堤全体に消波ブロックが存在するが、泊では、防波堤の基部にのみ部分的に消波ブロックが存在する。

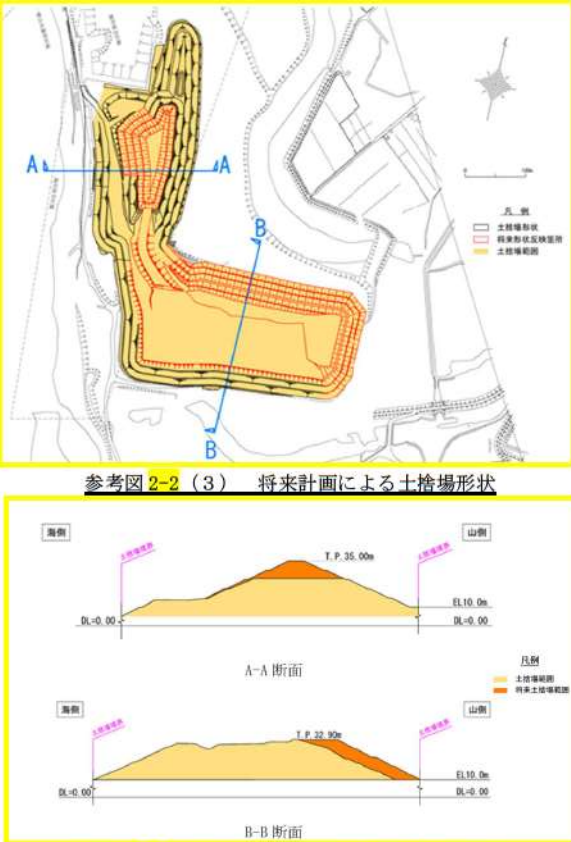
第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">（参考資料2）</p> <p style="text-align: center;"><u>発電所周辺の地形変化による影響について</u></p> <p><u>1. はじめに</u></p> <p>表 1.1.a-1 にて整理した地形モデルに反映した敷地周辺の地形のうち、参考図 2-1 に示す土捨場について、新規制基準施行後の設置変更許可申請時（平成25年7月）における最新図に基づきモデル化している（以下、「現状評価の地形」という。）。</p> <p>この土捨場は、地形変化を伴う将来計画[※]があり、さらに、基準地震動により斜面崩壊する可能性を否定できないことから、将来計画を反映した地形（以下、「将来計画を反映した地形」という。）及び将来計画を反映した土捨場の基準地震動による斜面崩壊を考慮した地形（以下、「斜面崩壊を考慮した地形」）を用いた遡上解析を実施し、入力津波への影響について評価する。</p> <p>※将来計画の土捨場が最終形状になる時期は2023年12月頃の見込み（北海道からの聞き取り）</p> <p style="text-align: center;">参考図 2-1 土捨場位置図</p> <p><u>2. 将来計画を反映した地形の検討</u></p> <p><u>(1) 将来計画を反映した地形データの作成</u></p> <p>参考図 2-2 に将来計画の土捨場形状及びこの形状を反映した遡上解析地形を示す。</p>	<p>【女川、島根】設計方針の相違</p> <p>・泊では、敷地周辺の土捨場について、地形変化を伴う将来計画があり、基準地震動により斜面崩壊する可能性を否定できないため、地震による地形変化として考慮する。</p>

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>参考図 2-2 (1) 現況の土捨場形状</p> <p>A-A 断面</p> <p>B-B 断面</p> <p>参考図 2-2 (2) 現況の土捨場断面図</p>	

第5条 津波による損傷の防止

女川原子力発電所2号炉	島根原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>参考図 2-2 (3) 将来計画による土捨場形状</p> <p>参考図 2-2 (4) 将来計画による土捨場断面図</p>	